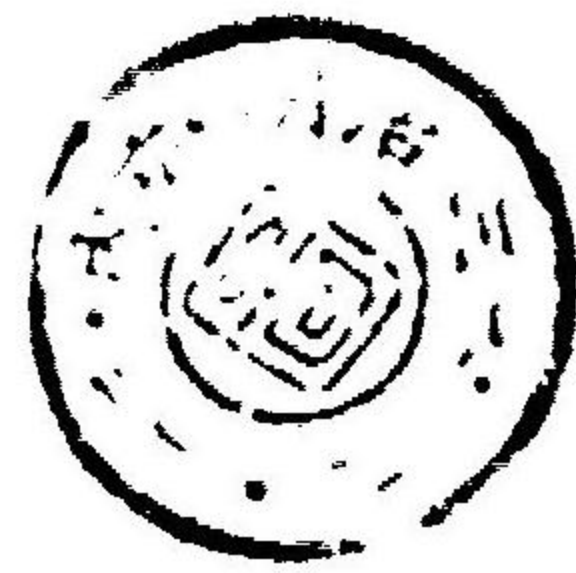


法學博士 田尻稻次郎先生述



債論 全

東京 有斐閣書房

公債論目錄

第一卷

第一章	公債ノ意解及ヒ其起因	一
第二章	公債、私債ノ別	二
第三章	公債ト非常準備トノ關係	三
第四章	公債ノ經濟上ニ示ス所 効驗	九
第五章	租稅ト公債トノ關係	六
第六章	公債ノ區分並ニ各種公債ノ得失	一四
第一款	公債ノ區分	一四
第二款	各種公債ノ得失	一四
第七章	公債募集	一七
第一款	平價募集、呼價募集	一七
第二款	特別募集	一七

第三款 籤札付募集.....二〇六

第四款 募集雜件.....二〇六

第一項 公債ハ一時ニ募集スヘキヤ又漸次ニ需要

高ナ募集スヘキヤ.....二〇六

第二項 保證拂及拂込回数.....二〇七

第三項 募集費並ニ新募債初年ノ利子ヲ募集金ヨ

リ支出スルコト.....二一〇

第四項 公債ノ募集ニ際シ殊ニ償還基金又ハ抵當

物ヲ定ムルコト.....二二三

第八章 公債證書發行方法.....二二五

第二卷

第一章 公債償還.....二二七

第一款 總論.....二二七

第二款 急遽ノ償還ハ之ヲ行フヲ要セサ

ルコト.....二四二

第三款 英國ニ於ケル公債償還ノ經歷.....二四六

第四款 佛國ニ於ケル公債償還ノ經歷.....二五七

第五款 北米合衆國公債償還ノ經歷.....二五七

第二章 公債ノ借換.....二五三

第一款 總論.....二五三

第二款 借換ニ關スル諸國ノ經歷.....二五五

第一項 英國ノ經歷.....二五六

第二項 佛國ノ景況.....二五八

第三項 北米合衆國ノ景況.....二五三

第三卷

第一章 公債證書ニ租稅ヲ課スヘキヤ否ヤ

ノ論並ニ公債ニ付キ政府ト債主ノ

間ノ約束ノ變更.....二五九

第二章 公債ヨリ起ル所ノ負擔ノ輕重……………四二四

第三章 不換紙幣……………四六九

第一款 總論……………四八九

第二款 開明諸國ニ於ケル不換紙幣發行ノ景況……………四八四

第一項 英國……………四八四

第二項 佛國……………五〇五

第三項 奧地利……………五三一

第四項 露國……………五五四

第五項 伊太利……………五七一

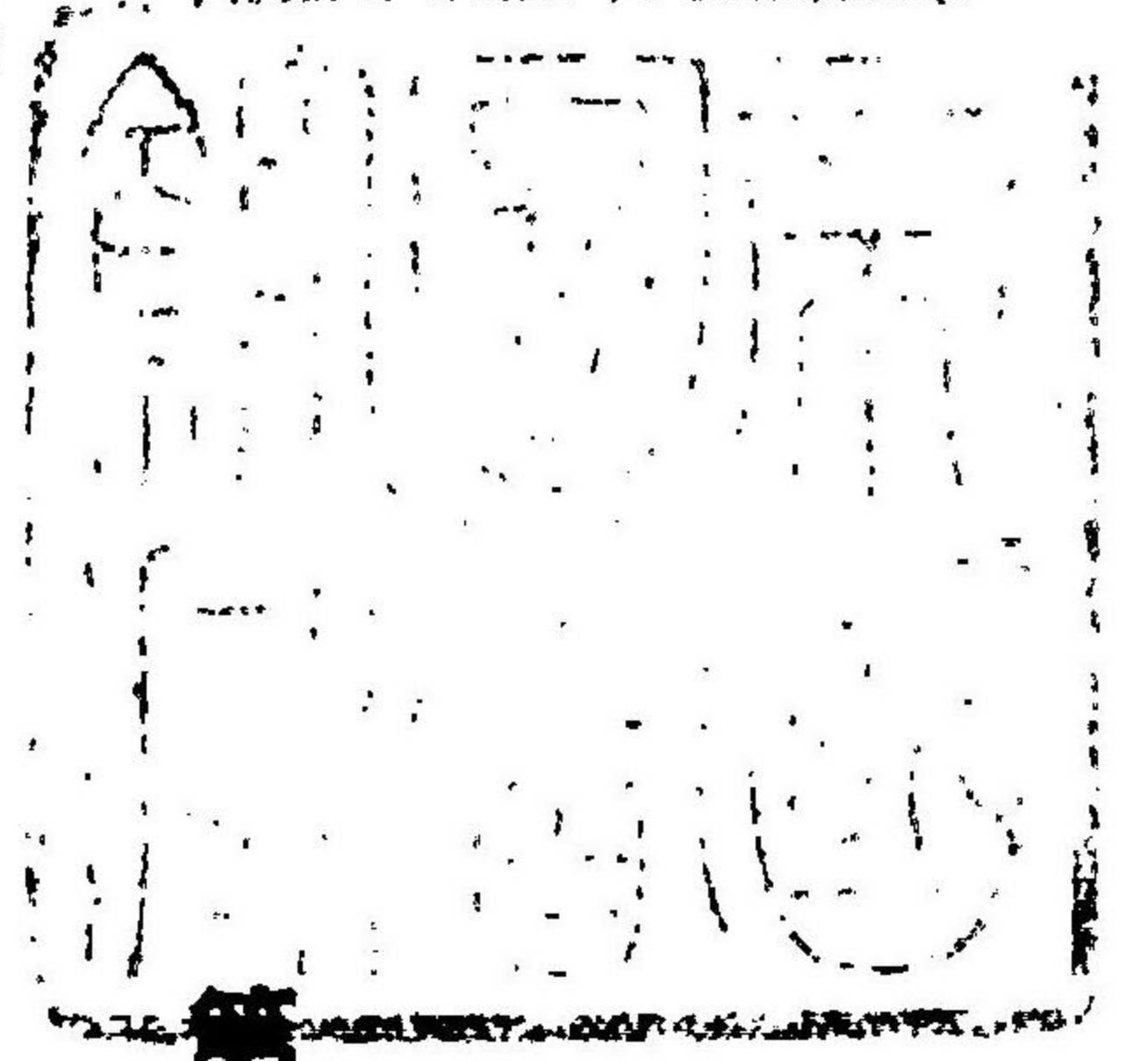
第六項 北米合衆國……………五八七

第三款 結論……………五九九

公債論目錄畢

公債論

法學博士 田尻稻次郎述



第一章 公債ノ意解及其起因

第一卷

公債トハ政府カ内外人民若クハ會社等ヨリ金員ノ借入若クハ預リ入ヲ爲シ又ハ彼等ニ對シ定期若クハ不定期ニ支拂ヲ爲スモノトシ夫レカ爲メ生スル債還拂戻若クハ支拂ノ義務ヲ總稱スルモノニシテ即チ一國若クハ一地方ノ負擔スル負債ナリ故ニ公債ハ社會連帶責任ノ主義ニ據リ之ヲ負擔スル政府ニ屬スル所ノ人民ニ於テ之ヲ辨償セサルヲ得サル所ノモノナリ而シテ今其

起因スル所ヲ尋ムルコト

第一 戰亂騷擾天變地殃ヨリ生スル非常ノ費用ヲ辨償スルカ爲メ到底其全度ノ通常歳入ヲ以テ之ヲ支フル能ハサルコト

第二 一般通信其他國家文武ノ事業ヲ改良擴張セシカ爲メ巨額ノ金額ヲ要スルコト

第三 一般政治若シハ財政整理ノ爲メ巨額ノ費用ヲ要シ通常歳入ヲ以テ之ヲ支辨シ能ハサルコト

第四 一時若クハ永久ノ歳入不足ヲ補足スルコト

第五 貯蓄ノ獎勵及保護ノ爲メ政府カ預リ金ヲ爲スコト

第六 事業ノ獎勵保護ノ爲メ一箇人若クハ會社ニ補助金ヲ約束スルコト

第七 兵亂騷擾等ノ爲メ巨額ノ費用ヲ要シ支拂テ後年ニ期シ流通ノ效力アル手形ヲ發行スルコト即チ紙幣發行ノ如キ是ナリ

元來國家ニ治亂アリ而シテ開明其歩ヲ止メス文武ノ事業上改良ヲ要スルニ年ニ其多キヲ加ヘ又財政ニ緩急アルハ勢ノ免レサル所ニシテ前陳ノ數因其働キヲ同クシ時ニ或ハ公債ヲ起スノ要アルハ蓋シ免ル、コト能ハサル所ノ數ナリ就中戰爭ノ如キハ非常ノ費用ヲ要シ北米合衆國南北戰爭ノ如キハ

其耐ナル時ニ於テハ一日凡百萬ドルノ支出ヲ要シ西曆千八百七十年ノ普佛戰爭ニ於テハ佛國ノ要セシ費用凡二十億圓普國ニ拂ヒシ債金ヲ除キ全ク戰鬪ノ爲メニ要セシ費用ナリノ巨額ニ達セシト云フ我カ西南ノ騷擾ニ於テモ亦一千五百萬圓ノ公債ヲ起スヲ要セリ而シテ年稔ヲス收穫ノ過半ヲ失シ臣儼ヘ餓孚道ニ横ハルノ慘狀ヲ見ルノ患アレハ決シテ之ヲ等閑ニ附スルヲ得ス百方經費ヲ節省シ尙ホ足ラサル所アレハ公債ヲ起シ大ニ救濟ノ道ヲ講セサルヲ得サルナリ果シテ然ラハ其費用決シテ僅少ニアラサルヘシ之ヲ其事實ノ起リシ年度ニ於テ負擔スルハ到底民力ノ堪ユル所ニアラズシテ前陳ノ如キ場合ニ於テハ必ス公債ヲ起サ、ルヲ得サルナリ

運搬通信ノ便否ハ大ニ人智ノ發育ニ關シ國家富源ノ發達ニ係ルハ固ヨリ論ヲ待タス然ルニ航海ノ線路ヲ開キ船舶ヲ購シ港灣ヲ改良シ川河ヲ浚深シ渾河ヲ通スルカ如キ又山谷ヲ埋メ巖石ヲ貫キ橋梁ヲ架シ鐵道ヲ敷設シ電信線ヲ架設スルカ如キハ其費用固ヨリ僅少ナリトセス之ヲ民業ニ委スレハ急ニ此等ノ便利ヲ起スヲ得ス此等ノ便利起ラザレハ國富發達スルヲ得ス國富發達セザレハ他國ト拮抗シ以テ國威ヲ維持スルコト能ハス而シテ此等ノ事業ハ後世子孫ニ利益ヲ遺スモノ多キニ由リ苟モ其事業ヲシテ實利ヲ起スモノ

クラシメハ之カ爲メニ公債ヲ起スモ敢テ後世ヲ煩ハスコトナク却テ大ニ之ヲ利スヘシ又當世ノ人ト雖モ此等事業ノ爲メ生スル所ノ租稅ノ負擔此等ノ事實ノ爲メニ生計ヲ裕ニスルノ度ニ比シテ輕易ナルヲ得ハ決シテ公債ノ爲メニ不利ヲ被ルコトナカルヘシ其他一般政務ノ改良農工商凡百ノ事業ノ保護獎勵モ時ニ或ハ巨額ノ費用ヲ要スト雖モ少クモ他國ト併行スルヲ得ルカケノ改良獎勵ハ之ヲ爲サ、ルヲ得テ而シテ兵員ノ増加戰艦銃砲一切ノ武器武具ノ改良ノ如キハ大ニ費用ヲ要ス然レトモ是レ亦少クモ其國ノ防禦ニ堅要ナル丈ケハ必ス之ヲ爲サ、ルヲ得ス是等ノ爲メニ要スル費用固ヨリ僅少ニアラサレハ租稅ノミヲ以テ之ヲ負擔スルヲ得サル固ヨリ論ヲ待タズ此等ノ原因ノ爲メ時ニ或ハ公債ヲ起サ、ルヲ得サルハ實ニ勢ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ

一般政治若クハ財政ノ整理モ亦巨額ノ費用ヲ要ス然レトモ之ヲ整理セスハ國家ノ進歩財政ノ改良經費ノ節減得テ望ム能ハス我國維新ノ初メニ當リ祿制ヲ廢シ大ニ金祿公債證書ヲ發行シ之ヲ從前ノ有祿者ニ交付シ以テ封建ノ遺風ヲ洗除セシカ如キハ時勢ノ已ムヲ得サルニ出ツルモノナリ而シテ高實ニ一億七千四百二十餘萬圓ニ達セリ然レトモ之カ爲メ財政ヲ整理シ

テ費用ヲ節シタルハ亦僅少ノ高ニアラサルナリ元來斯ノ如キ巨額ハ決シテ通常ノ歲入ヲ以テ一時若クハ三四年中ニ之ヲ支辨スル能ハス必ス公債處分ヲ爲シ數十年ニ涉リ之ヲ分擔セサルヲ得サルナリ其他秩祿公債舊神官配當祿公債ノ如キ皆是レ制度上整頓ノ爲メニ要セシ所ノ公債ナリ而シテ金札引換公債同無記名公債ノ如キハ紙幣償還ノ爲メニ起リシモノニシテ財政上ノ整理ニ付キ頗ル有用ノモノナリ概近整理公債ノ募集アルカ如キ亦是レ財政ノ整理國費ノ節減ヲ目的トスルニ外ナラズ又流動公債預リ金大藏省證券ノ類ノ確定公債若クハ年金金額並ニ償却方法ノ確定シタルモノ即チ定期償還永遠公債ノ類又年金トノ拂込額ニ對シ年々元利ノ一部分ヲ支拂フモノナリ此等ニ付キテハ後章ニ於テ更ニ説ク所アルヘシニ租換ヘ以テ公債ノ素質ヲ確實ニシ若クハ永遠公債チ年金ニ組換ヘ以テ償還ヲ容易ニスルカ如キハ皆是レ新ニ公債ノ起ル所以ニシテ財政上時ニ或ハ無上ノ功ヲ奏スル所ノモノナリ

又土地制度ノ改良整頓ノ如キ巨額ノ費用ヲ要スルモノアリ中世宗教ノ勢力甚ク盛ナルニ際シ瑞士國ニ於テ寺領大ニ擴張シ殆ト國土ノ半ヲ占メタリ然ルニ人口増加スルニ從ヒ耕地不足ヲ告ケ大ニ不便ヲ感シタルコトアリ此ノ

如キ場合ニ於テハ寺院ニ相當ノ公債證書ヲ與ヘ其土地ヲ引揚ケ之ヲ農民ニ貸付シ又ハ賣却シテ農業ヲ勸メ其收入ヲ以テ公債ヲ償却スルノ方法ヲ取ルハ頗ル便利ナルモノナルヘシ又例ヘハ一原野ニシテ其所有權ハ甲村ニ屬シ其草刈ルノ權利ハ乙村ニ屬シ人口増加スルニ隨ヒ之ヲ草刈場トシテ用フルヨリ耕地トシテ用フル方ハ便利ナルニ至ルモ甲村之ヲ耕サント欲セハ乙村草刈ノ權利ヲ犯シ乙村之ヲ耕サント欲セハ甲村ノ所有權ヲ犯スカ如キコトアレハ永ク此原野ヲ荒蕪ノ地トシ十分ノ利益ヲ收ムルコト能ハサルカ如キコトナキヲ保セス斯ノ如キ場合ニ遭遇スルニ於テハ甲乙兩村ニ於テ有スル所ノ利益ヲ補償スル丈ケノ公債證書ヲ發行シ之ヲ兩村ニ交付シ一旦其原野ヲ官有物トシ更ニ之ヲ甲乙兩村ノ需要者ニ拂下ケ又ハ貸付ケ其所有權若クハ所用權ヲ確定シ便宜之ヲ使用セシメハ大ニ農事ヲ獎勵スルコトヲ得ヘシ而シテ其公債證書償却ノ如キハ右原野ノ賣却代價又ハ貸賃ヲ以テ漸次ニ之ヲ爲スヲ得ヘシ斯ノ如キノ整理ハ頗ル巨額ヲ要スルモノナルニ由リ到底普通ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スルヲ得サルヘシ果シテ然ラハ之カ爲メ公債ヲ起スモ敢テ不可ナルコトナカルヘシ

國歩進捗シ財政整頓スル國ニ於テハ一年度ノ終リニ於テ歳入出相平均スル

ナ通例ト爲スト雖モ歳出ハ必スシモ歳入ヲ待テ起ルモノニアラス租税ノ納期未ダ至ラサルニ先チ歳出ノ已ムヲ得サルモノ起ルナキヲ保セス故ニ實際國庫ノ現在金ハ以テ歳出ヲ支辨スルニ足ラサルコトアルハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ此ノ如キ場合ニ於テハ一時公債ヲ起シ之ヲ支辨シ後日ノ收入ヲ以テ之カ支辨ニ充ツルコトアリ之ヲ大藏省證券トス又財政十分ニ整頓スト雖モ凶荒ノ禍時疫ノ流行其他天變地殊ノ爲メ意外ノ費用ヲ要シ又ハ非常ニ歳入ノ高チ減シ到底其年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ償フ能ハス然レトモ未ダ堂々正式ノ順序ヲ踏ミ確定公債ヲ起スヲ要セス兩三年若クハ四五年ヲ以テ之ヲ辨償スルヲ得ルノ見込アルトキハ數年ニ渉ル大藏省證券ヲ發行シテ之ヲ支辨スルヲアリ是レ一時借入金ヲ以テ一年度内ノ不足ヲ支辨シ置キ同年度内ノ收入ヲ以テ之ヲ償却スルモノニアラスシテ一年度ノ不足ヲ後年度ニ於テ辨償スルモノナリ斯ノ如クニシテ國庫ノ短期公債ノ起ルハ實ニ已ムヲ得サルノ數ト云フヘシ

貯蓄ハ國家ノ富強ヲ致スノ一大原因ナルヲ以テ力メテ之ヲ獎勵セサルヲ得ス而シテ之ヲ獎勵スルニハ保護ノ道ヲ盡サ、ルヲ得ス勿論民間ニ貯蓄銀行、保險會社等ノ設ケアリテ貯蓄ノ獎勵殆ト餘ス所ナキカ如シト雖モ凡ソ民立

ノ會社ハ自己ノ利益ヲ先ニシテ公益ヲ後ニセサルヲ得ス貯蓄預リ金ノ如キ
 モ最少額ノ取扱ヲ爲スハ頗ル費用ヲ要シ其便利トスル所ニアラス然ルニ政
 府ハ元ト公衆ノ爲メニ事ヲ計ルモノニシテ計算上其利益ヲ計ルヲ以テ專務
 トスルモノニアラス唯夫レカ爲メ大ニ費用ヲ要シ民財ヲ過徴スルノ患ナシ
 其所得費用ヲ償フニ足レハ公衆ノ爲メ貯金ヲ預ルモ敢テ不便ナキヲ以テ民
 立會社ノ不利トスル最少額モ之ヲ取扱フヲ不利トセス且ツ又官立ノ貯蓄預
 リハ萬一損失アレハ國庫ニ於テ之ヲ負擔シ損失ヲ貯蓄者ニ及ホサス隨テ貯
 金ノ保護民立ノ會社ヨリ厚ク大ニ貯蓄金ヲシテ鞏固安全ナラシムルノ效力
 アリ加フルニ人民各其嗜好ヲ異ニシ民立ヲ好ム者アリ官立ヲ喜フ者アルヲ
 以テ諸國ノ政府ニ於テ郵便局貯蓄預リ金大藏省預金局預リ金養老預リ金等
 ノ制ヲ設ケ貯蓄ヲ鼓舞獎勵ス然レモ一度政府ノ預ル所トナレハ預ケ人ハ隨
 時又ハ定期ニ之ヲ引出スノ權利ヲ得政府其引出ノ請求ニ應セサルヲ得ス故
 ニ是レ亦一種ノ公債タルヲ免レス殊ニ此類ノ公債ハ政府ノ意ヲ以テ其高チ
 左右スルコト能ハス唯利子歩合ノ昇降ヲ以テ少シク之ヲ増減スルヲ得ヘシ
 ト雖モ勿論民立ノ貯蓄銀行ハ競争ヲ惹起スカ如キ結果ヲ生セサル様之ヲ増
 減セサルヲ得サルヲ以テ其預ケ入ト引出トハ全ク公衆ノ意中ニアルモノナ

レハ公債中最モ危険ノモノナリトス

鐵道會社、汽船會社ノ如キハ只經濟上ノ便利ヲ計ルノミナラス又政治上、兵事
 上ノ關係ヲ有シ少シク經濟上ノ不便ナキヲ得スト雖モ國家全體ノ爲メ忍ビ
 テ以テ之ヲ開カサルヲ得ス爲メ十分ノ利益ヲ收ムルコト能ハス又ハ債々
 タル資本不足ノ爲メ甲乙兩線ヲ聯絡スルヲ得ス大ニ其效力ヲ缺クノ場合ナ
 キコアラズ此ノ如キ場合ニ於テハ全體ノ利益ノ爲メ又ハ甲乙兩線ノ利益ノ
 爲メ政府年數ヲ期シテ補給ヲ約束スルコトアリ又ハ一時ニ補給金ヲ與フル
 ヲ約束スルコトアリ約一度成リテ未ダ之ヲ支拂ハサル間ハ政府支拂ノ義務
 ナ終ラサルニ由リ會社ハ其期日ニ至リ支拂ヲ請求スルノ權利アリ而シテ政
 府ハ之ヲ支拂フノ義務アルモノニシテ恰モ是レ夫レ丈ケノ債ヲ負フト同一
 ノ效驗ヲ生スル者トス勿論此等ノ費用ハ公債ノ部分ニ編入セス別ニ補給金
 ノ款ヲ設ケテ支出スルヲ得ヘシト雖モ其素質タル公債ノ性質ヲ帶フルヤ又
 多辯ヲ要セサルナリ又兵亂騷擾等ノ爲メ非常ノ費用ヲ要スルヤ固ヨリ普通
 ノ歳入ヲ以テ之ヲ支拂フコト能ハサルヘク假令公債ヲ起スト雖モ其額大ニ
 増加スルニ於テハ進ミテ之ヲ募集セハ利子ノ爲メ歳入ノ大部分ヲ費サ、ル
 ヲ得ス又此ノ如キ禍機ニ際會スレハ非常ノ高利ヲ以テスルノ外ハ之ヲ借入

ル、コト能ハサルヲ以テ勢ヒ消却即チ支拂テ後年ニ期シ不換紙幣ヲ發行スルノ已ムヲ得サルコトアルヘシ然レトモ紙幣ハ自ラ價格ヲ有スルモノニアラス其之ヲ有スルハ信ヲ發行者ニ措クト其供給需要點内ニアルトニ由ルモノコレテ其性質タル後年ニ於テ都合次第成ルヘキ丈ク早ク所有者ノ請求ニ隨ヒ之ニ對シ正貨ヲ支拂フヘシト約スル所ノ約束手形タルニ過キサレハ是レ國家負擔ノ一部分タラサルヲ得ス故ニ早晚之カ支拂ヲ爲サ、ルヲ得サルモノトス

第二章 公債私債ノ別

公債ノ起因ハ既ニ前章ニ於テ説ク所ノ如シ要スルニ豫算外不意ノ費用ヲ要スルカ若クハ歳入ヲ減スルカ又ハ兵亂騷擾ニ遭遇スルカ又ハ一年度若クハ數年度ノ通常收入ヲ以テ支辨シ能ハサルノ大事業ヲ企圖スルニアリ私債ノ起因スル所亦公債ト其趣旨ヲ同クス唯、大小ノ別アルノミ然リト雖モ一箇人ト政府トハ其間自ラ差違ナキヲ得ス請フ詳ニ之ヲ論究セン

一箇人ハ多少財産ヲ所有スルモノナルニ由リ不幸ニシテ豫算外ノ支出ヲ要シ又ハ收入ニ意外ノ減少ヲ來セシトキハ其所有ノ動産、不動産ノ一部又ハ全部ヲ賣却シ其代價ヲ以テ費用ノ増加若クハ收入ノ減少ヲ辨償スルヲ得ヘシト雖モ政府ハ賣却スヘキノ財産ヲ有スルコト甚ク少ク或ハ土地、家屋、森林等ヲ所有スト雖モ是等ノモノハ自由ニ賣却スルコト能ハス又其所有ノ鑛山或ハ鐵道ヲ賣却シ或ハ之ヲ抵當トシ期限ノ間其收入ヲ債主ニ與ヘテ負債ヲ起スコトヲ得ルト雖モ是等ハ皆非常ノ所置ニ出ツルモノニシテ必スシモ其賣却ノ政府ニ利益アル時期シ難シ又時トシテハ政府或會社若クハ一箇人ニ特

典ヲ與ヘ其報酬トシテ低利ニテ金員ヲ借入ル、コトアリ然レトモ是レ亦中央銀行ノ特約ニ出ツルカ如キ特別ノ事情アルニアラサレハ常ニ政治上、經濟上其宜シキヲ得ルモノニアラサルナリ其他政府カ其減債基金又ハ準備中ニ其發行ニ係ル公債證書外國公債證書又ハ會社ノ株式ヲ有スルコトアレハ非常ノ時ニ際レ之ヲ賣却スルヲ得ヘシト雖モ是等ノモノハ既ニ其目的アリテ溢リコ之ヲ賣却スルヲ得ス假令之ヲ賣却シ得ルモ其高ハ得テ政府非常ノ費用ヲ支ユルカ如キ巨額ニ達スルヤ否ヤ豫メ之ヲ期スル能ハス而シテ一箇人ノ財產ヲ賣却スルハ其高少キヲ以テ爲メニ價格ヲ害フコトナシト雖モ政府ノ賣却ハ必ス市場ヲ動カスニ足リ殊コ一箇人ノ賣却ヲ要スルトキハ必スシモ國歩艱難信用紊亂スルノトキニ限ラスト雖モ政府カ非常ノ費用ヲ要シ其財產ノ賣却ヲ試ミルトキハ泰平無事ノトキタルコトヲ得ス必スヤ多少ノ困難ナキヲ得サルヲ以テ非常ノ低價ヲ以テスルニアラサル以上ハ之ヲ賣却スルヲ得ス果シテ然ラハ是レ非常ノ損失タルヲ免レス斯ノ如キ場合ニ於テハ政府ハ必ス負債ヲ起サ、ルヲ得サルナリ又時トシテハ政府其準備ヲ現金ニテ所有スルコトアリ果シテ然ラハ非常ニ際會シ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ヘシト雖モ方今現金ノ準備ヲ所有スルモノ甚タ少シ偶ニ之ヲ所有スルモノア

リト雖モ多クハ内外公債證書ニテ之ヲ所有セリ而シテ良シヤ現金ニテ之ヲ所有スルト云フト雖モ非常ノ需要ニ供給シ得ヘキノ巨額ヲ貯フルハ殆ト爲シ得サルノ業トス何トナレハ戰爭ノ如キハ一日百萬圓以上ヲ要スルコトアレハナリ故ニ假令現金ノ準備ヲ有スルモ唯一時借入ノ期ヲ遷延スルヲ得ルノミコシテ到底借入ヲ爲サ、ルヲ得サルナリ

方今開明諸國中非常準備ヲ有スル者ハ唯、普魯、西、丁、抹等ノ數國アルノミ而シテ諸國ノ政府ニシテ屢、公債ヲ起サ、ルヲ得サラシムルモノハ準備ノ設ケナキニ由ルモノ蓋シ少シトセス然リト雖モ一箇人ノ貯蓄ヲ爲スハ其費用ヲ節シ其職ヲ勵ミ收入ヲ増加シ以テ之ヲ爲スヲ得ヘシト雖モ政府ノ經費ハ苟モ冗費ヲ沙汰スルノ外ハ非常ニ之ヲ減スルヲ得ス文武ノ事業ノ發達進歩ニ要用ナル丈ケハ之ヲ缺クテ得ス而シテ收入ハ溢リコ之ヲ増加スル能ハサルカ故ニ一箇人ノ場合ノ如ク大ニ經費ヲ減シ收入ヲ増加シ以テ常備ヲ積ムコト能ハサルナリ元來公債ノ害ハ其元利支拂ノ爲メニ租稅ヲ増スニアリ苟モ此事ナクシハ公債亦有害ノモノニアラサルナリ無用ニ歲入ヲ増シテ準備ヲ積ムモ等シク重敷ヲ課セサルヲ得ス而シテ巨額ノ歲入殘餘ハ濫用ノ弊ヲ養生ス既ニ之アリテ尙ホ能ク謹儉ヲ以テ其財政ヲ處スルノ政府ハ古來未ダ曾テ

見サル所ノモノナリ苟モ歳入餘リアルノ好況ヲ得レハ其國幸ニシテ巨額ノ公債ヲ有セザレハ租税中最モ有害ナルモノヲ全廢若シハ輕減シテ國民ノ負擔ヲ輕クシ農工百科ノ業ヲシテ發達伸暢セシムヘシ若シ又國家非常ノ好運ニ際シ輕放ヲ以テ國庫ヲ充實シ大ニ餘裕アラハ之ヲ港灣改良道路開鑿等ニ用ヒ一般ノ進歩ヲ補助スヘシ然ラハ則チ物價平均若クハ低落シ減税同様ノ效驗ヲ得ヘシ熟方今ノ實況ヲ觀察スルニ開明國中公債ヲ有セサルモノナク又租税ノ廢止輕減ヲ要セサルモノナシ故ニ歳入殘餘アレハ當時ノ實況ニ由リ或ハ公債消却シ或ハ租税ノ廢止輕減ヲ計ルヘキナリ徒ラニ準備ノ増殖ヲ計リ民ノ負擔ヲ顧ミス負債ノ辨償ヲ計ラサルハ策ノ得ザルモノニアラザルナリ

右ニ陳述スル所ヲ略言スレハ一箇人ハ苟モ窮民又ハ非常ノ投機者ニアラザレハ通例賣捌キ易キ財産ヲ所有スルヲ以テ金ヲ要スル毎ニ之ヲ借入ル、コトヲ要セス政府ハ斯ノ如キ財産ヲ所有セス又假令之ヲ所有スルモ強テ之ヲ賣却スレハ大ニ其價格ヲ低落シテ損失ヲ被ルヲ免レス又之ヲ賣却スト雖モ其額十分ナルコト能ハス故ニ金ヲ要スルトキハ必ス之ヲ借入レサルヲ得ス是レ則チ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ一ナリ

公債私債ノ起因ニ關シ其差異アルハ既ニ前陳スルカ如シ今又一步ヲ進メテ其償却ニ於テ兩者ノ間ニ難易アル所以ヲ說カン元來公債ノ償却ハ決シテ容易ノ業ニアラサルナリ通常ノ歳入ヲ以テ其償却ニ充テシカ通常ノ歳入ハ通常ノ費途ニ充テサルヲ得テ非常ノ稅減ヲ用フルニアラスノハ償却ノ爲メニ餘利ヲ得ルコト能ハサルヲ如何セン稅額ヲ増シテ其償却ヲ爲サンカ民力ノ之ニ應スルヲ期スル能ハサルヲ如何セン一箇人ノ歳出ニ於テハ或ハ其居住ノ爲メニハ急ニ非常ノ節省ヲ行フ能ハサルノ事情アルヘシト雖モ其衣服飲食遊興ノ費途ニ於テ直ニ之ヲ節減スルコトヲ得ヘシシテ其節減ヲ行フ亦各自ノ意中ニアリテ存ス然リト雖モ政府ハ其費用ヲ節省スルコト甚ク難シ今其費途ヲ分疏スルニ政府ノ自在ニ節減ヲ行フ能ハサルモノ實ニ尠シトセス元來政府ノ費途ヲ大別シテ義務費官工官有財産ノ保存費文武通常事務費ノ三條トス其公債元利仕拂ノ如キハ國民ト政府トノ間自ラ條約ノ存スルアリテ妄ニ之ヲ減少スルコトヲ得ス官工官有財産ノ費用ノ如キハ既ニ成リ立ツ所ノモノ、保存山林ノ保護、河川堤防等ニ係ルヲ以テ亦其費用ヲ廢止スルヲ得サルモノ多シ事業ノ半成道路築港準備ノ如キスルモノアレハ勢ヒ之ヲ廢棄ニ歸スルコト能ハス故ニ是等ノ場合ニ於テハ唯新ニ起ス所ノ者ニ於テ

節減ヲ加フルヲ得ルノミ通常事務費ニ於テモ陳腐措ク能ハサル政府ノ改革等ノ爲メ繁文ヲ除キ冗員ヲ沙汰スルカ如キ場合ノ外ハ大ニ之ヲ減スルコト能ハス一箇人ノ驕奢ノ爲メニ用フル所ノ從者ヲ廢スルハ容易ナリト雖モ政府コシテ其役員ノ半分或ハ三分ノ二ヲ一時ニ減スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサル所ニシテ現ニ忽チ事業上不都合ヲ生セン而シテ其廢官人員久シク道路ニ迷フハ決シテ免レサル所ナレハ政路上徳義上社會上ニ影響スルコト亦少小ニアラス故ニ此點ニ於テ政府ハ急ニ其費用ヲ減少スルコト能ハサルヘシ或ハ云ハシ政府大ニ兵員ヲ減少シテ其費用ヲ節減スルヲ得ヘシト然レトモ隣國ニ強國アレハ政界上決シテ之ヲ非常ニ減少スルコト能ハサルナリ故ニ國家ノ歲出ハ一箇人ノモノ、如ク決シテ其意ヲ以テ之ヲ減少スルコト能ハサルナリ隨テ政府ハ公債ノ元利仕拂ニ充ツルカ爲メ大ニ其費用ヲ節省スルコト能ハス新公債ノ起ル毎ニ税額ヲ増シテ之カ支辨ニ充テサルヲ得サルヘシ政府ノ公債ヲ起ス實ニ輕々卒々ノ事ニアラサルナリ是レ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ二十ナリ

政府ハ一箇人ノ如クニ財產ヲ有セス又容易ニ其歲出ヲ減少スルコト能ハス新ニ負債ヲ起セハ必ス新稅ヲ課スルカ或ハ舊租稅ヲ增加スルカ二者ノ一ヲ採用セサルヲ得ス然ルニ政府ハ民心ヲ害ハス經濟ヲ亂サス人民歲入ノ幾分ヲ增稅或ハ新稅トシテ徵收スルヲ得ルヤチ豫定スル甚タ難シ或ハ之カ爲メニ重斂ヲ賦課シテ大ニ人心ヲ失ヒ或ハ百般ノ營業發達ヲ障礙シ資本ノ輸出ヲ促ス等其結果大ニ恐ルヘキモノアリ一箇人ノ負債ヲ起スニ於テハ其償却ノ爲メ特ニ事業ヲ屬ミ收入ヲ増シ他人ニ頼ラス自ラ之ヲ辨償スルヲ得ヘク又前陳ノ政治上經濟上ノ不便ヲ惹起スコトナシ政府ハ即チ然ラス經費ヲ節スル能ハスソハ租稅ニ據リ收入ヲ増サ、ルヲ得サルナリ是レ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ三十ナリ

又一個人ノ貸借ニ於テハ負債主ハ身代限ノ處分ニ違フニアラサレハ負債ニ付キテノ約束ハ一切之ヲ履行セサルヲ得ス然レトモ政府ハ自ラ其費用ヲ定メ自ラ税額ヲ定メ自ラ其負債償還力ノ多少ヲ定メテ以テ之ヲ施行スルコトヲ得若シ其條約ヲ實施シ能ハサルトキハ債主ノ意ニ逆フテ自ラ身代限ヲ爲シ負擔ノ一部ヲ支拂ヒ又ハ其全部ヲ取消スコトアリト雖モ事立法上ヨリ定マレハ債主ハ之ヲ訴フルノ裁判所ヲ有セス固ヨリ斯ノ如キハ方今ノ開明國ニ於テハアルヘカラサルコトナリト雖モ往時ニ於テハ其例ニ乏シカラス又方今ト雖モ或國ニ於テハ其例ナシトセス然レトモ一個人ノ貸借ニ於テハ各

故爲ノ身代限ヲ防クノ機關アリテ能ク債主ヲ保護ス是レ公債ト私債トノ間ニ差異アル所以ノ四ナリ

政府ハ永久ノ目的ヲ以テ設立セラル、モノニシテ其壽命決シテ一個人ノ如ク短期ナルモノニアラサルナリ故ニ負債ノ期限モ公債ニ於テハ私債ヨリモ永ク其期限數十年ニ涉リ或ハ償還ノ期限ヲ定メス唯財政ノ緩急ヲ計リ之ヲ償還シ毎年利子ノミヲ支拂フモノナリ英佛ノ如キ信用厚キ國ニ於テハ此類ノ公債最モ多シ是レ政府信用ノ厚キト公債證書ハ私債ノ證券ト全ク其性質ヲ異ニシ賣買受授ノ自在ナルモノナルニ由リ債主ニ於テ其元金ヲ要スルトキハ之ヲ賣却スルヲ得又代變リ等ノ時ニハ自由ニ之ヲ受授スルヲ得ルヲ以テ元金ノ償却ヲ得スト雖モ債主ニ於テ聊不便ヲ感スルコトナキニ由ルモノナリ是レ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ五ナリ

又普通私債ニ於テハ呼價ト實際ノ借入高ト差違アルコトナク債主ハ時トシテハ手數料又ハ禮金トシテ貸付高ノ一分ヲ領收スルコトナキニアラスト雖モ通例ハ其受取ル所ノモノ元金ニ止マルナリ然リト雖モ公債ノ場合ニ於テハ呼價ト拂込高トノ間ニ差違アルコト多ク即チ實際ハ八十圓ヲ拂込、百圓ノ證書ヲ受取り又ハ公債ノ需要多キ時ハ百圓ノ證書ヲ得ンカ爲メ百二三

圓ヲ拂込ムコトアリ又故ラニ利子ヲ低クシ其不足ヲ債フカ爲メ利子ノ外ニ年金ヲ受取ルコトアリテ償還ノトキハ實際拂込ミ元金ヨリ或ハ多額ヲ受取ルコトアリ或ハ少額ヲ得ルコトアリ斯ノ如ク公債ノ場合ニ於テハ表面ノ元金ノ外ニ多額ヲ受取ルコトアリ又拂込ミ元金ヨリ少額ヲ受取ルコトアレトモ斯ノ如キハ私債ノ場合ニ於テハ曾テ見サル所ノモノナリ是レ即チ公債私債ノ間ニ差異アル所以ノ六ナリ

公債ト私債トノ間ニ差異アル概テ右ノ如シ而シテ公債ハ一度之ヲ起セハ其元利支拂ノ爲メニ人民ノ負擔ヲ増スハ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ故ニ其募集ハ大ニ之ヲ慎ミ決シテ輕忽ニ附スヘキモノニアラサルナリ

第三章 公債ト非常準備トノ關係

前章ニ於テ政府非常準備ヲ所有スルニ於テハ瑣小ノ事件ノ爲メ公債ヲ起ス
 ノ要ナシ方今非常準備ノ設置ナキハ屢公債ノ起ル一原因タルヲ論セリ然レ
 トモ非常準備ヲ置クハ歲入殘餘ニ依ラサルヲ得ス歲入殘餘ヲ得ルハ賦斂ヲ
 重クスルカ官有財産ヲ賣却スルカ又ハ外國ヨリ巨額ノ償金ヲ得ルカコアラ
 サレハ之ヲ爲スヲ得ス然ルニ妄ニ賦斂ヲ重クスルハ固ヨリ不可ナリ官有財
 産亦妄ニ之ヲ賣却スヘカラス而シテ外國ヨリ償金ヲ得ル是レ亦期スヘキコ
 トコアラサルナリ故ニ準備ヲ積ムノ業又難シト云フヘシ假令容易ニ之ヲ蓄
 積シ得ルモ又利害ノ相混淆スルモノアリ然レトモ之ヲ有セサレハ非常ノ時
 變ニ際シ政府ハ公債ヲ起シ之ニ應セサルヲ得サルハ最モ親易キノ理ナルニ
 由リ往時公債ノ事業未ダ發達セサルニ際シ賢明ノ君ハ皆之ヲ設置スルヲ力
 メタリ然ルニ開明ノ度進ムニ隨ヒ費用多端且ツ文物整頓シ昔日ノ如ク國家
 ノ興廢存亡頻繁ナラス其基礎甚ク固キヲ以テ非常ニ際シ公債ヲ起スコト必
 スシモ難カラズ是ニ於テヤ歐洲各國漸次非常準備ヲ廢シ方今ニ於テハ普魯

西丁抹等ノ之ヲ貯フルアリト雖モ其他ノ國ニ於テハ多クハ之ヲ貯ヘス豫テ
 財政ノ機關ヲ設ケ非常ノ費用ヲ要スルトキハ中央銀行ヨリ之ヲ借入ル、チ
 通例トス而シテ其設置タル財政上重大ノ關係ヲ有シ頗ル論究スヘキモノア
 リ今其利害得失ヲ談スル亦無用ノコトコアラサルヘシ請フ之ヲ論究セン
 非常準備ノ設置タル昔日ニ於テハ甚ク多シアゼンヌノ政府ハベルシヤ戰爭
 (西曆紀元前四百九十年)トペロポンネサス戰爭(西曆紀元前四百四十六年)ト
 ノ間ニ一萬タレント「チ貯蓄セリ」(二)タレント「ハ凡ソ二千二圓ナリ」羅馬ニ於テ
 ハ奴隸免役稅トシテ其價格ノ二十分ノ一ヲ課シ之ヲ非常準備トシ又外敵ヨ
 リノ分捕物ハ之ヲ準備トシテ「サトルン」ノ殿堂ニ貯蓄セリ降リテ帝政ノ世ニ
 於テモオーガスタス、タイベリヤス、ヴェスぺシヤン等皆非常準備ヲ貯蓄セリ
 佛國ノ諸王モ昔日ハ非常準備ヲ貯蓄シ之ヲ子孫ニ傳ヘリ普魯西ハ常ニ此準
 備ヲ貯フルコトナカメ今ニ至リテ尙ホ之ヲ爲ス彼ノフレドリツキ二世ノ
 即位ニ當リテ普魯西ハ八百七十萬「タール」(一)「タール」ハ凡一圓二十錢ニシテ此
 高ハフレドリツキ、ウイリヤムノ貯フル所ナリ)ノ準備ヲ有セリ此高凡千四十
 四萬圓ニ當リ當時普魯國ノ人口稍ク三百萬乃至四百萬ニシテ殊ニ銀貨ノ貴重
 ナリシヲ思ヘハ殆ト方今佛國政府カ四億圓ノ準備ヲ有スルニ同シ豈ニ巨額

ト云ハサルヲ得ンヤフレドリツキ第二世戦争ヲ好ミ費用大ニ加ハリ爲メニ此高チ使用シ盡セシト雖モ末世尙ホ是レヨリモ巨額ナル準備ヲ貯蓄セリ然レトモ當時未ク政府ノ財政ヲ公ニスルノ時運ニ遭遇セザリシニ由リ此王ハ如何程ノ高チ殘セシヤ其數ヲ詳ニスルコトヲ得スト雖モ歴史家ノ傳フル所ニ據レハ六千萬乃至七千萬ヲラナリトス實ニ非常ノ巨額ト云フヘン昔魯西ハ常ニ此準備ヲ貯蓄スルヲカメ西曆千八百七十年ノ役ニ佛國ヨリ得シ償金二十億圓ノ内六千萬圓ヲ此準備ニ繰込ミ二億六千四百萬圓ハ退役者扶助料トシ二億圓ハ砲臺建築其他兵備ノ爲メニ用フヘシト定メタリ此二億六千四百萬圓及二億圓即チ四億六千四百萬圓ハ一時ニ用フヘキモノニアラサレハ之ヲ帝國宰相ノ守管ニ屬シ銀行ニ預クルカ或ハ内外公債ヲ買入ルコトニ決セリ元來斯ノ如キ巨額ヲ一時ニ銀行ニ預ケ又ハ之ヲ以テ一時ニ公債證書ヲ買入ルハ財政上策ノ得タルモノニアラサレナリ何トナレハ之カ爲メ或ハ銀行ニ一時不當ニ運轉資本ヲ増加シ割引歩合ヲ減シ隨テ投機心ヲ喚起シ或ハ急ニ公債證書ノ價格ヲ騰貴シ之カ投機賣買ヲ惹起スヘケレハナリ獨逸ニ於テ西曆千八百七十一年以來物價類ニ騰貴シ同千八百七十三年ニ至リ一恐慌ヲ生セシハ決シテ偶然ニアラス抑又之カ原因ヲキテ得サルナリ方今

彼ノ四億六千四百萬圓ノ幾分ヲ所有スルヤ否ヤ之ヲ確定シ難シト雖モ西曆千八百七十六年中ノ調査ニ據レハ其存在高左ノ如シ
 債償者扶助料ノ二億六千四百萬圓ノ中凡八千四百五十萬圓ハ獨逸鐵道會社ノ株式コトヲ存シ兵備ノ爲メニ使用スヘキ二億圓ノ内凡四千六百八十萬圓ハ鐵道會社株式千五百五十萬圓ハ四分半利付ノパワリヤ公債九百二十萬圓ハ五分利付北米合衆國公債二十萬圓ハ英國公債八百八十萬圓ハ五分利付露國公債コトヲ存シ其高總テ凡一億六千萬圓ナリ由是觀之獨逸ハ五年間ニ三億餘萬圓ノ巨額ヲ無生産ノ業ニ費セシモノト云フヘン果シテ然ラハ物價騰貴商業紛亂セサラント欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤ宜ヘナル哉西曆千八百七十三年ニ至リ一恐慌ヲ惹起シ非常ノ混亂ニ遭遇セシハ亦以テ怪ムコ足ラサルナリ加之獨逸政府ハ此ノ如キ巨額ヲ以テ重ニ自國ノ公債證書及株式ヲ買入レシニ由リ之ヲ賣出スニ至リ其下落ヲ讓シ西曆千八百七十三年以來其下落ノ爲メ頗ル損失ヲ蒙レリ若シ獨逸政府カ先ツ償金ノ高チ定メ其内目下競争ノ費用ノ爲メ必要缺クヘカラサル高チ正金コトヲ受取リ其他ハ定期拂ノ佛國公債證書コトヲ請取リシナレハ佛國モ之ヲ支拂フニ苦マス獨逸モ暫時ニテ巨額ノ現金ヲ受取リ爲メニ市場ヲ紊亂セス永ク敵國ノ膏血ヲ吸フ

テ其兵備等ニ充ツルヲ得シナラン西曆千八百七十年ノ役後獨逸政府若シ此方法ニ從ヒテ其財政ヲ處理セハ佛國ナシテ敗軍ノ後大ニ勉勵力ヲ振起セシメス且ツ自國ノ財政ヲ亂スコトナカリシナラン策茲ニ出テサリシハ頗ル財政上ノ明ヲ缺クモノト云フヘシ而シテ強敵大敗ノ後急ニ再舉ノ患ナク獨逸ニ於テハ故ヲニ兵備ヲ修ムルニ急ナラス徐々トシテ其歩ヲ進ムルモ敢テ之ヲ遲シトセス佛國ヨリ受取ル公債元利金ノ高ヲ定メ何年目ニ幾何ヲ得何年目ニ幾何ヲ得ルトノ豫算ハ最モ容易ニ爲シ得ヘキコトナレハ砲臺建築負傷者手當等ニ於テ決シテ差支ユルコトナク且ツ窮寇ハ追ハストノ戒アリ獨逸政府何ソ夫レ慎マサル其之ヲ追フコト急ナレハ益敵國ノ人心ヲ結合シ窮鼠却テ猫ヲ嚙ムノ恐アリ西曆千八百七十年ノ役ビスマルク以爲ラツ二十億圓ノ巨額ヲ課シテ三年ニシテ之ヲ徵セハ佛國又立ツ能ハスト何ソ知ラン佛國ノ人心之カ爲メ大ニ激昂シ三年ニシテ此巨額ヲ支拂ヒ敢テ其財政ヲ過マルコトナク獨逸ハ却テ恐慌ノ禍ニ墮ニ達フ奇ナラスヤ然リト雖モ是レ決シテ奇ニアラス何トナレハ佛國ハ此大難ニ達ヒ固ク人心ヲ結ヒ誓ヒテ此耻ヲ雪クノ氣風ヲ養生シ獨逸ハ一時巨額ノ金圓ヲ得其使用ヲ慎マサリシニ由ルモノナリ獨逸ヲシテ前陳ノ如キ手段ヲ用ヒシノハ大ニ佛國ノ人心ヲ緩ノ其結

果チ異ニセシヤ敢テ疑テ容レサルナリ獨逸當時ノ處置ハ決シテ策ノ得タルモノト云フヲ得ス元來政府巨額ノ準備金ヲ有スレハ多少經濟上並ニ道德上ノ不便ヲ免レサルナリ何トナレハ其所有ノ公債下落ノ徵アレハ之ヲ賣出サントスルハ人情ノ然ラシムル所ニシテ常ニ政府ヲシテ貨幣市場ニ意ヲ注カシメ其本分ニアラサル事業ニ從事セシムルコトナキヲ保セス加フルニ投機者流カ百方政府ノ鼻息ヲ窺フノ勢ナキヲ得サルナリ

政府ヲシテ巨額ノ非常準備ヲ有スルノ弊害凡ソ斯ノ如ク然レバ其事タルヤ管ニ經濟上ノミヨリ論スル能ハス政治上兵事上ヨリ之ヲ論セサルヲ得サルモノアリ請フ今一步ヲ進メテ詳ニ之ヲ論究セン實ニ政府ノ勉ムヘキハ巨額ハ金圓ヲ積ムニアラスノ民ニ幸福ヲ與フルニアリ故ニ幸コソ歳入殘餘アレハ有害ノ租稅ヲ廢スヘク一般ノ租稅ヲ減スヘク國ニ不換紙幣或ハ公債アレハ之ヲ償却スヘシ或ハ起スヘキ有用ノ工事アレハ之ヲ起スヘシ恣ニ歳入ニ殘餘ヲ積ムチカムヘカラス若シ巨額ノ準備アレハ之ヲ無用ノ事業ニ用ヒテ大ニ一國ノ資本勞力ヲ徒費スルノ患アリ行政部ハ立法部ノ意ヲ輕シテ專斷ヲ試ミ或ハ小事ニ依リテ戰爭ヲ起シ又官吏ノ不正ヲ誘引スルノ恐ナリトセス然リト雖モ準備増殖ノ外他ニ變ニ應スルノ策ナキニ於テハ或ハ止ムチ

得ナルヘント雖モ方今開明ノ度大ニ進ムヤ突然不意ノ事變起ルコト稀レナ
 リ且ツ文物ノ整頓スルヤ信用從ヒテ厚ク國隨テ富裕ナレハ事變ニ先キ負債
 ナ起シ豫メ之ヲ備フルモ亦爲シ難キコアラズ平日貨幣ノ制度ヲ固クスレハ
 事アルニ當リテ不換紙幣ヲ發行シ以テ天下ノ資本勢力ヲ借ルコト亦難キコ
 アラス故コ方今ニ於テハ昔時ノ如ク巨額ノ非常備準ヲ要セス然レトモ不幸
 ニシテ佛國ノ如キ地位ニ居リ其北境敵ノ堅城鐵壁ヲ星列シ其敵巨額ノ軍用
 金ヲ有シ鷹眼ヲ怒ラシ虎牙ヲ磨キ以テ其虛ヲ窺ヒ費ニ乘スルノ勢アルニ於
 テハ公債募集不換紙幣發行ノ如キ國會ノ決ヲ經サルヲ得サルモノハ急劇ノ
 場合ニ際シ其用ヲ爲シ難シ良シヤ機ニ後ル、ニ至ラサルモ敵國ヨリ大ニ其
 舉動ニ注目セラル、ノ不便アレハ幾分カ非常備準ヲ有セサルヘカラサルナ
 リ而シテ其本分ノ支出ハ固ク之ヲ禁スルニ於テハ實地ノ便ヲ得ン論者或ハ
 云ハン此準備ハ大ニ資本ヲ減少スルノ勢アリト夫レ或ハ然ラント雖モ
 其現金ニテ貯フルモノハ之ニ對シテ紙幣ヲ發行シ之ヲ合法紙幣トスレハ決
 シテ此不便ナカルヘシ而シテ此發行ハ現金在高ニ等シキモノナレハ決シテ
 通貨之カ爲メニ需要點ニ超過スルコトナク爲メニ貨幣市場ヲ紊亂スルコト
 ナカルヘシ普魯西ノ如キハ此法ヲ用ヒ紙幣ヲ發行ス而シテ其紙幣ハ却テ打

歩ヲ得ルノ勢アリ其公債證書ノ分ニハ利子ヲ生シ敢テ政府ニ損失ヲ讓スコ
 トナシ今此準備ハ非常ニ備フルモノナレハ悉ク現金ニテ貯フルヲ好シトス
 ト雖モ巨額ノ準備ハ必スシモ弊害ナキヲ保スヘカラス且ツ容易ニ殖益ヲ計
 ルヲ得ルノ道ヲ存シ尙ホ之ヲ爲サ、ルハ甚ク不經濟ナルカ故ニ其幾分ヲ以
 テ公債證書等ノ如キ確實ナルモノヲ購入スルハ決シテ妨ケナキナリ然レト
 モ其内國公債ヲ購入スルト外國公債ヲ購入スルトニ於テ自ラ差違ナキヲ得
 ス請フ之ヲ陳述セン

内國公債ヲ購入スレハ其資本ヲ輸出スルノ憂ナク又一國流動資本ヲ減少ス
 ルノ恐ナシト雖モ元來此準備タル非常ニ備フルモノナリ而シテ非常ノ時ニ
 當リテ當該國ノ公債下落スルハ最モ當然ノ事ナレハ此準備ヲ重ニ内國公債
 ニ放銀スルハ策ノ得タルモノニアラサルナリ若シ之ヲ外國公債ニテ所有ス
 レハ一時其資本ヲ外國ニ輸出スルノ不便アリト雖モ此準備ニ充ツルノ金額
 ハ歳入殘餘ヨリ生シモノニシテ別ニ其費途アルノ金員ニアラサレハ一時
 之ヲ輸出スルモ甚シキ損害ト云フヲ得ス況ンヤ其償却ニ當リテ之ヲ復スル
 ナ得ルニ於テチヤ其利子ハ政府歳入ノ中ニ編入スト雖モ内國公債利子ノ如
 キ國民ノ拂フ所ノ税金ヨリ成ルニ非ス全ク外國ヨリ得ル所ニシテ其利實ニ

同日ノ論ニアラサルナリ而シテ亦非常ノ時ニ當リテ自國ノ公債ハ大ニ下落
 スト雖モ外國公債ハ其方ニ戰鬪ヲ起シ敗北スヘシト思惟セラレタル敵國ノ
 者ニアラサルヨリハ此時ニ際シテ下落スルノ理ナシ此等ノ利アレハ國不幸
 ニシテ非常準備ヲ置カサルヘカラサルノ位置ニ居ルニ於テハ其公債ノ部ハ
 宜シク外國公債ニテ之ヲ有スヘキナリ其他株式或ハ爲換手形ニテ之ヲ有ス
 ルモ或ハ妨ケナカルヘシ然レトモ第一ノ者ハ必スシモ確實ナルコト能ハス
 第二ノ者ハ或ハ確實ナルヲ得ヘク且ツ賣却シ易キモノナリト雖モ政府之カ
 取扱ヲ爲セハ屢貨幣市場ニ立入り人民ト競争スルノ嫌アレハ是等ノ者ヲ所
 有スルハ國家ノ長計ニアラサルナリ

第四章 公債ノ經濟上ニ及ス所ノ效驗

政府ハ一箇人ヨリハ負債ヲ起スノ要多ク非常準備ヲ設置セハ少シク此不便
 ナ免ル、ヲ得ヘシト雖モ其設置モ亦容易ノ業ニアラス而シテ之ヲ設置スト
 雖モ又多少ノ弊害ヲキテ得サルヲ以テ公債ハ時ニ或ハ之ヲ起サ、ルヲ得サ
 ルナリ然レトモ其之ヲ起スヤ必ス多少ノ變動ヲ貨幣市場ニ來シ國民ノ負擔
 ナ増加スルハ數ノ免ル、能ハサル所ナリ故ニ公債ノ募集ハ決シテ之ヲ忽ニ
 スルヲ得ス叮嚀反覆之カ利害ヲ鑑ミ以テ之ヲ決セサルヲ得ス請フ詳ニ其國
 家經濟ニ及ホス所ノ效驗ヲ論究セシ
 公債ハ時トシテハ人民ノ貯蓄心ヲ獎勵スルノ效驗アリ元來貯蓄ハ現在ノ快
 樂ヲ辭シテ未來ノ逸樂ニ備フルモノニシテ開明ノ度稍シ進步シ人心未來ヲ
 思フノ念慮ヲ生セシ後ニアラスンハ得テ之ヲ望ムコト能ハス其之ヲ生セシ
 後ト雖モ貯蓄心ヲ獎勵スルハ利益割合ニ高シシテ危險少キ放銀方法ナカル
 ヘカラス今公債證書ハ銀行ノ預リ金ノ如ク直ニ貨幣トスルノ便ナシト雖モ
 其確實ナルコト銀行ノ預リ金ニ優リ其利子歩合ハ預リ金ヨリ高キヲ以テ通

例トス而シテ貯蓄ハ通例目下不用ノ金ヲ以テ之ニ充ツルモノナルヲ以テ直ニ貨幣ト爲スチ得スト雖モ非常ノ不便アルコトナク若シ又金員ヲ要スルコトアレハ之チ市ニ鬻クコト容易ナリ故ニ貯蓄ニ處スルニハ公債證書ヲ購入スルヲ以テ最モ好シトス是レ實ニ最上ノ放銀方法ナリ若シ又公債ノ募集ニ際シ證書ノ額面チ小ニシ拂込チ數回ニ分チ數箇月ニ涉リテ拂込チ爲サシムレハ節儉ヲ以テ貯蓄シタル小額ノ使用方法ニハ最モ便利ニシテ大ニ貯蓄ノ美風ヲ獎勵スルノ例甚カラス佛國ノ債金チ普國ニ拂フニ際シ施行セシ公債募集方法伊太利ノ富札付公債合衆國ノ十弗公債證書ノ賣出ノ如キハ實ニ此事ヲ證スルノ適例ト云フヘシ若シ一國不換紙幣ニ苦ミ之カ償却チ計ラントスルカ如キトキハ十圓證書發行ノ如キハ頗ル適當ナルモノナリ然レトモ平日此風俗ヲ獎勵センカ爲メニ十圓證書發行ノ如キチ企ツルハ實ニ損得相償ハサルヘシ貯蓄心ヲ獎勵スルハ宜シク身體財產ノ保護等ノ如キ他ノ方法ニ依ラサルチ得ス前陳ノ如キハ斯ノ如キ利益アルチ以テ公債チ起スヘシト云フニアラス只公債ノ起ルニ付キチ生スル所ノ一效驗チ陳述スルニ過キサルナリ

今佛國ノ債金支拂ノ時ノ第一回募集即チ十三億九千九百二十萬圓ノ公債募

集ノ現況ニ就キテ之ヲ論センニ實ニ驚クヘキ景況チ示セリ此公債ハ五分利付ニテ百フランニ一フランノ凡我四十錢ノ額面ニ對シ八十四フラン五十サンチ一ムニ一サンチ一ムニ一フランノ百分ノ一凡我四厘ニ當ルチ以テ募集價格トシ先ツ保證拂トシテ十四フラン五十サンチ一ムチ拂込マシメ其後ハ三フラン五十サンチ一ムチ一度ノ拂トシ二十度ニテ全額チ拂込ムモノトセリ是ニ於テ公衆ハ業チ勵ミ生計上ニ節儉チ加ヘハ天晴政府ノ債主トナリ公債證書ノ所有者トナルチ得ヘシト期望シ平常貯蓄銀行ノ低利ノ爲メニ貯蓄チ爲サ、ル者ト雖モ尙ホ之カ爲メニ誘導セラレ富民モ亦公債ノ募集ニ應スルノ容易ナルチ知リ大ニ貯蓄心ヲ獎勵セリ元來慾望ハ人類ノ常情ニシテ未來ノ收支チ豫算スルニ當リ其出ツルモノチ少クシ其入ルモノチ多クスルハ最モ通例ノコトナリ故ニ前陳ノ如キ望アルニ於テハ此情益激昂シ現在ノ有金ニテ保證拂チ爲ス者多ク益謹儉チ加ヘ費用チ節畧スルハ最モ自然ノコトナリ右佛國ノ公債募集ノ時ニハ大ニ小賣市場ニ影響セシト云フ

斯ノ如ク公債ハ人民ニ浮金ノ使用チ示シ是レヨリシテ株式等ニ之チ使用スルノ端緒チ開キ一國資本ノ融通チ助クルノ方便トナルコト少カラス世ニ利子割合ニ高ク危險少キ放銀方法ナラントハ貯蓄チ獎勵スルコト甚ク難シ今若

國民ニ巨萬ノ貯蓄アリト雖モ便利ニ之ヲ使用スル方法ナクシテハ其貯蓄ハ徒
 ニ富民ノ倉庫中ニ埋没シ聊世ノ生産ヲ助クルコトナシ而シテ一般人民ハ會
 社ノ性質並ニ組織ヲ知ル者少ク十分ノ之ヲ信シテ其株式ヲ購買スル者少カ
 ラス又一箇人ニ之ヲ貸付シルモ多少ノ危険ヲ免レズ然ルニ方今開明諸國ニ
 於テ政府ヲ信スルハ會社ヲ信スルヨリ厚キハ一般ノ情況ナルニ由リ公債證
 書ハ會社ノ株式ヨリモ容易ニ賣買受授スルコトヲ得ヘシ實ニ公債證書ヲ以
 テ人民ニ其浮金ヲ利用スルコトヲ知ラシムレハ是レヨリシテ公債證書外ノ
 使用法ニ誘導スルノ效驗アルヤ疑ヲ容レズ又之ヲ實際ニ質スニ疑フ能ハサ
 ルノ事跡アリ故ニ公債ハ他ノ有用ナル浮金使用法ノ誘導者ト云フト雖モ敢
 テ妨ケナカレヘシ今オーストリア侯ノ佛國會計組織ヲ見ルニ西曆千八百三十
 年佛國五分利付ノ公債證書ハ五千七十一萬四千七百八十九圓ニシテ其證書
 ノ所有者ハ十萬八千四百九十三人ナリ三分利付ノ者千五百七十五萬四百
 十八圓ニシテ其所有者一萬六千五百三十五人ナリ故ニ公債證書所有者ノ
 總數十二萬五千餘人ナルカ如シト雖モ右ノ内ニハ必ス一人ニテ兩種ヲ合セ
 所有スルモノアルヘキヲ以テ重複ヲ差引ケハ所有者ノ數ハ蓋シ十二萬五千
 人ニ及ハサルヘシ

當時公債額面僅少ナリシカ故ニ斯ノ如ク證書所有者ノ掛キハ深ク怪ムコ足
 ラスト雖モ其所有者ノ性質如何ヲ見ルニ大ニ方今ノ景況ト異ナルモノアリ
 今此公債ニ付キテ小額ノ證書ヲ所有スル者多カリシヤ又ハ多額ヲ有スル者
 多カリシヤヲ見ルニ多額ヲ有スル者却テ多シ三分利付ノ者ノ統計ハ不幸ニ
 シテ之ヲ得ス故ニ唯五分利付ノ者ヲ以テ之ヲ見ルニ二十圓以下ノ利子ヲ生
 スル公債證書ヲ有スル者ハ總所有者十萬八千餘人中僅ニ七千人ニ過キス實
 ニ是レ總所有者ノ十三分ノ一ニ達セサルノ少數ナリ右ノ外各地方ニテ元利
 ノ支拂ヲ爲セル二百八十萬圓ノ公債アリ前記ノ者ハ巴里ニテ支拂ヲ爲スモ
 ノナリ此高ノ内譯ハ之ヲ詳悉スルヲ得スト雖モ其口數ハ一萬二千ナルニ由
 リ假リニ其半分ヲ二十圓以下ノ利子ヲ生スルモノトシ一人毎ニ一口宛之ヲ
 所有スルモノト看做スモ此類ノ少額ノ公債證書所有者ハ六千人ニシテ之ヲ
 前ノ八千ニ加フト雖モ僅ニ一萬四千人ニ過キサレハ小額ノ公債證書ヲ所有
 スル者ハ實ニ小數ニ位ス由是觀之小民ノ公債證書ヲ購入スル者ハ當時ニア
 リテ甚ク少ナリト云フヘシ然ルニ西曆千八百五十四年以來ノ實況ヲ見ルニ
 全ク反對ノ影響ヲ示ス該年三月ノ一億圓ノ公債募集ニ應スル者九萬九千二
 百二十四人其内六萬百四十二人ノ應募額ハ二十圓以下ノ利子ヲ生スル小額

ニシテ元金九百七十七萬二千三百圓一人ノ申込高平均凡三百二十圓ニ達セリ又同年十二月ノ二億圓ノ公債ニ應スル者十八萬四百八十人内十七萬八千二百人ハ二百圓ノ利子ヲ得ル丈ケノ小額ノ應募者ニシテ殆ト政府需要高ノ全額ニ應セリ西曆千八百五十五年七月ノ三億四百萬圓ノ公債ニ應スル者三十一萬六千九百七十六人内二十二萬三千二百六十二人ハ二十圓以下ノ利子ヲ得ル小額ノ應募者ニシテ其元金九千二百八十萬圓即チ殆ト政府ノ需要高ノ三分ノ一ニ達セリ西曆千八百五十九年ノ二億八百萬圓ノ公債ニ應スル者六十九萬二千三百三十人内五十三萬八千九百九十三人ハ僅々四圓ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ其元金四千二百八十萬圓ニ達シ西曆千八百六十四年ノ一億二千六百萬圓ノ公債ニ應スル者五十四萬一千九百三人内四十萬一千八百五十九人ハ二圓四十錢ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ西曆千八百六十八年ノ一億八千萬圓ノ公債ニ應スル者八十三萬二千七百九十八人内六十七萬二千九百九十三人ハ二圓ノ利子ヲ生スル小額ノ應募者ニシテ其元金六千六百餘萬圓ニ上レリ西曆千八百七十二年ノ十二億餘萬圓ノ公債ニ應スル者ハ九十萬四千二百七十六人ナリト云フ其内小額應募者ノ數蓋シ僅少ニアラザルヘシト雖モ未ク其數ヲ得ス由是觀之方今細民ノ公債ヲ所有スル者ノ數大

ニ増加セシヤ敢テ疑テ容ル、能ハサルナリ實ニ是レ細民中ニ貯蓄者ヲ増加セシノ證據ニシテ國家ノ幸福ト云フヘシ然レモ右ノ揚クル所ノ數ヲ以テ直ニ細民中ノ公債證書所持人ノ數ト爲スヘカラス何トナレハ多數ノ小額應募者中一人ニシテ數種ノ公債證書ヲ所有シ合シテ數千圓ノ公債證書ヲ所有スル者ナキヲ保セス又富民ニシテ小額ノ公債證書ヲ所有スル者ナキヲ保セザレハナリ西曆千八百七十七年頃佛國ノ公債證書所有者ノ數ハ百二十四萬九千七百七十一人ニシテ英國ニテハ西曆千八百七十六年一月五日ノ調査ニ據レハ其三分利付永遠公債證書ノ所有者僅ニ十萬八千三百九十二人ナリト云フ是レ英國ノ富民多クシテ一人ニシテ巨額ヲ所有スルニ由ルナルヘシ今我國ノ景況ヲ見ルニ公債證書所有者中小額ノ利子ヲ受取ル者甚ク少ク募集ノ時ニモ小額ノ應募者意外ニ少シ是レ細民中公債ノ放銀ニ便ナルヲ知ラサルニ出ツルモノニシテ畢竟我國國民ハ其貯蓄ヲ鞏固安全ニシ割合ニ高利ヲ生スル公債證書ヲ利用スルコト佛國人民ニ及ハサルモノト云フヘシ今明治二十一年五月六月ニ於テ日本銀行カ各公債利子ノ爲メニ支拂ヒタル金高二百八十六萬一千二百九十八圓八十錢内五圓以下ノ利金支拂高僅ニ八千五百一圓九十錢利子受取ノ總人員一萬五千二百九十三人内五圓以上ノ利子ヲ受取リタ

ル者三千三百五十二人明治二十年十二月舊公債賦金ヲ支拂フタル高十二萬三千三百九十一圓五十錢内五圓以下僅ニ百五十八圓五十錢賦金ハ一年ニ度支拂フモノニシテ利子ハ二期ニ支拂フモノナレハ半期分ノ利金五圓ハ年十圓ナリ今賦金五圓以上十圓未滿ノ者ヲ以テ之ヲ算出セハ少シク右ノ數ヲ增加スヘシ賦金受取ノ總人員三百二十七人内五圓以下ノ賦金ヲ受取リシ者僅ニ七十人實ニ是レ小數ナリト云フヘシ今各公債ニ付キ其内譯ヲ示スコト左ノ如ク

明治二十一年 五、六月利拂并ニ同二十年十二月舊公債賦金拂ノ實況

種目	支拂金高	人員
七分金繰	五圓以上 八六四、五八一圓 四、六九一	七二五〇〇 一、七三五六
六分金繰	三二三、〇九五 四、六九五	六二五〇〇 一、一七三七
五分金繰	七三五、二六七	五〇〇〇〇 四一八
記名整理	二二一、三六八 二、一六八	七七五〇〇 二、三三九 九四八

無記名整理	全全	二三四、八六六 九二八	七二五〇〇	一、三三一 四〇五
記名金札引換	全全	八三、二七四	〇〇〇〇	八四〇
記名海軍	全全	九四、一七〇	五〇〇〇	四三六
無記名海軍	全全	三九三、三七二	五五〇〇	一、一三七
中山道鐵道	全全	二五七、一三九 一、三九八	〇〇〇〇	五三五 四九
新公債	全全	九九、七四七 七四九	五〇〇〇	二六八
舊公債	全全	一二三、一五三 一、五八三	五〇〇〇	二七〇七

右ハ東京府下ノ景況ノミヲ示スモノコシテ全國ノ景況ヲ示スモノニアラサレハ隔靴搔痒ノ憾ナキヲ得スト雖モ亦以テ其梗概ヲ窺フニ足レリ(前記ノ計數ハ日本銀行員ノ好意ヲ以テ之ヲ得タリ同行員ノ厚誼深ク之ヲ謝セサルヲ得ス)右ノ外第一國立銀行、三井銀行ノ取扱ニ係ル起業公債アリト雖モ是レ實ニ一小部分ニシテ敢テ大勢ヲ動かカスノ勢力ナキヲ以テ之ヲ省略ス
又募集ノ實況ニ付キテ之ヲ見ルニ明治十九年十一月整理公債第一回募集ニ

際シ募集高一千萬圓ニ對シ應募總額千六百五十三萬七千五百五十圓應募總人員千九百九十三人内二百圓以下ノ應募者僅ニ二百七十一人其他海軍公債募集ニ於テモ大同小異ノ景況ヲ示ス我國細民ノ公債ヲ利用スル未ダ遠ク佛國ニ及ハサルノ實アリ他日民智更ニ進歩シ貯金ヲ公債ニ放下スルノ便利ヲ知ル一層深キニ至ラハ佛國方今ノ實況ヲ我國ニ顯出スルニ至ラシ我カ人民ノ利益ヲ悟ル何ソ佛國人民ニ讓ラシヤ此差違アルハ只我ニ於テハ公債事業整頓シ公債證書ノ放銀ノ器具トシテ民間ニ行ハル、ハ僅ニ維新以來ニアリテ年未ダ久シカラス彼ニ於テハ古來之ヲ使用セシニ由ルナリ曩ニ整理公債條例ノ發セラル、ヤ應募ノ高政府需要高ヨリ多キトキ同價格ノモノハ平等ニ減少スルモノナリシト雖モ明治二十一年六月政府ハ條例ヲ増補シ時宜ニ據リ同價格ノモノニ對シテハ二百圓以下ノ者ニ減少ヲ加ヘサルモノトセラレタルヲ以テ今後ノ募集ニハ一層細民ノ便利ヲ増スヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

公債ハ右ニ説ク所ノ利益アリト雖モ政府屢巨額ノ公債ヲ募集セハ國中ノ富ヲ集メテ之ヲ首府或ハ一地方ニ致スノ弊害ナキヲ得ス果シテ然ラハ諸方ニ散ラテ地方ノ生産ヲ補助スルノ資本ヲ減シ富ノ平均ヲ失ヒ一國ノ生産力ヲ減殺スルノ弊ナキヲ得ス若シ公債募集金ニシテ不急ノ業ニ使用セラル、ニ

於テハ其害更ニ大ナリト云フヘシ然リト雖モ是レ公債ノ募集ヲ謹マズ其使用法ヲ誤ルニ由ルモノニシテ偶、公債ヲ募集シテ不急ノ土木ヲ起シ不要ノ兵ヲ起ス等ノ事アリテ資本ヲ浪費セシノ成績アルヲ以テ直ニ公債ハ嫌惡スヘキモノナリト云フヘカヲサルナリ凡ソ天下ノ事物利害相消合セサルハナシ公債ハ人民ニ便利ナル浮金ノ私用法ヲ示シ之ヨリシテ諸株式等ニ入金セシムルノ道ヲ開クコトヲ得ヘシ唯妄ニ屢巨額ノ公債ヲ起セハ假令有用ナル事ニ之ヲ使用スト雖モ富ノ配當其宜シキヲ失ヒ爲メニ地方ノ事業ヲ減殺シ國力ヲ減小スルノ弊アルヲ免レス豈ニ慎マサルヘケンヤ今白耳義ノ如キ公債ノ募集ヲ屢セサル國ト佛國ノ如キ屢、公債ヲ募集スル國トヲ比較スルニ公債ヲ起スコト少キ國ニ於テハ富ノ配當其宜シキヲ得地方ノ事務ニ見ルヘキモノアリ然レトモ之ヲ起スコト大ナルモノハ富一方ニ偏集シ地方ノ不振ヲ致スヘク地方振ハサレハ何ヲ以テカ國力ヲ増進スルヲ得ンヤ屢巨額ノ公債ヲ募集セハ其元利支拂ノ爲メ賦歛ヲ重シセサルヲ得ス其害延キテ後世ニ及フヘシ假令之ヲ有用ノ事業ニ用フルモ尙ホ此元利支拂ノ要アリ況ヤ之ヲ不急ノ事業若シハ不成效ノ事業ニ盡盡スルニ於テチヤ國家ノ損失ヲ來ス固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ又一方ヨリ論スレハ公債ハ國中ノ富ヲ一地方ニ吸

收スルノ勢アルヲ免レスト雖モ地方ノ農工商其用ヲ缺キテ以テ公債ノ募集
 ニ應ジ又ハ證書ノ購買ヲ爲スモノニアラス彼等ノ之ヲ爲スハ畢竟其事便且
 ツ利コシテ事業ニ從事スルノ便利ニ勝ルモノアルニ由ル故ニ公債募集ハ決
 レテ經濟ヲ混亂スルモノト云フヲ得ス公債ニ放下スルノ金額ハ事業上ニ適
 用スル分ヨリ來ラヌ全ク純然タル貯蓄ヨリ來ル者ナレハ公債ノ募集ハ決シ
 テ一國生産ニ影響スルコトナシ且ツ公債證書ハ之ヲ賣却スルコト容易ナレ
 ハ一時ノ遊金ニテ之ヲ購入シ置クモ決シテ妨ナシ又急ニ賣却シ難キトキハ
 之ヲ抵當トシテ金員ヲ借用スルハ容易ナリ故ニ公債ハ人民ヲシテ其貯蓄金
 ナ死物ト爲スノ欺ヲ免レシメ以テ大ニ貯蓄心ヲ獎勵スルノ效アリト云フチ
 得ヘシ是レ固ヨリ理ナキニ非スト雖モ公債ハ其元利支拂ノ爲メ人民ノ負擔
 ナ増加シ其取扱ノ爲メ官衙ノ費用ヲ増サ、ルヲ得ス公債ニ放下スル所ノ金
 員ハ若シ公債ナケレハ株券等ノ購買ニ使用セラレ實業ヲ補助スヘク縱令株
 券等ノ購買ニ使用セラレスト雖モ銀行ノ預リ金トナリ割引貸付ニ使用セラ
 レ間接ニ事業ノ發達ヲ助ケルヲ得ヘシ屢公債ヲ起セハ勢銀行ノ預リ金ヲ減
 少セサルヲ得ス隨テ營業上ノ流動資本ヲ減スルハ數ノ免ル、能ハサル所ナ
 リ果シテ然ラハ公債ハ農工商ノ業ヲ應援スルノ資本ヲ減少シ以テ利子ヲ高

クシ生産費ヲ増加シ營業ノ利益ヲ減少スルヤ敢テ疑テ容レサルナリ而シテ
 屢巨額ノ公債ヲ起サハ一箇人若クハ會社ニシテ大業ヲ企ツルコト殆ト難シ
 元來民業ノ發達ヲ妨ケルハ直接間接ニ弊害ノ及フ所甚ク大ナリトス公債ハ
 動モスレハ獎勵スヘキノ事業ヲ障害シ流動資本ヲ減少シ資本ノ配當ヲ紊亂
 ス抑流動資本ナル者ハ一度之ヲ用フレハ其形ヲ存セス斷ヘズ其使用ヨリシ
 テ生スル所ノモノヲ以テ之ヲ入レ替ヘサルヲ得ズ不動資本ハ大ニ之ト異ナ
 リ其用ヒ久シキニ堪ヘ其働キハ流動資本ヲ以テ助ケラレサルヲ得サルナリ
 然ルニ公債起ルト雖モ器具器械等ヲ毀ツヲ得ス不動資本ノ公債募集ノ前後
 ニ於テ敢テ増減ヲ生セス然ルニ民間ノ貯蓄金ハ公債募集ノ爲メニ銀行ニ入
 ルモノヲ減シ出ツルモノヲ増ス茲ニ於テ銀行ハ其資力ヲ減シ大ニ貸付割引
 ノ高チ減セサルヲ得ス不動資本ニ對シ流動資本ノ高チ減シ彼是權衡ヲ失フ
 ハ決シテ免ル、能ハサル所ノ數ナリ輒近佛國ニ於テ二十億餘萬圓ノ公債ヲ
 起スニ際シ三四箇年ノ間ハ佛國人民ノ貯蓄盡ク公債證書購入ノ爲メニ使用
 セラレシト云フト雖モ敢テ詛言コアラサルナリ
 今統計ニ就キテ西曆千八百六十九年ヨリ同千八百七十三年マテノ實況ヲ見
 ルニ佛國地方人民ノ公債證書買賣ノ景況左ノ如シ

次ノ表ハ記載ノ各年中上九箇月間各地ニ於テ人民ノ買入シタル公債ノ元金並ニ其利子額ヲ表出スルモノナリ

西曆年次	買入公債價格	同上利子	賣却公債價格	同上利子
一八六九年	20,595,000.00	1,758,660.00	21,012,000.00	8,820,000.00
一八七〇年	28,102,220.00	1,921,220.00	29,528,720.00	8,717,220.00
一八七一年	29,008,120.00	2,021,120.00	31,229,000.00	9,028,000.00
一八七二年	29,555,120.00	2,099,120.00	31,477,720.00	9,528,720.00
一八七三年	29,520,000.00	2,088,720.00	31,229,000.00	9,528,720.00

右ノ表中記載ノ計數ニ付キテハ大ニ見ルヘキモノアリ西曆千八百六十九年ハ財政平穩ノ年コシテ政府公債ヲ起スノ舉ナク地方ニ於テ公債證書購入ノ爲メニ費セシ資本高其賣却ノ爲メニ受取リシ高ニ超過スルコト凡二千萬圓ニ止マレリ然ルニ西曆千八百七十三年ニ於テハ一月ヨリ九月マテニ買入超過高殆ト一億六千萬圓ニ達セリ然レトモ此表ニ掲載スルモノハ唯總收納官

ノ手ヲ經シモノ、ミニシテ銀行ノ手ヲ經シモノヲ含有セサルヲ以テ實際ノ買入高ハ大ニ此高ヲ超過スルモノト知ルヘシ實ニ西曆千八百七十一年同千八百七十二年同千八百七十三年ハ勿論同千八百七十四年ニ於テモ佛國人民貯蓄ノ大部分ハ公債證書購買ノ爲メニ使用セラレシト云フト雖モ敢テ妨ケナカルヘシ(大ナル銀行初メ政府ヨリ公債證書ヲ購入シ後善キ價ヲ求メテ之ヲ市場ニ賣出セシカ故ニ西曆千八百七十四年ニ至リシナリ)是レ實ニ戰爭後巨大ノ公債ヲ起セシノ結果ナリ斯ノ如ク貯蓄ヲ公債證書購入ノ爲メニ使用セハ必ス株式等ノ價格ニ變動ヲ來サ、ルヲ得ス眞理ノアル所實地必ス其效ヲ顯ハス請フ今西曆千八百六十九年ヨリ同千八百七十三年マテノ實況ニ據リテ公債證書並ニ他ノ動産ノ價格ニ如何ナル動産ヲ生セシヤチ示サン
次ノ表ハ西曆千八百六十九年ヨリ同千八百七十三年マテノ間ニ於テ有名ナル鐵道會社負債證券ト諸公債證書トノ價格ノ變動ヲ示スモノナリ

證券ノ種類	相 場			
	西曆一八六九年	西曆一八七〇年	西曆一八七一年	西曆一八七二年
	公債ハ「モルガン」債ヲ除キ「百フラン」並「負債證券」ハ「五百フラン」並			
	西曆一八七二年	西曆一八七三年		

三分利子	七十一、五七五	五二、二五〇	五七、六二五	五三、〇七五	五七、三七五
四分半同	一〇一、一二五		八四、五〇〇	七五、七五〇	八二、〇〇〇
五分同	一〇一、〇〇〇		九三、二七五	八一、五〇〇	九二、四五〇
六分同			四九八、〇〇〇	四九八、〇〇〇	五〇五、六二五
鐵道會社債					
東部	三三五、五〇〇	二七〇、〇〇〇	二九六、七五〇	二七一、八七五	二六九、八七五
巴里リタン地中海	三三一、〇〇〇	二八五、〇〇〇	二九八、七五〇	二七五、三七五	二六六、五〇〇
中部	三二七、六二五	二八二、五〇〇	二九九、七五〇	二七三、五五〇	二七一、五〇〇
北部	三三九、一二五	三〇〇、〇〇〇	三〇六、八七五	二八九、八七五	二七九、八七五
ナルレアン	三三八、〇〇〇	二八九、三二五	三〇五、〇〇〇	二七七、〇〇〇	二七六、〇〇〇
西部	三三九、五〇〇	二九二、五〇〇	二九六、一二五	二七三、〇〇〇	二七〇、六二五

由是觀之西曆千八百七十年以來公債ノ價格ハ先ツ之ヲ上向キト云フヲ得ヘク他ノ負債株券ノ價格ハ頗ル下落ニ傾向セリ是レ此三四年間佛國人民ノ貯蓄公債ニ馳スルノ多キヲ證スルモノナリ巨額ノ公債募集ハ資本ノ配當ヲ紊亂シ實地斯ノ如キノ景況ヲ示スハ蓋シ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ果シテ然ラハ事業ノ發達ヲ妨害スルヤ敢テ疑ヲ容ル、能ハサルナリ而シテ公

債ノ效用果シテ其不便ヲ償補スルヤヲ討スルニ決シテ理論ヲ以テ之ヲ論定スル能ハサル所ノモノアリ其償補スルトセザルトハ其募集金員ノ使用如何ニアルノミ元來公債ハ一國營業資本ノ減縮ヲ來スハ既ニ論究セシ所ノ如シト雖モ未タ遠ニ公債募集ハ其募集高丈ケ營業資本ヲ減少スト云フヲ得ス何トナレハ第一ニハ公債募集ハ幾分カ貯蓄心ヲ獎勵スルノ效驗アリ第二ニハ從來倉庫中ニ在リテ世ノ營業ニ使用セラレタル金員ト雖モ公債募集ノ爲メニ幾分カ世上ニ流出スルコトアリ第三ニハ外國人ノ募集ニ應スル者少カクハ時トシテ非常ノ巨額ニ達シ國家經濟上重要ノ關係ヲ來スモノナリ而シテ又外債ノ事ニ付キテハ世上非常ノ誤謬ヲ傳フル者アルヲ免レス之カ論究ヲ試ミルハ敢テ無用ノ業ニアラサルヘシ請フ詳ニ其利害ヲ論セシ

外人ノ公債募集ニ應スルヲ好マサル者古今稀レナリトセス彼ノコンドセ氏ノ如キ即チ其一ナリ同氏ハ外人ノ募集ニ應スルコトアレハ利子ヲ外人ニ拂ハサルヲ得サルヲ以テ大ニ之ヲ嫌惡セリ然レトモ是レ唯其一斑ヲ論シ未タ全豹ノ如何ヲ知ラサルノ說ノミ而シテ彼等ハ漫ニ土耳其埃及等ノ例ヲ引キ外債ハ外國ノ干涉ヲ受クルノ端緒ヲ開クモノナレハ大ニ恐ルヘントス是レ

又其干涉ノ起因スル所ヲ知ラサルニ坐スルモノナリ彼等ノ干涉ヲ受クルハ
 外債ノ元利ヲ支拂ハサルニ由ルナリ定約ノ元利ヲ支拂ハサレハ内債ト雖モ
 信ヲ民ニ失ヒ國家ノ禍ヲ釀スチ免レズ何ソ債ノ内外ヲ選クノ暇アラソヤ信
 ナ内外ノ民ニ失フハ等シク恐ルヘシト雖モ之ヲ國民ニ失フハ其禍之ヲ外人
 ニ失フヨリ却テ大ナリ何トナレハ治下ノ臣民信ヲ政府ニ措カサルハ是レ亡
 國ノ端ナレハナリ其元利支拂ノ確實ナルニ於テハ債主國ニ於テ大ニ信用ヲ
 増スノ效驗アリ現ニ我カ七分外債ノ如キハ倫敦市場ニ於テ一割八分乃至二
 割ノ打歩ヲ得而シテ内國市場ニ於テハ七分公債僅ニ五分乃至六分ノ打歩ヲ
 得ルニ過キス其外國ニ於テ信用アル所ノ如シ而シテ此等ノ外債ナソソハ祿
 制ノ改革鐵道ノ敷設何チ以テカ之ヲ爲スチ得ン北米合衆國印度澳洲等ノ富
 源ノ發達英國ノ資本ヲ借入ル、コアラソソハ何チ以テカ其隆盛ヲ見ルチ得
 ソ元來外ヨリ干涉ヲ受クルモノハ内空際ノ侵スヘキモノアルニ因ル乘スヘ
 キノ空虛ナソシテ何チ以テカ禍害ノ之ヲ侵スチ得ンヤ論者少シク茲ニ注意
 スル所アラハ迷雲忽チ晴レテ皎々ノ光ヲ見ルチ得ン勿論外國ヨリ金員ヲ借
 入ルレハ之カ元利ヲ外人ニ仕拂ハサルチ得ス然リト雖モ苟モ此借入金ヲ無
 用ノ費途ニ盡盡スルコアラサレハ其元利ハ之ヨリ起ル所ノ直接間接ノ利益

チ以テ仕拂フコトヲ得ヘシ抑資本増殖ノ困難ナル固ヨリ論ヲ俟マス之ヲ外
 國ヨリ得ルハ決シテ嫌惡スヘキモノニアラサルナリ勿論借金ヲ無用ニ消費
 スルハ内國債ト雖モ決シテ好事ニアラス殊ニ外債ニ於テハ其害最モ大ナリ
 然レトモ得難キ資本ヲ外國ヨリ得其利益ヲ以テ元利ヲ拂ヒ盡シ後此借入金
 ナ以テ起セソ所ノ事業ノ便益ヲ全收スルチ得ハ誰カ之ヲ惡シトスルチ得
 ソヤ凡ソ借金ニシテ此結果ヲ得サルモノハ皆不可ナリ焉ソ國ノ内外ヲ論ス
 ルニ暇アラソヤ

政府ノ債ヲ起スモノヲ別チテ二種トス其一ハ財政整頓シ負債ノ償還ニ於テ
 聊カ疑ヲ容ル、コト能ハサルモノ其二ハ施政ノ順序ヲ失ヒ財政大ニ亂ル、
 モノ是ナリ

第一種ノ國ハ内外ニ於テ信用厚ク容易ニ負債ヲ起スコトヲ得ヘシト雖モ第
 二種ノ國ハ則チ然ラス信ヲ内外ニ失シ内國ニ於テ殆ト之ニ貸付クルモノナ
 シ唯時トシテ外國資本家或ハ其情ヲ知ラサル者或ハ一二ノ冒險者高利ニ誘
 導セフレテ之ニ貸付クルコトアルノミ土耳其ユニエス埃及ペル一等ノ如
 キハ即チ第二ノ種類ニ屬ス此等ノ國ニ於テハ内國人民ヨリ借入チ爲スコト
 能ハス唯外國資本家中ノ冒險者ヨリ非常ノ高利ヲ以テ僅ニ之ヲ爲スコトナ

得ルノミ西曆千八百七十三年ノ土耳其ノ公債ノ如キハコンスタンチノールノ豪商等ハ殆ト之ニ關セス之ニ關セシモノハ和蘭及英國資本家中冒險者ニ過キナリシ

之ニ反シテ財政整頓セル國ハ其信用内外ニ厚ク其公債ハ重ニ内國ニ於テ募集セラル然レトモ方今巨額ノ公債募集ニ際シ其全額内國ニ於テ募集セラルルモノハ殆ト稀ナリ又國富ノ増進セル國ニ於テハ外國人ノ買入レシ公債證書モ漸次其國ニ歸ルノ傾向アリ何トナレハ一國政治ノ美ハ其國人外國人ヨリモ能ク之ヲ了知シ資本家ハ他國ノ公債證書其他ノ助産ヨリモ自國ノ公債ヲ便トスルノ勢アレハナリ即チ佛國ノ如キ屢ニ騷擾革命等ノ亂アルニモ拘ハラス佛國人民政府ニ信用ヲ置クコト甚ク篤ク(財政上他國資本家及一般外人ノ其貯蓄ヲ佛國公債ニ使用スルコト佛國人民ノ如ク多キヲ得ス西曆千八百七十年ノ敗軍後佛國ノ公債募集ノ如キハ外人モ大ニ之ニ應セシト雖モ其募集ノ目的タル一時投機ノ爲メニスル者多ク真正ナル貯蓄ノ爲メニ之ヲ爲ス者其少ク爾後數年ヲ出テスシテ佛國公債證書漸次本國ニ歸ルノ傾向ヲ示セリ伊國ノ實況亦同シ元來伊太利ノ建國ハ數回ノ戰爭ヲ要シ其初メ制度文物ヲ整頓スルニモ亦費用ヲ要スル頗ル多ク爲メニ巨額ノ公債ヲ募集セリ其初メ

凡十箇年間伊國公債全額ノ凡三分ノ二ハ外人ノ手ニアリシト雖モ西曆千八百七十七年ニ至リ其外人ノ手ニアルモノ僅ニ四分ノ一若クハ五分ノ一ニ過キス西曆千八百八十四年ニ於テハ伊國公債ノ利子ニシテ外國ニ於テ支拂ハレタルモノ五千六百四萬餘圓内國ニ於テ支拂ハレタルモノ一億五千六百四十一萬餘圓トナレリ米國ノ景況亦能ク此事ヲ示ス北米合衆國ハ西曆千八百七十一年ニ於テハ額面八億乃至十億ドルノ公債證書ヲ外人ノ手ニ有セラレ爲メニ年々五千萬乃至六千萬ドルヲ利子トシテ外國ニ支出セリ然レトモ西曆千八百七十八年ニ於テ其公債總額ノ六分ノ五ハ國人ノ有ニ歸シ僅々千二百萬ドルヲ利子トシテ外國ニ支出スルノ好況ヲ得タリ

大國ノ公債ハ永ク外人ノ手ニ止マルコト能ハスト雖モ募集ノ當時ハ大ニ外國資本家ノ助力ヲ得ルモノナリ大國ノ公債募集ハ之ヲ銀行ニ托シ銀行先ツ巨額ノ公債ヲ一時ニ引受ケ世ノ需要ニ應シテ一般公衆ニ販賣スルヲ以テ通例トス豫メ納付ノ期日ヲ定メ納金ヲ引受ケ其間ニ他銀行及一箇人ト約チ定メ若干額ヲ讓渡シ又ハ引受ケシムルナリ固ヨリ之ヲ一般公衆ニ募ルコトナシトセスト雖モ方今理財ノ器具整頓スルヲ以テ第一ノ方法ヲ最便トス(銀行ニ於テ引受ケレハ政府必ス其需要高ク得ルノ便アリ直接募集ハ應募額ノ需

要高ニ達セサルコトナキヲ保セス又困難ニ際シ直ニ銀行ヨリ金員ヲ借入レ之ニ附與スルニ其程紙幣ヲ發行スルノ權ヲ以テシ其返却ニ從ヒ之ヲ消却スルノ方法ヲ立ツルモ宜シ政府カ右ノ如キ財政ヲ實施スルニ當リ其機關トシ用フル者ハ其國ノ中央銀行ナリ方今大國ノ中央銀行ハ他國ノ銀行ト關係甚ク深密ナルニ由リ公債募集ノ時ノ如キハ大ニ他國銀行ニ聲援ヲ求ムルヲ得例ハ表面ニハ佛蘭西銀行佛國政府ノ機關トナリ之カ債主トナルモ實際ハ倫敦フランクフルトアムステルダムブルクセルウイーンナ等ノ銀行大ニ之ニ與ルモノアリ請フ今佛國敗北後ニ起セシ二十億餘圓ノ公債ノ内十二億餘圓ノ公債募集ノ景況ニ就キテ此事ノ虛ナラサルヲ示サシ

此公債募集ニ由リ佛國政府ノ受取リシ金高ハ十三億九千九百四十九萬七千八百五十四圓餘ニシテ額面價格ハ十六億五百九十萬四千八百八十圓ニ達シ其募集ニ應スル者九十三萬四千二百七十六人内十萬七千六百七十二人ハ外國ノ應募者ナリ由是觀之外人ノ募集ニ應スル者ハ蓋シ内國人ヨリ少シト雖モ其數固ヨリ僅少ニアラス而シテ其應募金ヲ見ルニ更ニ驚クヘキモノアリ此募集ニ際シ巴里ノ應募高五十三億九千八百八十二萬三千三百七十二圓地方ノ應募高十八億五百三十七萬八千二百二十六餘圓併セテ凡五十一億六百三十六萬五百九

十八圓餘外國人ノ應募高ハ百四億二千七萬八千二百二十圓餘ノ巨額ニ上レリ其内佛人ニシテ名ヲ外人ニ借り應募セシ者ナキヲ保セスト雖モ外國人ノ佛國ノ公債募集ニ與リシヤ實ニ廣大ナルモノト云フヘシ當時外人ニシテ募集ニ應スル者ニハ特別ノ恩惠ヲ與ヘタリト云フ元來外人ノ他國ノ公債證書等ニ關係スル者ハ一二ノ證書ヲ需要スル者ニアラス大仕掛ニ動産ノ取引ヲ爲ス者ナレハ其人員ノ割合ニ金員ノ多キハ敢テ怪ムニ足ラサルナリ當時佛國ハ大ニ外國資本ノ助力ヲ得シモノト云フヘシ實ニ此助力ナカリセハ佛國ノ流動資本大ニ減少シ其生産上ニ非常ノ影響ヲ與ヘシヤ敢テ疑テ容ルコト能ハサルナリ右百四億餘圓ノ應募高中實際外人ノ手ニ落サシモノ六億一千六百五十七萬二千六百六十四圓今其買入高ヲ諸國ニ區分スレハ獨逸一億八千八百四十六萬一千九百二十六圓白耳義一億五千八百四十一萬七千七百七十二圓英國一億三千三百六十六萬二千四百八十六圓アルザスロレーン三千五百九萬四千六圓和蘭三千三百十九萬四千七百四十六圓丁抹一千三百七十六萬九百五十六圓土耳其一千三百十六萬七千六百四十六圓瑞士一千二百九十九萬二千五百十四圓伊太利一千二百四十三萬一千二百三十六圓奧地利一千二百十四萬八千七百七十六圓ルーマニア二百三十一萬七千六百六圓亞細亞諸國九十

二萬五千八百六十八圓亞細亞トハ亞細亞諸港ニアル銀行ナルヘシナリ英獨
 白ノ買入高ハ非常ノ巨額コシテ重コ投機ノ爲メニ買レシモノナリト云フ佛
 國銀行ノ他國銀行ト關係ヲ有スル實ニ廣シト云フヘシ由是觀之一大國ノ信
 用ハ一般ニ厚ク其公債募集ニ當リ外國人ノ之ニ應スル者多キハ實ニ驚ク
 キ高コ至ルモノト云フヘシ而シテ外國人ヨリ此助力ヲ得ルハ決シテ少小ノ
 利益ニアラサルナリ

銀行ノ組織完全コシテ其關係廣大ナルノ外尙ホ公債ノ募集ヲ容易ニスルノ
 器具アリ方今歐洲各國ノ市場ニ於テ國際動産ト名シルモノアリ是ハ伊太利
 埃地利北米合衆國土耳其埃及等ノ公債證券又ハ數國ニ跨ル線路ヲ所有スル
 鐵道會社ノ負債證券ノ如キモノナリ是等ノ者多クハ國際普通ノ性質ヲ帶フ
 例ヘハ伊太利ノ建國ニ際シ起セシ公債ノ如キハ外國人ヨリ募リシ者甚ク多
 シ英佛獨和蘭白耳義等ノ資本家其募リニ應シ又佛蘭西埃地利鐵道ト號スル
 鐵道ハ重コ佛國ノ資本ヲ以テ敷設セラレ其會社ノ負債證券ハ諸國ノ市場ニ
 於テ自在ニ賣買スルモノナリ之ニ反シ巴里リオン地中海線路ノ鐵道ノ如キ
 ハ其利益佛蘭西埃地利線路ヨリ大ナリト雖モ全ク佛國ノ地内ニ敷設セラ
 ルモノナルカ故ニ其會社ノ負債證券ハ外國市場ニ於テ賣買スルコト容易ナ

ラス然レトモ前記ノ證券ハ容易ニ諸國ノ市場ニ於テ賣買セラル歐洲各國貨
 幣市場ニ於テ此等ノ動産アルハ實ニ公債ノ募集ヲシテ容易ナラシムルノ原
 因ナリ例ヘハ佛國政府カ獨逸政府ニ債金支拂ヲ爲サンカ爲メ公債ヲ起サン
 トシ其募集ヲ佛蘭西銀行ニ命スレハ該行ハ獨逸ノ銀行ト約シ其有金或ハ信
 用ヲ以テ巴里ニ於テハ廉價コシテ獨逸ニ於テハ需要多キ貨幣市場ノ相場表
 ニテ如何ナルモノカ適當ナルヤヲ見ルハ容易ナリ五分利付伊太利公債證券
 土耳其公債證券或ハ鐵道會社ノ負債證券ヲ購買シ之ヲ伯林又ハフランクフ
 オルトニ送リ之ニ對シ手形ヲ宛テ之ヲ政府ニ與フレハ政府ハ銀行ニ公債證
 書ヲ附與スルヲ得ヘシ是レ只國際動産ト公債證券ヲ交換スルニ過キサルモ
 ノコシテ之ヲ公債證券ヲ發行シ現金ヲ徵收スルト其難易固ヨリ同日ノ論ニ
 アラサルナリ而シテ佛國政府ハ其手形ヲ獨逸政府ニ送り債金ノ支拂ヲ爲ス
 ヲ得ヘクシテ一錢ノ現金ヲ動かサス外國ニ巨萬ノ金員ヲ送ル亦甚ク容易ナ
 リ佛國ノ敗後普國ニ債金ヲ拂ヒシハ重コ此法ニ據リシモノナリ斯ノ如クシ
 テ一方ニ於テハ現金ヲ送ルノ不便ヲ免レ一方ニ於テハ容易ニ其得ノト欲ス
 ル所ノ財產ヲ得一時巨額ノ金員ヲ得ルノ不便ヲ免レ雙方ノ爲メ即チ一般貨
 幣市場ノ爲メ非常ノ便利ヲ得ヨリ方今理財ノ機關整頓スルコト實ニ驚クニ

堪ヘタリ斯ノ如ク國際動産ハ各國ノ際ニ貨幣市場ノ關係ヲ親密ナラシメ加
フルニ運送甚タ容易ナルモノナルヲ以テ大ニ國際ニ資本ノ移轉ヲ容易ナラ
シメ又公債ノ募集ヲ容易ニス由是觀之佛國敗後ノ二十億圓ノ公債募集ニ際
シ此者ノ取引盛ナリシハ亦以テ怪ムニ足ラサルナリ
右ニ説ク所ノ外國國際動産ハ公債證書ノ相場ヲ平均スルノ效用ヲ有ス夫レ政
府巨額ノ公債ヲ募集スルノ風聞アレハ大ニ現在公債證書ノ價格ニ影響シ延
キテ一般動産ニ及ホシ國際動産ノ價格隨テ下落スルハ數ノ免ル、能ハサル
所ナリ然ルニ此者ハ外國人モ一般ニ需要スルモノニシテ外國ニ於テ同時ニ
新公債ヲ募集スルコトナキニ於テハ新債ヲ起ス國ニ於テ國際動産ノ價格低
落スルヲ見レハ外人ハ來リテ之ヲ買去ルハ最モ自然ノ數ニシテ又實際此事
アルヤ昭々トシテ蔽フヘカラス請フ佛國ノ例ヲ以テ之ヲ證セン佛國ノ西曆
千八百七十年ノ役ニ敗ル、ヤ巨大ノ債金ヲ獨逸ニ拂ハサルヲ得ス之ヲ拂フ
カ爲メニ二十億圓ノ公債ヲ起スコトニ決セリ茲ニ於テヤ各動産ノ價格大ニ
動搖シ五分利付ノ伊太利公債證書佛蘭西ロンバルド及佛蘭西塊地利鐵道會
社ノ負債證券等頗ル其價格ヲ失ヘリ然ルニ此下落ハ自動ノ働キヲ以テ證券
自ラ其價格ヲ失ヒシモノニアラス特ニ佛國貨幣市場ノ變動ニ由ルモノニ

テ全局ヨリ論スレハ是等ノ證券ハ却テ從前ヨリ確實ナリト云フテ可ナリ何
トナレハ當時古今未曾有ノ大戰爭ヲ終リ世上一般爾後數年間ハ歐洲必ス平
和ナルヘシトノ信用ヲ起シ動産ノ需要増加セシニ由レハナリ是ニ於テ獨塊
伊蘭等ノ人民主トシテ國際動産ヲ佛國市場ニ購求セリ而シテ佛人ハ此金員
ヲ以テ自國ノ新債募集ニ應シ佛國ニ於テハ公債證書ノ下落ヲ免レ他ノ國々
ハ其得ノト欲スル所ノ者ヲ容易ニ購入スルコトヲ得タリ由是觀之歐洲大陸
ニ於テ巨額ノ公債ヲ起スヤ其國際動産ヲ輸出シ外國ヨリ其價格ヲ輸入スル
ノ效驗アリ元來一國ニ於テ巨額ノ公債ヲ起スノ舉アレハ各種證券ノ價格之
カ爲メニ下落スルハ最モ當然ノコトナリ若シ一國ニ於テ資本増加シ此等證
券ノ爲メニ資本ヲ使用シテ尙ホ殘餘アルニ際シ新債ヲ起セハ此餘剩ト新債
ノ高平均ヲ失ハサル以上ハ決シテ在來證券ノ價格ヲ下落スルコトナシト雖
モ其巨額ノ公債ヲ起スハ必ス非常ノ時變ニ遭遇スル時ニシテ新債起ラスト
雖モ從前大平無事ノ日ノ如ク各種ノ證券其價格ヲ保ツ能ハサル所ナレハ多
少動産ノ價格下落スルハ實ニ已ムヲ得サル所ノモノアリ由是觀之國際動産
ハ貨幣市場ノ矯正者ト云フモ敢テ不可ナシ斯ノ如ク物品ノ需要供給其價格
ヲ平均スルハ決シテ國際動産ニ止マルニアラス萬物皆此勢ヲ呈ス試ニ佛國

人民大ニ貧窮ニ陥リ其五穀ノ消費大ニ減少シタリトセヨ然ラハ其供給同時ニ減少スルニアラサレハ其價格大ニ減少スヘシ若シ此減少ヲ來セハ外國人ハ爭フテ之ヲ購入シ其供給減少シテ其價ヲ復スヘシ是レ即チ萬物ノ道理ニシテ苟モ賣買ニ供スルモノハ決シテ免ル、能ハサル所ナリ

右ニ説ク所ハ佛國カ其敗後獨逸ニ償金ヲ拂ヒシ事蹟ヲ以テ最モ明瞭ニナリタリ勿論此時以前ト雖モ此事ハ往々學者ノ説ク所ナリ然リト雖モ未ク以テ十分ニ之ヲ實地ニ證スルヲ得サリシニ此時ヲ以テ判然實例ヲ以テ之ヲ證シ以テ學說ノ堅ユヘカラサレテ世人ニ知ラシムルコトヲ得タリ今リオン、ゼイ氏ノ報告ニ據リテ之ヲ見ルニ佛國ノ二十億圓ノ巨額ヲ斯ク容易ニ支拂ヒ其財政ヲ亂ササリシハ紙幣ノ取扱其宜シキヲ得タルニ由ルト雖モ抑、又此國際動産ノ取扱大ニ佛獨兩國ノ際ニ資本ノ移轉ヲ圓滑ナラシメシニ由ルモノト云ハサルヲ得サルナリ

西曆千八百七十一年ヨリ同千八百七十三年ニ亘リ佛國ノ輸出セシ外國公債證書株券負債證書等ノ高ヲ見ルニ其巨額ナル實ニ驚クニ堪ヘタリ尤モ其中ニハ佛國人民カ直ニ其代價ヲ受取り證書ヲ讓渡セシモノ多カルヘシト雖モ其代價ヲ受取り未タ現物ヲ渡サ、ルモノアルヘシ或ハ空ニ之ヲ賣置キテ之

ヲ輸出高ニ數ヘ實際ノ讓渡ニ際シ又之ヲ計ヘ込ミ計算ノ重複スルモノモアルヘシ又ハ全ク銀行ノ手ヲ經テ讓渡シ公ケノ報告ニ登記セサルモノモアルヘシ(此高ハ公ケノ市場ノ取引ヨリ多キヲ通例トス)加フルニ巴里市場ニ於テ巨大ノ取引アル北米合衆國ノ公債證書ハ之ヲ記載セサルニ由リ實際ト符合セサルヘシト雖モ亦以テ大體ヲ窺フニ足ラン今前記時間中公ケノ市場ヲ經テ外國ニ輸出セシ外國公債ノ元金當時ノ價格ニテ凡二億六千七百六十萬圓ニシテ其利子金高ノ内譯左ノ如シ

五分利付	伊太利公債證書	一八、四四六、〇〇〇圓
六分	同上	二二、五〇〇圓
六分	ペルー公債證書	七三、八〇〇圓
五分	土耳其公債證書	二〇、八〇〇圓
六分	同上	六、三〇〇圓
三分	西班牙公債證書	二四〇圓
五分	チューニス公債證書	三三、五七〇圓
合計		一八、七九〇、五九〇圓

同時間ニ佛國ヨリ輸出セシ外國ノ諸株式負債證券ノ元金當時ノ價格ニテ二

億八千八百八十萬圓ナリ其證券ノ名稱枚數左ノ如シ

「サットマン」銀行株券 八〇、六五〇枚
 埃國土地銀行株券及負債證券 一九三、五二五枚
 同鐵道會社株券及負債證券 六四五、八二五枚
 ロンバルド鐵道會社株券及負債證券 三七〇、一五〇枚
 埃國北西鐵道會社株券及負債證券 六七、三五〇枚
 匈牙利鐵道會社株券及負債證券 一二、七〇〇枚
 是レ實ニ驚クヘキノ巨額ト云ハサルヲ得ス次ニ掲出スルニ表ハ西曆千八百七十年ノ戰爭前後伊太利及土耳其公債利子ノ巴里ニ於テ支拂ハレタル高ク表出スルモノコソテ當時國際動産ノ佛國ヨリ輸出セラレシ景況ヲ示スモノナリ

伊太利公債證券利子ノ内巴里府ニ於テ支拂ハレタル分

西曆年次	月	日	半季	金額	月	日	半季	金額
一八六八	一	一	上	一七、二〇四、四〇〇	七	一	下	一六、八一〇、〇〇〇
一八六九	一	一	上	一六、八九二、〇〇〇	七	一	下	一六、三〇〇、〇〇〇

一八七〇	一	一	上	一五、二九六、〇〇〇	七	一	下	一四、四〇一、六〇〇
一八七一	一	一	上	六、六八八、〇〇〇	七	一	下	一六、〇六〇、〇〇〇
一八七二	一	一	上	一一、九四八、〇〇〇	七	一	下	一一、一五七、二〇〇
一八七三	一	一	上	一二、五八三、二〇〇	七	一	下	一一、九四二、四〇〇
一八七四	一	一	上	一〇、二五〇、六〇〇				

右ノ表ニ就キテ之ヲ見レハ大國ノ信用ハ外國ニ於テヨリモ内國ニ於テ厚キヲ見ルニ足ルヘシ而シテ前ニ陳述セシ所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ大國ニ於テハ初メ外國人ニ賣渡セシ公債證券モ漸次自國ニ歸ルハ敢テ疑ナ容ル、能ハサルナリ今伊國ノ景況ニ據リテ之ヲ見ルニ西曆千八百七十年ノ普佛戰爭前既ニ此景況ヲ示セリ即チ西曆千八百六十七年伊太利政府ノ巴里ニ於テ支拂ヒタル公債ノ利子ハ三千五百十四萬五千六百圓ナリシニ右ノ表ニ照シテ之ヲ見レハ西曆千八百六十八年以降頗ル其高キ減少セリ是レ決シテ偶然ニ起ルニアラス前陳ノ原因ニ由リ佛國市場ニ於テ一切ノ證券ニ下落ヲ生セシト雖モ別ニ伊國公債證券カ其自動ノ働キニ由リ一般ニ下落スルノ原因ナカリシヲ以テ外國人殊ニ伊國人民ハ大ニ伊太利公債證券ヲ佛國市場ニ於テ照

買セシニ由ルモノナリ看官表中ノ數ヲ審查セハ思ヒ半ニハ過クルモノアラ

今土耳其公債利子ノ内巴里ニ於テ支拂ハレタルモノ、景況ヲ見ルニ次ノ如

西曆年次	月	日	金額
一八七〇	一	十三	一、二二六、二四四・八〇
一八七二	七	十三	二〇四、八三二・四〇
一八七三	一	十三	三二〇、〇九〇・〇〇
一八七三	七	十三	二五一、二七二・四〇
一八七四	一	十三	六八〇、〇〇〇・〇〇

シ上ノ表ニ據リ之ヲ見レハ西曆千八百七十四年ノ一月ノ高ハ同千八百七十年ノ高ノ殆ト半額ニ減少セリ同千八百七十二年ノ高ハ一層僅少ナリト雖モ西曆千八百七十一年同千八百七十二年ハ金貨紙幣ニ對

シテ少シク騰貴ヲ示セシ時ナルヲ以テ自然佛國ノ資本家ハ金銀ヲ外國ニ送ラズ土耳其ノ公債證書ヲ以テ外國ニ支拂ヲ爲セシニ由リ土耳其公債證書ニ著シキ減少ヲ來シ佛國ノ公債募集ヨリ生スル減少ノ外他ニ原因ノ存スルモノアルヲ以テ本文ニ論スル所ノ如キ事實ヲ證明スルノ適例トスルニ足ラス宜シク西曆千八百七十年ト同千八百七十四年トヲ以テ比較スヘキナリ何トナレハ西曆千八百七十四年ニハ正貨ト紙幣トノ間ニ殆ト差違アルヲ見ス佛

國ノ景況稍ク平日ニ歸セシニ由レハナリ其他北米合衆國及澳地利ノ公債證書ノ輸出ヲ算入セハ西曆千八百七十年ヨリ同千八百七十四年迄ニ佛國ノ輸出シタル外國公債證書ノ價格ハ蓋シ四億圓ヲ超過スヘシ右ノ外尙ホ方今理財ノ組織ニ於テハ外國ニ送金ヲ容易コスルモノアリ即チ國人ノ外國公債證書及株券等ヲ所有スルヲ以テ其利子及割賦金等ニ對シテ外國ニ宛テタル手形及外人來遊者ノ費ス所ノ高ニ對シテ宛テタル手形是ナリ佛國ニ於テハ西曆千八百七十年ノ戰爭前ニハ外國公債ノ爲メニ受取ル利子年々二億乃至二億八千萬圓ニシテ旅客ノ佛國ニ於テ費ス所ハ八千萬乃至一億二千萬圓ナリシト云フ故ニ戰爭前ニハ此二項ヨリ佛國ハ二億八千萬乃至四億圓ノ手形ヲ外國ニ宛ツルノ力ヲ有セリ故ニ戰爭前ニアリテハ佛國ハ三年ノ間ニ十億圓以上ノ金額ヲ外國ヨリ受取リテ格別貨幣市場ニ變動ヲ與ヘス三年ノ間ニ此巨額ヲ以テ外國ノ公債證書會社株券等ヲ買入ル、ノ力ヲ有セリ戰爭ノ後ハ一時少シク此力ヲ減縮セシト雖戰爭後ノ三年間ニ此二項ヨリ佛國ノ金員ヲ受取ルノ力ヲ有セシハ蓋シ僅少ニアラサルヘシボリニ一氏ノ說ニ從ヘハ西曆千八百七十一年ヨリ同千八百七十三年マテニ佛國カ外國貸付等ノ爲メニ外國ヨリ受取ルコトヲ得タル高ハ八億圓ヲ下テス而シテ佛國カ此時間ニ

四億圓ノ外債及外國會社ノ株券等ヲ外國ニ賣却セシモノトスレハ佛國ノ獨逸ニ支拂ヒシ債金ノ五分ノ三ハ外國公債等ノ元利金等受取ノ權利ヲ讓リ之ヲ仕拂ヒシモノト云フヘシ由是觀之方今理財ノ器具整頓スル國々ニ於テハ唯信用ヲ遷移スルノミニテ外國ニ巨額ノ金員ヲ仕送ルコトヲ得ヘシ而シテ權利ヲ讓渡シタル國ノ資本家ニ於テモ他國ノ公債證書等ヲ賣却シテ自國ノモノヲ買入ル、コトナレハ決シテ損失ナカルヘシ方今大國ニ於テ巨額ノ公債ヲ起スハ實ニ容易ナリト云フヘシ而シテ當時此信用ノ移轉ヲシテ一層容易ナラシムルノ事實アリキ請フ少シク之ヲ辯セン

西曆千八百七十年ノ戰爭タル古今未曾有ノ大戰爭ニシテ其後數年間ハ必ス太平ナルヘシトノ思想ヲ惹起スハ理ノ當然ニシテ實際此思想ヲ惹起シ大ニ信用ヲ倍從セリ故ニ戰爭後外國ノ公債證書頗ル騰貴シ一割五分乃至二割甚シキニ至リテハ三割ノ騰貴ヲ示シ外國ノ鐵道事業等大ニ増進シ土耳其埃及ノ公債證書ト雖亦騰貴セリ是ニ於テヤ佛國ノ人民モ容易ニ其所有ノ外國公債證書等ヲ賣却スルコトヲ得タリ今試ニ戰爭前後ノ公債證書株券等ノ價格ヲ見ルニ西曆千八百六十七年ニハ五分利付伊太利公債證書ノ價格ハ四十二「フラン」百「フラン」立以下準之乃至五十六「フラン」西曆千八百六十八年ニハ四十

二「フラン」乃至五十八「フラン」千八百七十九年ニ於テハ五十二「フラン」乃至五十八「フラン」トナリシト雖戰爭後ハ佛國人民ノ此手形ヲ有スルモノハ六十三、六十四、六十五、若クハ六十九「フラン」ニテ之ヲ賣却スルコトヲ得タリ埃地利官有財產、抵當公債ハ西曆千八百六十七年ニハ二百十六「フラン」立西曆千八百六十九年ニハ二百三十乃至二百五十五ナリシト雖戰爭後ハ二百七十五乃至三百「フラン」ニ騰貴セリ北米合衆國ノ六分利付公債證書ハ西曆千八百六十八年ニハ七十九「ドル」立「ドル」ハ凡我一圓乃至八十六ナリシニ戰爭後ハ百七十若クハ百十四ニ騰貴セリ五分利付露國公債證書ハ戰爭前ニハ八十五「フラン」立乃至九十二ナリシト雖戰爭後殆ト平價トナリ土耳其埃及ノ公債證書モ戰爭後ハ騰貴ヲ示セリ即土耳其ノ五分利付公債證書西曆千八百六十七年ニ於テハ二十七乃至三十四同千八百六十九年ニ於テ三十七乃至四十六ナリシト雖戰爭後ハ五十、五十三若クハ五十五ニ騰貴セリ埃及公債證書モ之ト均シキ景況ヲ示セリ其他外國鐵道會社ノ株券等ハ非常ニ騰貴シ佛人ノ之ヲ有スル者ハ高價ニ之ヲ賣却シ自國ノ新公債證書ヲ買入ル、コトヲ得タリ元來佛國ニ於テ戰爭後ニ公債ヲ起セシハ特別ナル事實アリテ大ニ右ニ說シ所ノ勸キヲ自由ニ爲セシト雖方今財政ノ器具大ニ整頓シ且ツ彼ノ國際動産ノ佛

國人民中ニ存在スルアルニアラソンハ焉ク能ク巨大ノ公債ヲ起スコト斯ノ如ク容易ナルヲ得ンヤ國際動産ノ貨幣市場ニ效力アル實ニ大ナリト云フニ當時諸國ハ佛國ヨリ國際動産ヲ購入シ其從前佛國ニ支拂ヒタル利子割賦金ハ之ヲ其國人ノ得ル所トナシ益購買力ヲ加ヘ殊ニ獨逸ハ巨大ノ債金ヲ得以テ一層容易ニ之ヲ買入ル、コトヲ得ヨリ國際動産ノ價格ヲ増加セシハ實ニ當然ノ事ト云フヘシ而シテ佛國モ之カ爲メ容易ニ公債ヲ起スヲ得且國際動産賣却ノ爲メ損失ヲ受クルヲ免レタリ今西曆千八百七十三年十二月發兌ノラ、フィナンス新聞ニ據リ佛國ノ獨逸ニ拂ヒシ債金二十億餘萬圓ノ内譯ヲ見ルニ其證書支拂ノ額實ニ驚クヘキモノアリ請フ之ヲ左ニ表出セン

實物ニテ支拂ノ分	六五、〇〇〇、〇〇〇
(東部鐵道讓渡代金)	一三〇、〇〇〇、〇〇〇
小計	九八五、〇〇〇、〇〇〇
爲替手形ニテ支拂ノ分	九九三、六〇〇、〇〇〇
獨國宛ノ手形	一二九、六〇〇、〇〇〇
ハンボルク宛全上	九二、八〇〇、〇〇〇
フランシフオルト宛全上	

和蘭宛	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
白耳義宛	九〇、〇〇〇、〇〇〇
英國宛	二五四、四〇〇、〇〇〇
小計	一六六、〇四〇、〇〇〇
諸銀行紙幣ニテ支拂ノ分	五〇、〇〇〇、〇〇〇
佛蘭西銀行紙幣ニテ	四一、二〇〇、〇〇〇
普魯西銀行紙幣ニテ	二八、〇〇〇、〇〇〇
白耳義銀行紙幣ニテ	一一九、二〇〇、〇〇〇
小計	一〇九、二〇〇、〇〇〇
正貨ニテ支拂ノ分	九五、六〇〇、〇〇〇
金貨幣ニテ	二〇四、八〇〇、〇〇〇
銀貨幣ニテ	二、一一四、四〇〇、〇〇〇
小計	
總計	

右ノ表ニ據レハ此巨大ナル債金仕拂ノ爲メニ正貨ヲ要セシハ實ニ僅々タルモノニシテ其手形ノ多キ實ニ十六億餘萬圓ニ達セリ今此巨大ナル手形ノ由

來ヲ尋ヌルニ佛國輸出ノ超過他國公債證券ノ利子等ニ由リ他國ノ佛國へ支拂フ金員ニ對シテ輸出セシモノ尠カラスト雖佛國人民カ外國へ其所有スル所ノ國際動產ヲ賣却シ其代金ニ宛テ振出セシモノ多キニ位ス

以上説ク所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ國際動產ノ理財上ニ有スル所ノ勢力實ニ大ナルモノト云フヘシ彼ノ英國ハ年々十億圓乃至十二億圓ノ輸入超過ヲ有シ其財政ヲ亂サ、ルモ此類ノ動產英國人民ノ手ニアルモノ多キニ由ルナリ

公債元利金支拂ハ各法律規則ノ規約スル所アリ而シテ方今文明國ノ政府ノ信用確實ニシテ又政府ハ其信用ヲ保ツテ以テ任トスルカ故ニ國家ノ存亡ニ關スルカ如キ大亂アルニアラサレハ大ニ公債證券ノ價格ヲ失フコトナク公債證券ニシテ價格ヲ失フトキハ一般ノ財產共ニ價格ヲ失フノ時ナリ平日ニアリテハ多少其價ニ變動ナキヲ得スト雖公債證券ハ會社ノ株券等ノ如ク一盛一衰大ニ其價格ノ變動スルカ如キコトナク實ニ安全ナルモノニシテ又之ヲ有スルノ利ハ金銀ヲ有スルト相距ルコト遠カラズ而シテ年々利子ヲ生スルノ便利アリ由是觀之公債證券ハ放銀物件中最モ確實ニシテ且ツ便利ナルモノナリト云フヘシ其貯蓄ヲ獎勵スルノ效驗アル故テ疑ヲ容レサルナリ又

公債證券ハ此便利アルカ爲メ公債募集ニ際シテ富豪者ノ倉庫中ニ藏匿スル所ノ貯蓄金應募ノ爲メニ出ツルハ最モ規易キノ理勢ナリ此等ノ事實アルニ由リ公債募集ハ其高ト同額ノ流動資本ヲ減少スルモノニアラサルナリ然レトモ多少之ヲ減少スルハ敢テ疑ヲ容ル、能ハサルナリ而シテ公債募集ノ貯蓄ヲ誘導シ庫中ノ死金ヲ起スモ亦疑ヲ容ルヘキモノナシト雖公債ハ一度起レハ必ス元利支拂ノ爲メ政府ノ費用ヲ増加セサルヲ得ス其増加ハ即チ之ヲ民財ニ徵セサルヲ得サルヲ以テ其少シク此效驗アルカ爲メ此目的ヲ以テ起スヘキモノニアラス貯蓄ヲ獎勵シ死金ヲ起スハ教育ノ普及身體財產ノ保護信用ノ發達官立民立貯蓄預リ方法ノ設置保險會社ノ設立等ニ依ラスンハアルヘカラス公債ノ募集能ク貯蓄ヲ獎勵シ死金ヲ起スノ效驗アルハ只少シク其禍害ヲ輕クスルノミ公債ノ募集ハ賦歛ヲ重クスルノ傾向アリ資本配當ノ比例ヲ亂シ國富ノ發達ヲ妨グルノ恐アリ其好結果ヲ得ルハ之ヲ以テ有益ノ事業ヲ起シ其利益ヲ以テ元利ヲ拂ヒ盡シ後世ニ其金利ヲ殘スノ場合ニアリ其已ムヲ得サルハ國家ノ危急ヲ救ヒ或ハ其發達ヲ促スノ場合ニアルノミ尙モ公債ノ募集ヲ慎マス不急ノ事業ニ募集金ヲ濫盡スルコトアレハ徒ラニ物價ヲ騰貴シ賦歛ヲ重クシ國家ヲ益毒ス公債募集ノ事豈ニ慎マサルヘケンヤ

第五章 租税ト公債トノ關係

公債ノ經濟上ニ示ス所ノ效驗ハ前章ニ説ク所ノ如シ而シテ其募集ハ殊ニ之ヲ慎マサルヲ得サルハ勿論ナリト雖國家非常ノ費用及其永遠ノ改良ハ到底通常ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨スルヲ得ス強テ兩三年ノ租税ヲ以テ之ヲ支辨セントセハ民力之ニ應スルコト能ハス大ニ民ヲ苛征シ國富ノ發達得テ望ムコト能ハス公債ハ租税ノ如ク強テ民財ヲ徵收スルモノニアラス民間ノ餘裕ヨリ之ヲ徵シ其元利支拂ノ爲メ賦款ヲ増スノ傾向アリト雖一時ニ巨額ヲ強徵スルヲ要セス數十年ニ涉リ之ヲ分擔スルモノナレハ其額非常ノ巨額ニ登ラサレハ未タ以テ民力ヲ乾涸シ國富ノ發達ヲ妨グルノ不便アルナク或ハ文武ノ事業改良ノ如キ國家ノ獨立ヲ維持シ其光榮ヲ後世ニ傳ヘ或ハ陸海運送ノ便ヲ開クカ如キ利益ヲ後世ニ遺スモノナキヲ得ス公債ハ財政上缺クヘカフナルノ要具ニシテ其募集ハ時ニ或ハ必要已ム能ハサル所ノモノアリ然リト雖人各其性ヲ異ニシ公債ノ必要ヲ見ル亦同一ナル能ハス其得失ヲ論スル各異ナリ論者或ハ曰ク公債ハ負擔ヲ未來ニ課シ現在ヲ惠ムモノナリ現在ノ費

用ハ租税ヲ以テ之ヲ辨シ後世子孫ヲシテ今世ノ責ヲ負擔セシムヘカラスト此説ヨリ公債ハ利益ヲ後世ニ遺スモノナレハ宜シク其責ヲ後世子孫ニ負擔セシムヘシト云フ説ヲ奇貨トシ不急無用ノ土木等ヲ起シ後世ヲ苦ムルカ如キモノ(余カ所譯ノホリユ一氏地方税ノ冊末ノ註ヲ見ルヘシト)比較スレハ稍眞理ニ近ク隨テ其害亦少シト雖抑此兩説ノ如キハ深ク事物ノ關係ヲ探究セサルニ坐スルモノニシテ共ニ偏見論タルヲ免レサルナリ公債ニシテ其使用方法宜シキヲ得ハ大ニ後世子孫ニ益スルモノナシトセス其責ヲ分擔セシムル何ノ害カ之アラシク況ニ國民ノ資本元ト限リアリ不慮ノ費用ノ爲メ直ニ重款ヲ負ハシムルハ到底民力ノ堪ユル所ニアラス大ニ國家ノ衰頽ヲ來シ却テ後世ノ發達伸暢ヲ妨グヘク一時ノ負擔即チ租税ノ及ハサル所ハ數年ノ分擔即チ公債ヲ以テ之ヲ補ハサルヲ得サルナリ

偏見論者ノ説固ヨリ取ルニ足ラス然リト雖宇内各國ノ公債ノ景況ヲ見ルニ西班牙、土耳其、埃及、ペル等ノ如キ財政ノ組織全カラサル國ハ暫ク措キテ問ハス方今文明ヲ以テ自負スル所ノ國々ノ公債ト雖或ハ偏見論者ノ説ヲシテ全ク無理ナラス頗ル其實アリトノ感ヲ生セシムルモノナキヲ得ス今之ヲ道徳上ヨリ論スレハ勿論經濟上ヨリ論スルニ於テモ一國モ一箇人ノ如ク少ク

モ自ラ先代ヨリ受取リシ丈ケノモノハ之ヲ次代ニ遺傳セサルヲ得ス如何ニ
 富裕ナル國ト雖世々遺留スル所ノモノ其受取リシモノヨリ少ケレハ數世ニ
 シテ非常ノ貧困トナルヤ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ公債ヲ以テ後世
 之苦マシムルノ例實ニ僅少ナラサルナリ英國ノ巨大ナル公債ハ重ニ西曆千
 七百九十三年ヨリ同千八百五十年ノ間ニ起リシモノナリ元來英國カ此時間
 ニ進歩シタルハ疑フヘカラサル事實ナリト雖若シ此間ニ泰平ヲ樂ミ巨額ノ
 公債ヲ起サ、リシトセハ其進歩更ニ大ナリシヤ敢テ疑テ容ルヘキモノナシ
 此間ノ英國ノ進歩著シキ度ヲ示セシハ他ニ原因ナキニアラスト雖英國人民
 ノ貯蓄心及勉強心ノ發達ト器械ノ發明トニ職由ス若シ論者アリ唯時ノ順序
 ナ以テ公債コソ此進歩ノ原因ナリト云ハ、是レ若輩ニ非常ノ勞働ヲ爲サシ
 メ其丁年ニ至リ苦役ノ爲メ天賦ノ發達ヲ得スト雖鬼ニ角丁年ノ後ハ若年ノ
 時ヨリ筋骨逞マシキヲ見テ苦役コソ壯丁ヲ出タスノ原因トスルカ如ク實ニ
 思ハサルノ甚シキモノト云フヘシ英國ニ於テハ巨大ナル公債ヲ起スト同時
 ニ他ノ原因アリテ後世ヲシテ其重キニ苦マシメサリシハ實ニ幸福ト云フヘ
 シ若シ之ヲ起スコトナカリセハ後世ノ進歩更ニ著シカリシヤ又疑テ容ル、
 能ハサルナリ實ニ方今開明國ニ於テハ萬端ノ進歩發々乎トシテ殆ト其止マ

ル所ヲ知ラス今世ノ發明發見及改良ノ利益ハ多ク之ヲ後世ニ遺スヲ得ヘシ
 全ク其費用ヲ今世ニ課スルヨリ後世ヲシテ之ヲ分擔セシムルノ容易ナルハ
 又覆フヘカラサルノ事跡ナリ然リト雖百年ノ大策ヲ畫シ後世ノ隆盛ヲ計ル
 ハ國家經濟上最モ缺クヘカラサルコトナレハ僅ニ前陳ノ理由アルカ爲メ安
 ニ現在ノ負擔ヲ以テ後世ニ遺スノ理アラサルナリ後世ハ後世ニ屬スルノ負
 擔アリ祖先ノ義務ハ併セテ之ヲ負擔セシムレハ後世ノ繁榮得テ期スル能ハ
 ス況ヤ事物日ニ改良ヲ加フルハ方今ノ勢ニシテ今世ノ利益トスル所ノモノ
 必スシモ後世ノ利益ニアラス或ハ其存在スルカ爲メ却テ後世進歩ノ障害ヲ
 來スノ實アルニ於テオヤ然レトモ現時ニ於テ起ス所ノ大業後世ニ餘惠ヲ與
 フルモノ少カラス而シテ後世ノ負擔現時ノ負擔ヨリ容易ナルノ實アレハ苟
 モ後世ニ餘惠ヲ與フルヲ過マラサルモノハ後世ヲシテ之ヲ分擔セシムルモ
 決シテ妨ケナカルヘシ偏ニ後世ノ分擔ヲ憚カレハ後世ニ餘惠ヲ遺スノ業ヲ
 起ス能ハス却テ國家ノ進歩ヲ妨ケ人民ヲ塗炭ニ救フ能ハサルノ實アリ時ニ
 依リ業ニ依リ公債ヲ起シテ之ヲ辨ス亦何ノ憚ル所カ之アラシ
 由是觀之公債ハ財政ノ調理上時ニ或ハ之ヲ起サ、ルヲ得ス之ヲ利用シ大ニ
 國家ヲ益スルハ敢テ疑テ容レサルナリ然レトモアダムスミスリカド、シ

アソバアチスト、セイグラツトスト等ノ諸大家ニシテ租税ヲ以テ全ク不慮ノ費用ヲ支拂フヘシトノ説ヲ唱フル者少シトセス。スミス氏ノ如キハ其論ヲ經濟上、財政上ニ基ヒセス。全ク之ヲ道德上ニ基ヒシ戰爭等ノ時ニ當リ政府重税ヲ課シテ民心ヲ失フヲ恐レ動モスレハ公債ヲ募集シテ其費用ヲ助ケ後世子孫ヲシテ重歛ヲ負ハシムルカ如キハ理ニ於テ爲スヘカラサルノ業ナリ夫レ大國ノ人民ニシテ遙ニ戰地ヲ距ルノ場所ニ居住スル者ハ戰爭ノ禍ヲ被ラス却テ日々其軍勢ノ勝利等ヲ聞キ快ク之ニ取ルモノニ似タリ故ニ重歛ヲ負擔スト雖決シテ不滿ヲ抱クモノニアラストノ意ヲ以テ不慮ノ費用ノ爲メニ公債ヲ募集スルコトノ不可ヲ論ス。又グラツドスト、イン氏カクリミヤ戰爭ノ費用ヲ拂フニ當リテ如何ナル説ヲ主張セザヤチ見ルニ亦財政上ノ點ヨリ之ヲ論セス。寧ロ道德主義ヲ取ルモノナリ。氏ノ論旨ハ公債ヲ以テ事ヲ爲スハ眞ニ之ヲ爲スニアラスト後世ヲシテ其局ヲ結ハシムルモノナリ而シテ戰爭ニハ多少ノ名譽之ニ沿フモノナレハ特ニ租税ノ重キヲ覺ヘサレハ戰爭ノ難キヲ悟ラス。動モスレハ國力ヲ濫用シテ凶器ヲ動カス等ノ患アルニ由リ國民ヲシテ其重キヲ覺ヘシムルハ大ニ一國人民ヲシテ事ヲ慎マシムルノ効アリトノ意ヲ論述セリ。兩氏ノ説一應ノ理ナキニアラスト雖戰爭ハ必ス外國攻撃ニ

アリテ必ス勝利ヲ得ルモノト認定セサレハ此説ヲ爲ス能ハス。斯ノ如キハ到底之ヲ望ムヘキニアラスト而シテ租税ハ法律ヲ以テ如何ニ之ヲ増加スルトモ實際民力ノ堪ヘサル所ハ其増加ヲ得ル能ハス。戰爭等ノ費用ヲ租税ノミニ取レハ費用十分ナルコト能ハス。攻守ノ策爲メニ全キヲ得サルハ勢ノ免レサル所ナリ。故ニ苟モ事起リシ以上ハ一時ニ公債ヲ起シ急ニ敵ヲ威服シ速ニ戰爭ヲ終ル方租税ヲ高クシテ荏苒勝敗ヲ決セス。連年兵ヲ交ユルヨリ經濟上、施政上、社會上、萬事ニ於テ大ニ得策ナルヘシ。道德ハ固ヨリ之ヲ重セサルヘカラズト雖終始之ニ拘泥シ宋襄ノ仁ニ倣フハ國家經濟論ノ道ニ非サルナリ。非常ノ費用ヲ支辨スレハ先ツ之ヲ租税ニ徵シ其度適當ノ程度ニ達シ之ヲ超過シテ租税ヲ徵課スルニ於テハ民ノ生計ヲ苦メ國富ノ發達ヲ妨クルノ恐アルコト及ヒテ短期ノ公債ヲ起シ應ニ三四年乃至八九年ヲ期シテ之ヲ分擔スヘシ。費用益加ハリ短期ノ負擔困難ナルニ及ヒテ甫メテ長期ノ公債ヲ起スヘキナリ而シテ其租税ヨリ短期ノ公債ニ移リ短期ノ公債ヨリ長期ノモノニ移ルノ時機ヲ見ルハ決シテ難キニアラスト疑フヘカラサルノ標準アリテ存ス。即チ租税實收高増率ト等シキ比例ヲ以テ増加セサルトキハ例ヘハ税率ハ五分ヲ増加スト雖實收高ハ三分ノ増加ニ止マルトキハ是レ増税ノ爲メコ民ノ消費力ヲ減

セシノ證ナリ新稅ヲ起スノ場合ニアリテハ其實收高豫算ニ達セサレハ苟モ不當ノ豫算ヲ爲サ、ル以上ハ是レ亦民ノ購買力ヲ減セシノ徵候ナリ而シテ増稅ノ前後ヲ比較シ其後ニ於テ貯藏銀行預リ金若クハ郵便預リ金等ノ減少スルモノアレハ是レ租稅ノ爲メ貯蓄ノ餘裕ナキノ證ナリ斯ノ如キノ徵アレハ速ニ增稅ヲ止メ公債ニ移ラサルヲ得ズ其短期ノ公債ヨリ長期ノモノニ移ルモ短期公債分擔ノ爲メ前記ノ徵候顯ハレントスルトキニアリ財政家茲ニ注意セハ誤ラント欲スト雖モ豈ニ得ヘケンヤ勿論經濟上租稅ノ外ニハ他ニ變動ナキモノトシテノ論ナリ他ニ原因アレハ之ヲ斟酌スルハ無論ナリ國家非常ノ費ヲ辨償スルノ順序ハ前陳ノモノヲ措キテ他ニ之アルヲ知ラサルナリ然ルニ之ヲ悟ラス公債ヲ先ニシ租稅ヲ後ニスルカ如キハ徒ラニ利子ノ負擔ヲ被リ財政ノ損失ヲ來スハ數ノ免ルハ能ハサル所ナリ然リト雖公債ヲ募集スルハ易シ租稅ヲ徵課スルハ難キヲ以テ各箇ノ立法院行政官往々此順序ヲ誤マリ國庫ノ損失ヲ讓セシノ例少シトセス請フ其實例ヲ示スニ先テ非常ノ費用ヲ支辨スルハ公債租稅孰レカ便利ナルヤヲ論セン

非常ノ費用ヲ支拂フニ當リテ租稅ノ不便ナルコトハ急ニ政府所要ノ金額ヲ得ル能ハサルニアリ若シ之ヲ直稅ニ徵スレハ人民負擔ノ重キニ堪ヘズ徵收

其宜シキヲ失ヒ大ニ人心ニ關シ隱匿等ノ弊ヲ生スヘシ又之ヲ間稅ニ徵スレハ營業ヲ束縛シ詐僞ヲ獎勵スヘク租稅ノ實收高ト豫算高トノ間ニ著シキ差違ヲ生シ國費或ハ急ヲ告ケン到底非常ノ費用ヲ悉皆租稅ニ徵スレハ良シヤ民力ノ之ニ堪ユルモノアリトスルモ今ヨリ一層人民開明ノ域ニ進ミ國民タルノ義務ノ重キヲ了解スル後ニアラスンハ行ハレサルコトナリ公債ハ之ニ反シテ一時ニ巨額ヲ收ムルヲ得ルモノナリ何トナレハ後年ノ負擔ノ輕重ハ暫ク措キテ問ハス其應募ハ固ヨリ債主ノ利益ニ從フモノナレハ利子歩合ノ作用ニ由リ政府ノ需要高ヲ徵スルコト難カラズ而シテ世治マリ事平クノ後ニ於テ更ニ低利ノ公債ヲ起シ高利ノモノヲ償還スルヲ得ヘケレハナリ果シテ然ラハ公債ハ非常ノ費用ヲ支辨スルカ爲メ租稅ヨリ便利ナルモノタルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

租稅ヲ以テ急ニ非常ノ費用ヲ徵收シ能ハサルハ前陳ノ如シト雖モ非常ノ費用アルニ際シ先ツ稅率ヲ増シ或ハ新稅ヲ起シ其實收ニ先テ大藏省證券ヲ發行シ急速ノ需要ニ應ジ租稅ノ實收アルニ及ヒテ漸次之ヲ償却スレハ永シ重斂ヲ後世子孫ニ殘スノ憂ナク且ツ急速ノ用ニ供スルコトヲ得ヘシトノ說アリ是レ又一方法ナリト雖モ唯收入遲延ノ不便ヲ避ケルニ止マリ未ダ以テ全

局ノ困難ヲ救フニ足ラス何トナレハ民財ハ固ヨリ無盡藏ニアラス必ス其限度アリ故ニ租税ハ唯立法ノ決議ヲ以テ之ヲ増加スルヲ得ス其實收額ハ必ス民力ニ比例スヘキモノナレハナリ果シテ然ラハ巨額ノ費用ハ到底租税ノミヲ以テ之ヲ支辨スル能ハサルナリ唯此方法ヲ行フヘキハ費用ノ大ナラサル一時ノ事件ヲ處スルノ場合アルノミ茲ニ於テヤ彼ノ富裕ナル英國ノ如キモソリミヤ戰爭ノ爲メ殆ト二億圓ノ公債ヲ起セリ況ヤ其他ノ國々ニ於テヤ今英國カ西曆千八百五十四年ヨリ同千八百五十七年ノ間ニ實施セシ所ヲ見ルニ初メ所得稅ヲ倍シ麥酒其他ノ物品稅ヲ増加シ其實收ニ先テ大藏省證券ヲ發行シ漸次之ヲ償却セリ是レ非常費支辨ノ初期ニ於テハ頗ル適當ノ方法ナリト雖モ經驗上此事ハ決シテ大仕掛ニ施行スルコト能ハサルヲ示セリ請フ實例ヲ以テ之ヲ說カン當時英國ハ此試驗ヲ爲スニ無比ノ好時機ナリシニ由リ此事ノ果シテ實施スルヲ得ルヤ否ヤヲ證明セント欲セハ宜シク英國當時ノ景況ヲ以テ之ヲ徵スヘキナリ英國ニ於テ之ヲ爲シ能ハストセハ北米合衆國ヲ除キ他ニ之ヲ實施スルヲ得ルノ國アラサルナリ當時英國ハ凡ソ四十年ノ泰平ヲ樂ミ諸稅殊ニ間稅ハ非常ノ減輕ヲ經又ハ廢止トナリシモノ少カラス租稅ヲ増加スルト雖モ唯舊稅率ヲ復シ若シハ廢稅ヲ起スノミニシテ敢

テ從來國民ノ經驗セサル重稅若シハ新稅ヲ起スニアラス而シテソリミヤ戰爭ハ大ニ人氣ニ合ヒ輿論皆之ヲ可トシ本國ハ戰地ヲ距ルコト殆ト八百海里内地ノ營業ノ爲ニ障礙ニ逢フコトナク派遣ノ兵員ハ四萬ヲ越ヘス之カ爲メ勞銀増加スル等ノコトナク露國ノ海軍ハ決シテ英ノ商船港灣ヲ侵スニ足ラス露英ノ商業並ニ營業上ノ關係ハ合衆國トノ如ク親密トナラス租稅ノ増加此時ヨリ容易ナルハ蓋シ稀ナリ加フルニ當時英國ノ入費ハ他國(露佛)ノ如ク巨大トラス且ツ其需要急速ナラザリシト雖モ租稅ヲ以テ永ク戰爭ノ費用ヲ支ユルコト能ハス其初メヨリ僅々數箇月ニシテ短期ノ公債ヲ起シ十有二箇月ヲ經テ長期ノ公債ヲ起セリ英國ニシテ既ニ此結果アリ況ソヤ他國ハ英國ノ如キ好機會ニ遭遇スルコト難ク且ツ民間被稅力ノ大ナラサルニ於テヤ右ノ外非常ノ費用ヲ支フルニ租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ之ヲ爲シ能ハサル他ノ一理由アリ元來佛國ノ如キ大國カ永遠或ハ長期限ノ公債ヲ起スニ於テハ國ノ内外ヲ問ハス資本ノ多少ヲ論セス貨幣市場ノ變動ニ由リ巨利ヲ得ント試ミル者多ク瑣少ノ貯蓄ヲ有スル者ト雖モ安全ヲ計リテ先テ爭フテ之ヲ買入ル、コトアルヲ以テ政府速ニ其要スル所ノ金員ヲ得ルヲ通例トス然レトモ一年乃至五年ニシテ制限ノ來ル大藏省證券等ニハ外國人ノ出金スル

者ナク内國人ト雖モ其手數ノ割合ニハ利益スル所少シト思考スルヤ之ニ應
 スル者多カラス到底之ヲ以テ急ニ巨額ノ金額ヲ得ル能ハサルナリ論者或
 云ハノ政府急速ノ需要アルニ際シ大藏省證券ヲ發行シ人民之ニ應セサレ
 宜シク大銀行ニ命ジ之ヲ購買セムヘシト然リト雖モ經驗上此事モ亦巨大
 ノ額ヲ徵スルノ場合ニ於テ之ヲ施行スルコト能ハサルノ實アリ抑方今ノ軍
 議ニ於テハ一戰ノ費用實ニ四五億圓ノ巨額ニ達スル者少シトセス斯ノ如キ
 巨額ヲ四五年ノ間ニ貸付ケ能ク工商百般ノ事業上ニ要スル必要ノ資金ヲ缺
 カサルノ銀行ハ決シテ吾人ノ見サル所ナリ斯ノ如キハ全歐ノ大銀行ヲ合ス
 ルト雖モ恐クハ爲メ得ヘキコトニアラサルナリ今之ニ數歩ヲ譲リ假リ之
 ナ爲シ得ヘシトスルモ四五箇年ノ間ニ之ヲ償却スルハ民力ノ之ニ應スル能
 ハサル所ノモノナリ論者或ハ云ハノ亂ニ際シ一般公衆ヨリ公債ヲ募集セハ
 非常ノ高利ヲ拂ハサルヲ得ス若カス銀行ヨリ一時之ヲ借入レ世治マルノ後
 公債ヲ起シ之ヲ償却スルノ便利アルコト夫レ或ハ然ラン然リト雖モ貸付
 ノ如キハ資本ヲ固定シ又大藏省證券ノ如キハ前陳ノ如キ實アレバ銀行ニ於
 テモ巨額ノ證券ヲ賣盡スコト能ハス多クハ期限迄之ヲ所持セサルヲ得ス斯
 ノ如ク其資本ヲ死物トシ去ルハ決シテ銀行ノ爲スヘキコトニアラサルナリ

然ルコ公債證券ハ内外人民ノ需要多キニ由リ大銀行ニ於テ一時其募集ニ應
 スルアルモ容易ニ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘク決シテ資本ヲ死守スルヲ要セ
 サルナリ論者ノ利子云々ノ言ハ實ニ然リ然リト雖モ是レ又借換ノ途ナキコ
 アラサルヲ以テ治シ可トスルニ足ラサルナリ由是觀之非常ノ事アルニ際シ
 急ニ巨額ノ金員ヲ得ルハ甚々難事ニシテ到底租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ
 之ヲ得ルコト能ハス力ヲ長期若クハ永遠公債ニ借ラサルヲ得ス然リト雖モ
 現時ノ費用ノ爲ニ未來ヲ苦ムルハ固ヨリ好マシキコトニアラス且ツ前陳ノ
 如ク濫用ノ恐ナキニアラサレハ公債ノ募集ハ決シテ之ヲ忽ニスルヲ得サル
 ハ固ヨリ論ヲ俟タス國家非常ノ費用ヲ支辨スルニハ先ツ租稅ヲ以テ之ニ應
 ジ次ニ短期ノ公債ヲ用ヒ終ニ長期若クハ永遠ノ公債ニ移ルヘキナリ茲ニ又
 租稅及短期ノ公債ノミヲ以テ非常ノ費用ヲ支辨シ能ハサルノ一理由アリ
 凡ソ一國ニシテ非常ノ費用ヲ要スルハ決シテ泰平無事ノ時ニアラス必ス非
 常ノ費用ヲ要スル非常ノ事アルノ時ナリ故ニ其當時ハ勿論其後三四箇年ノ
 間ハ重稅ヲ課スルノ時ニアラス却テ賦斂ヲ輕クシ休養ヲ要スルノ時ナリ是
 レ亦國家非常ノ事アルニ當リテ公債募集ハ大藏省證券發行ヨリ行ハレ易ク
 且ツ害少キ所以ノ一理由ナリクリミヤノ役ニ當リテ英國ハ前陳ノ如キ出格

ノ好況ヲ得且ツグラツドストーソン氏ノ人望雄辯アリシト雖モ尙ホ租税ノミ
 ナリテ軍費ヲ償フ能ハス況ヤ其他ノ國及場合ニ於テオヤ抑一國非常ノ費用
 ナ要スルハ國事多端國歩艱難ナル時コシテ生産力消費力共ニ減スルノ時ナ
 レハ通常ノ税額ト雖モ尙ホ且ツ之カ負擔ニ苦ム況ンヤ之ヲ増加スルコト於テ
 オヤ其艱難實ニ喋々ヲ要セルナリ而シテ方今ハ昔日ノ如ク一大國ノ全ク亡
 滅スルカ如キハ殆ト之アルナリ殊ニ公債償還ハ文明諸國ノ最モ侵スヘカラ
 サル義務トスル所ノモノナレハ自國ノ人民之ニ應スル能ハサルモ外國人民
 ハ其發行價格ノ廉ナルニ由リ(斯ノ如キ時ニハ發行價格ハ安キモノナリ如何
 トナレハ發行國ニ於テ金員ヲ要スルノ急ナルニ由リ其價ヲ願ミルノ暇ナケ
 レハナリ)未來ノ利益ヲ計リ之レヲ購買スルノ實アレハ斯ノ如ク時ニ於テハ
 公債募集ノ外他ニ金員ヲ得ルノ方便ナカルヘシ由是觀之一國非常ノ事アル
 ニ際シ租税ヲ以テ全ク其費用ヲ辨スルハ決シテ行ハレサルコトナリ今佛國
 ノ現況ヲ以テ見ルニ(西曆千八百八十年頃)泰平ノ時ニ於テ政府ノ收入スル所
 ノ租税額ハ凡ソ十億乃至十二億圓ナリ而シテ若シ大國雌雄ヲ干戈ニ試ミル
 カ如キコトアレハ方今ノ軍議ニ於テハ一箇年若クハ七八個月ニシテ七八億
 圓ヲ費スハ決シテ珍シカラス今試ニ此非常經費ヲ通常經費ニ加フレハ殆ト

泰平ノ時ニ於テ徵收スル所ノ税額ヲ倍セタルヲ得ス然ルニ政治上ノ困難ハ
 經濟上ニ影響セサルコトナク非常ノ時ニ當リテ間税ノ收入ハ佛國ニ於テ五
 分ノ一若クハ四分ノ一ヲ減少ストスルモ敢テ大過ナカルヘシ然ラハ則チ直
 税ヲ増シテ之ヲ倍センカ此事タル實ニ至難ノコトナリ然リト雖モ非常ノ時
 ニ當リテ之ヲ決行スレハ之ニテ或ハ一億六千萬圓ヲ得ヘシ然レトモ是レ實
 ニ巨大ノ費用ニ對シテハ只一小部分ニシテ決シテ頼ムニ足ラス且ツ此高ク
 ルヤ果シテ間税ノ減少ヲ償フヲ得ヘキヤ否ヤ或ハ之ヲ償フコト能ハサルヘ
 シ事實既ニ斯ノ如ク非常ノ時ニ當リテ租税ノ増加ヲ以テ全ク國費ヲ辨セン
 ト欲スルモ決シテ得ヘキニアラサルナリ若シ幸ニシテ一國ノ財政裕ナルヲ
 得ハ只之ヲ以テ非常費ノ一端ニ充ツルヲ得ルノミ非常ノ時ニハ到底公債ヲ
 起サ、ルヲ得サルナリ

諸大家ノ租税増加ノ說ヲ主張スル者ノ中シエアン、バプナスト、セイ氏ハ西曆
 千七百九十三年ヨリ同千八百十五年ノ間英國ニ於テ若シ租税ヲ増加セハ公
 債ヲ起スヲ要セザリシト云ヒマクツク氏ハ租税ヲ増加シ得ル丈ケ増加セ
 ントセハ斯ノ如ク巨額ノ公債ヲ起スヲ要セザリシト云フマクツク氏ノ說
 ハ過實ノ譏ヲ免レスト雖モ亦以テ見ルヘキモノナキニアラス元來英國ハ本

件ノ論題タルニ最モ恰當セル國ニシテ他國ニ於テ見サル所ノ景況殆ト常
 之ヲ助クルアリ請フ少シク之ヲ辯セシ
 英國ハ島嶼ノ國ニシテ海軍甚ク強ク敵軍其國土ヲ侵スコト甚ク難ク英國
 軍ハ殆ト出稼キノ姿ヲ顯ハシ而シテ其外國貿易ノ關係ノ廣キ固ヨリ四海
 冠絶ス故ニ某國ト録ヲ交ヘ其國トノ貿易ニ損害ヲ醸スト雖モ他ノ外國トノ
 貿易ハ爲メニ著シキ障害ヲ受ケス戰爭ノ爲メ政治上經濟上ノ困難ヲ惹起ス
 ルヲ之ヲ他國ニ比シテ實ニ僅少ナルモノト云フヘンマクラツシ氏曾テ西曆
 千七百九十三年ヨリ同千八百十五年ノ間英國財政ヲ論シテ曰ク余輩ハ恣ニ
 空理ヲ借リテ事實行ハレ難キノ事ヲ云フモノニアラス曩ニ英國カ米國ト事
 アリシヤ所得稅稅率ヲ一割ヨリ一割二分ト爲セリ此租稅タル固ヨリ不公平
 且ツ不便ヲ免レスト雖モ英國政府ヲシテ西曆千七百九十三年ニ於テ之ニ類
 似スルノ方法ヲ施行セシメ以テ非常ニ關稅ト内地ノ消費稅トヲ增加セサラ
 シメハ收入ノ増加ニ由リ戰爭ノ初メヨリ甚ク不利ナル方法ヲ以テ巨大ノ公
 債ヲ起スヲ要セサリシト此說タル大ニ其當ヲ得タルモノナリ一國ノ景況ニ
 シテ荷モ之カ施行ヲ妨ケサルモノアレハ非常ノ事アルニ際シテ政府ハ宜シ
 シ直稅ヲ增加シ現在ノ事ハ其責ヲ現在ニ歸セシメ費用巨大ニシテ強ク之ヲ

租稅ニ徵スレハ民業衰ヘ一國ノ衰頹ヲ來スノ勢アリテ已ムヲ得サルニアラ
 スンハ公債ヲ起シテ現在ノ責任ヲ未來ニ負擔セシムヘカラス英國ノ西曆第
 十八世紀ノ財政ト同第十九世紀ノ財政ト大ニ其趣ヲ異ニシ頗ル論究スヘキ
 モノアリト云フヘン

今茲ニ英國公債ノ歴史ヲ陳述スルニアラスト雖モ英國カ非常ノ費用ヲ支拂
 フニ當リ其幾分ヲ公債ニ取リ其幾分ヲ租稅ニ徵セシヤヲ見ンカ爲メ少シク
 其歷史上ノ事蹟ヲ陳述セサルヲ得ス而シテ軍費ノ計算モ亦十分ニ其實ヲ得
 ルヲ期セサルモノナレハ其計算法ヲ論スルハ敢テ無用ノ業ニアラサルナリ
 英國ニ於テ用フル軍費ノ計算法ニアリテハ一ハ西曆千八百五十七年二月當
 時ノ大藏大臣ルーウイス氏シリミヤ戰爭ノ費用ヲ計算スルニ當リテ用ヒシ
 所ノ方法ナリ此方法ニ據レハ戰爭三箇年間ノ海陸軍本省其他一切ノ軍事ニ
 係ル費用ヨリ戰爭前三箇年間泰平無事ノ時ト同様ノ費用ヲ控除シ其差ヲ以
 テ全ク軍用ノ爲メニ要セシ所ノ費用トスルモノナリ此計算法タル善ハ則チ
 善ナリト雖モ未ダ以テ十分ナリト云フ能ハサルナリ何トナレハ戰爭前三箇
 年間ノ海陸軍通常經費ハ果シテ戰爭中ノ三箇年ノ通常經費ニ相當スル分ト
 符合スルヤ否ヤ未ダ俄ニ然リト云フヲ得サレハナリ他ノ一方法ハ西曆千七

百八十二年財政委員ノ採用セシモノニシテ稍實ヲ得ルモノ、如シ此法ニ據レハ戰爭中海陸軍ノ爲メニ要セシ費用ニ戰爭後其決算ノ爲メニ費セシ費用ヲ加ヘ泰平ノ時ノ最モ近キ年度ノ兩三年ノ間海陸軍ノ爲メニ費セシ費用ノ一箇年ノ平均高ヲ取り之ニ、戰爭ノ年數ヲ乘シ彼ヨリ之ヲ差引キ其殘額ヲ軍用ノ爲ニ要セシ所ノ費用トス今西曆千六百八十八年ヨリ最近ニ至ルマテ英國カ戰爭ノ爲メニ費セシ金高及其幾分ヲ公債ニ取り幾分ヲ租稅ニ取りシヤ等ヲ表出スレハ左ノ如シ尤モ計算方法ハ前陳ノ第二ノ方法ニ據ルモノナリ

戰爭ノ年 間但西曆	戰爭ニ由リテ生 シタル非常費	戰爭非常 公債ノ高	租稅ノ内非常費 ニ充用セシ分	戰爭年間歳入ノ合計但 公債募集金ヲ含有セズ
自一六八八 至一六九七	三二六、四三七、六四〇	一六五、五三三、九一〇	一六〇、九〇三、七三〇	三二七、六六七、五四〇
自一七〇二 至一七一一	五〇六、八四九、五六〇	二九四、〇五〇、八三〇	二二二、三七八、七三〇	六四二、三九四、七七〇
自一七一八 至一七二一	四五、四七二、一四〇	一〇、〇三三、〇五〇	三五、四五二、二三〇	二四二、九三〇、〇〇〇
自一七三九 至一七四八	四三六、五五一、九二〇	二九七、二四一、九五〇	一三九、三〇九、九七〇	六五九、〇三九、六四〇
自一七五三 至一七六三	八二六、二三七、三八〇	六〇〇、一八二、四三〇	二六、〇五四、九五〇	一、〇一九、五五一、二三〇
自一七六六 至一七八五	九十五、九九四、九六〇	九四五、六〇〇、六九〇	三〇、三七四、二七〇	一、四一九、〇二六、二〇〇

自一七九三 至一八一五	八、三二四、四六四、四九〇	四、四〇二、九六〇、七六〇	三、九一一、四八三、七〇〇	一一、二七五、五四四、三九〇
自一八五五 至一八五六	六九二、七七六、九四〇	三九七、一五二、〇八〇	二九五、六四四、八六〇	二、〇六二、〇七一、二三〇

表中掲載ノ計數ハ大戰ノミニ係ルモノニシテ小戰ニ係ルモノハ之ヲ省略ス此表ニ據レハ西曆千六百八十八年ヨリ同千八百五十七年マテ英國ノ軍費支ヘシハ單ニ租稅ニ據ラス又單ニ公債ニ據ラス租稅公債ノ比例ハ例外ノ場合ナキコアラスト雖モ非常費總額ノ凡三分ノ二ハ之ヲ公債ニ取り三分ノ一ハ租稅ニ徵セント云フテ敢テ大差ナカルヘシ費用ヲ殆ト全ク租稅ニ徵セシモノヲ西曆千七百十八年ト同千八百二十一年ノ西班牙トノ戰爭トス又殆ト全ク費用ヲ公債ニ取りシモノヲ北米合衆國ノ獨立ノ戰爭トス共ニ是レ例外ノ場合ナリ其詳細ハ表中ニ詳ナリ第一ノモノハ決シテ大戰争ト云フニアンズ其費用實ニ僅々タルモノナリニ由リ少シク租稅ヲ増加シテ其費ヲ償フヲ得シナルヘシ合衆國獨立戰爭ノ如キハ決シテ人民一般之ヲ賛成セシモノコアラズ政界上租稅ヲ増加スルヲ得サリシナルヘシ然リト雖モ只財政上ノ之ヲ論スレハ當時ノ執政者ニシテ戰爭ノ初メ成ル丈ケ租稅ヲ増加シテ軍費ヲ助ケハ永遠ニ巨大ノ公債ヲ國民ニ負擔セシメス後世ノ進歩更ニ一層ノ

便利ヲ得ンヤ敢テ疑テ容ル、能ハサルナリ然リ而シテ此表ニ據リテ各戦争ノ費用支辨方法ヲ見ルニ概シテ人望ニ應スル戦争ニハ租税ノ部分多ク不人望或ハ戦争中英國内政ノ圓滑ナラザリシ時ニハ租税ノ部分甚ク少シ文武ノ兩翼ヲ張リテ一國ヲ統御スルノ術決シテ容易ニアラサルナリ

以上説ク所ノモノヲ以テ見レハ世人カクリミヤ戦争ヨリグラッドストーン氏大ニ財政ノ面目ヲ改メ非常ノ費用ハ重ニ之ヲ租税ニ徵セリト云フハ事實ヲ探究セサルノ過チナルヲ知ルニ足レリ當時グラッドストーン氏ノ名望雄辯英國人民ノ富裕英國ノ出格ナル景況ニモ拘ハラズカチ公債ニ借ラスンハ大ニ軍務ヲ構スル能ハサルノ場合ニ至レリ其西曆千八百五十四年ノ冬陣ニ於テ英國出征ノ軍備全キヲ得ス兵爲メニ寒氣ニ苦ミ士卒ノ凍死交至リ政府爲メニ人望ヲ失ヒ宰相ノ交迭アリシモ政府ニ於テ永ク増税ノ主義ヲ固守セシニ由ルモノ蓋シ少キニアラサルヘシ幸ニシテ英國政府人才ニ乏シカラス租税ハ其收入ノ遲々トシテ軍備ノ急ニ應スルニ足ラス又急劇ニ租税ヲ増加セハ大ニ農工商ノ業ヲ障害スルヲ悟リ大藏省證券ノ發行ヲ以テ遅延ノ不便ヲ避ケシト雖モ天下公衆際限ナク之ヲ買入ル、ヲ好マス或ハ政府ニ於テ期限通リニ其元金ヲ拂フコト能ハス債主モ之ヲ延期スルヲ好マス西曆千八百

五十四年六月法ヲ定メテ短期ノ公債證書ヲ發行セリ其第一組ノ發行ハ額面二千萬圓コソテ西曆千八百五十八年五月八日ヲ以テ仕拂フヘキモノトシ期限凡ソ四箇年其第二組ノ者モ同額コソテ西曆千八百五十九年五月八日ヲ以テ支拂ハル、モノコシテ期限凡五箇年其第三組ノ者モ亦額面二千萬圓コソテ西曆千八百五十七年五月八日ヲ以テ支拂ハル、モノコシテ期限凡三箇年其翌年第四組ノ者ヲ發行シ西曆千八百六十年十二月八日ニ支拂フヘキモノトセシト雖モ此最後ノ募集ニ據リテ得ル所ノ金額僅ニ九百七十七萬九千五百圓トス斯ノ如クニシテ英政府ハ三箇年乃至五箇年ニ於テ支拂ハルヘキ公債證書六千九百七十七萬七千五百圓ヲ發行セリ此法アル之ヲ財政上ヨリ論スレハ一時ニ必需ノ金高ヲ得ルノ便アリ之ヲ道德上ヨリ論スレハ非常ノ費用ハ其事ノ終リシ後値々四五年ニシテ拂ヒ盡シ現在ノ義務ヲ未來ニ負擔セシムルノ嫌ナク大ニ増税法ト國債募集トノ便ヲ兼スルモノ、如シト雖トモ此法ニ據リテ巨大ノ費用ヲ處辨セント欲セハ戦争後數年大ニ民力ヲ課シ又其ノ滿期ノ年必スレモ財政富裕ナル時期ニ難シ若シ不幸ニシテ戦争數年ニ連レハ戦争中或ハ支拂期限ノ來ルモ計ラレス況ンヤ非常ノ事アルノ後ハ民力耗縮スルハ最モ通例ノ事ナレハ非常ノ事アルニ當リ此法ノミニ據リテ國費ヲ

支辨スルハ決シテ策ノ得タルモノニアラサルナリクリミヤノ役英國ニ於テモ尙ホ專ク之ヲ行フコト能ハス速ニ之ヲ廢シ通常ノ公債ヲ募ルニ至レリ請フ少シク其然ラサルヲ得サル所以ノ理由ヲ辯セシ英國ニ於テハ右ノ方法ヲ施行セシト雖モ此法ハ遠隔ノ地方並ニ外國ヨリ其遊金ヲ呼入ル、ヲ得ス到底此方法ヲ以テ巨額ノ金員ヲ得ルコト能ハサルヲ發見シ且ツ各種ノ大藏省證券ノ支拂ニ若シ之ヲ永遠ノ公債ニ組替フルカ爲メ公債證券發行ノ事ヲ決定セリ其發行ノ月日方法ハ頗ル後學ノ論題トナルヘキモノナレハ之ヲ玆ニ掲載スルモ敢テ無益ニアラサルヘシ當時確定公債ヲ起セシハ西曆千八百五十五年四月(戰爭ノ告知ハ前年ノ四月三十日ナリ)ノ一億六千萬圓ヲ以テ始メトス此公債ハ三分利付コシテ更ニ三十年間百ポンドニ一ポンドハ我金貨凡ソ十圓ニ付テ十四シリングニ一シリングハ凡我五十錢(六ペンス)ニ一ペンスハ凡我四錢ノ年賦金ヲ與ヘ平價ヲ以テ之ヲ發行セリ公債ニ年賦金ヲ付スルハ英國ノ流行物コシテ決シ宜シキヲ得ル者ニアラス)次ノ公債ハ同年度中ニ起セシ額面五千五百五十五萬四千七百七十圓實收高凡五千萬圓此公債三分利付コト別ニ年賦金ヲ付セス百十二ポンドニ一ポンドニ一シリングニ一ペンスノ公債證券ニ對シテ百ポンドノ現金ヲ受取りタリ實ニ是レ八十九ポンドニ付キ三ポンドノ利子

ヲ與フル者ナリ次ノ年度ニ於テ更ニ額面五千三百七十六萬四千五百八十圓(實收高凡五千萬圓)ノ公債ヲ起セリ此度モ三分利付コト百ポンドノ拂込ニ對シ百七ポンド(十シリング)七ペンスノ公債證券ヲ與ヘタリ故ニ利子ノ割合ハ凡九十二ポンドニ付キ三ポンドナリ其他三分利付ノ大藏省證券ヲ永遠ノ公債ニ組替ヘシモノ三千萬圓此公債ノ額面三千三百三十三萬二千五百圓ニシテ九十ポンド(十付キ利子三ポンド)宛ノ割合ナリ而シテ英國カ當時三箇年乃至五箇年ノ期限コト借入レシ高凡七千萬圓ナレハ之ヲ右ニ記載スル確定公債ノ實收高ニ合算セハ凡二億六千萬圓ニ達ス今前ニ掲載セシ公債ト租稅トノ比較高ヲ見ルニ英國カ當時軍費ノ爲メニ借入レシ高ハ三億九千七百十四萬一千二百圓餘ナレハ右ニ記載スル者ノ外尙ホ凡千萬圓ハ大藏省證券ニテ借入レシナルヘシ

右ニ陳述スル所ヲ以テ見レハ英國ハクリミヤ戰爭ノ費用ノ過半ハ租稅及短期公債ヲ以テ支辨シ其確定公債ノ支辨ニ係ルモノ二億九千萬圓之ヲ軍費全額六億九千二百餘萬圓ニ比較スレハ其半額ニ達セサルヤ遠シ此支辨方法ハ大ニ其當ヲ得タルモノト云フヘシ當時英國政府カ偏理ヲ守リ増稅論ヲ主張セシハ頗ル慮リテ缺クノ議ナキヲ得スト雖モ是レ或ハ戰爭ノ初期增稅ハ財

政上ノ得策ナルヲ察シ之ヲ實施セシカ爲メ政略上故ラニ極端論ヲ取リシモ
 ノナルヤ又知ルヘカラス若シ夫レ然ラス之ヲシテ米國戰爭及ナポレオン戰
 爭中英國ノ理財家大ニ公債ヲ増加セシテ見テ先者ノ過失ヲ矯正セント欲シ
 却テ他ノ極端ニ走リシモノトセハ是レ實ニ思ハサルノ甚シキモノニシテ所
 謂美ニ德リテ鎗ヲ吹クノ讒ヲ免レサルナリ財政ノ局ニ當ルモノ宜シク謹ム
 ヘキノコトナリ當時英國政府カ熱心ニ増稅主義ヲ唱ヘシハ果シテ何等ノ情
 ニ據ルヤ知ルヘカラスト雖モ兎ニ角クリミヤ戰爭ノ時ノ財政ハ實蹟上大ニ
 其當ヲ得タルモノナリ然レトモ西曆千八百六十年ヨリ同千八百六十九年ニ
 至ルマテ歐洲大陸ノ景況穩ナラサルニ際シ警備ノ爲メ五千四百五十萬圓ノ
 公債ヲ泰平無事ノ日ニ起セシハ決シテ策ノ得タルモノニアラサルナリ英國
 人民ノ富裕ナル何ソ國家護衛ノ爲メニ僅々三千四百餘萬圓ノ増稅ヲ泰平無
 事ノ時ニ負擔スルヲ苦マンヤ當時此公債ヲ起セシハ英國財政ニ於テ最モ取
 ラサル所ナリ然ルニ當時英國政府カ此公債ヲ永遠ノモノトセシ西曆千八百
 八十四年四月五日ヲ限リ之ヲ償還スヘキモノトセシハ少シク怨スル所アル
 ニ似タリ凡公債ヲ起スハ時ヲ期シテ之カ返濟ヲ約スルハ頗ル不便ヲ來タス
 ノ恐ナキヲ得スト雖モ既ニ巨額ノ永遠公債アレハ妄リニ之ヲ増加セサルヲ

良シトス而シテ國防ノ爲メニ起ス所ノ公債ハ他ニ著シキ差支ナキニ於テハ
 二三十年即チ現行人ノ在世中或ハ砲臺建築大砲製造ノ進歩未ダ現在ノモノ
 ナ不用ニ歸セシメタルノ時間ヲ豫期シ其償却ヲ計ルハ或ハ其當ヲ得ルモノ
 ナラシカ)

以上說シ所ノモノヲ以テ之ヲ見レハソリミヤ戰爭ノ費用ヲ辨スルカ爲メニ
 英國ノ實施セシ所ノモノハ大ニ其當ヲ得シモノト云フヘシ既ニ說シ所ノ如
 ク租稅ハ無限ニ之ヲ増加スルヲ得ス而シテ重稅ノ弊ハ最モ恐ルヘシ故ニ非
 常ノ費用ハ長ク租稅ヲ以テ之ヲ支辨スル能ハサルナリ元來租稅法ヲシテ完
 全無缺ナラシムルハ人智ノ及ハサル所ニシテ吾人ノ爲ス所ハ唯其不公平ト
 其不便ヲ減少スルヲ得ルノミ如何ニ理論上公平ナル租稅ト雖モ實施上或ハ
 定稅法ノ不十分ナルモノアリ或ハ被稅者ノ性質ニ寬嚴ノ差アリテ其實際ノ負擔
 ハ意外ノ結果アルモノアリ或ハ被稅者中正直ナルモノアリ隱蔽ニ巧ナルモ
 ノアリ決シテ實際ニ公平ヲ得サルハ租稅其者ノ性質トシテ必スヤ免ル、能
 ハサル所ナリ輕稅ニ於テハ是等ノ不便尙ホ忍フヘシト雖モ重稅ニ於テハ到
 底民力ノ能ク堪ヘ得ル所ニアラサルナリ實ニ重稅ノ弊害タル國民ノ資産ニ
 關係スルハ勿論大ニ道德上ニ影響スル所アレハ彼ノ道德主義ヲ基礎トシテ

公債ハ現在ノ爲メニ未來ニ負債ヲ殘スノ說ヲ墨守スル輩ト雖モ大ニ慮カラサルヲ得サルナリ英國當時ノ財政彼是ヲ斟酌シテ實ニ宜シキヲ得シモノト云ハサルヲ得ス

クリミア戰爭ノ費用支辨ノ爲メ英國ノ財政其宜シキヲ得タルコト斯ノ如クト雖モ今湖リテ合衆國獨立ノ戰爭及ナポレオン戰爭時代ノ英國政府ヲ見ルニ頗ル其當ヲ失スルモノナキヲ得ス合衆國獨立戰爭ノ總費用ハ九億七千四百餘萬圓其内租稅ヲ以テ支辨セシモノ僅ニ三千餘萬圓其ノ他ハ盡シ公債ヲ以テ之レヲ支辨セリ是レ實ニ費用ヲ公債ニ取ル多キニ過シルモノト云ハサルヲ得ス然レトモ當時英國ノ財政ナシテ租稅ヲ増スヲ得サルモノクテシムレハ余輩又何ヲカ云ハン然ルニ該戰爭ノ初メ即チ西曆千七百七十七年十月十日ニ於テ終ル所ノ會計年度ノ英國歲入ヲ見ルニ其總額凡一億一千二百萬圓ニシテ其末年即チ西曆千七百八十五年十月十日ヲ以テ終ル所ノ會計年度ノ歲入ヲ見ルニ殆ト一億六千萬圓ニ増加セリ而シテ此間英國ノ經濟上ニ非常ノ變動アルヲ見ス故ニ該戰爭中所得稅其他或ハ間稅ヲ増加シ之ヲ以テ軍費ニ充ツルコトハ決シテ爲シ得サルコトニアラス加之ナラス戰費ノ爲メ大ニ通常經費ヲ節減セハ公債ノ高チ減少スルコトヲ得シヤ敢テ疑テ容レサル

ナリ然ルニ策筈ニ出テス殆ト專ラ該戰爭ノ費用ヲ公債ニ取リシハ施スヘシ且ツ施シ能フ所ノ術ヲ捨テ姑息ノ方法ヲ取リ禍ヲ後世ニ遺セシモノト云ハサルヲ得ス是レ蓋シ當時政略上已ムヲ得サルモノアリテ然ルヤ否ヤヲ知ラズト雖モ單ニ財政ノ一點ヲ以テ之ヲ論スレハ大ニ間然スヘキモノナキヲ得サルナリ

ナポレオン戰爭ノ時ノ財政ニ於テモ亦公債ヲ先ニシ租稅ヲ後ニシ大ニ財政ノ順序ヲ過マリ徒ニ公債利子支拂ノ爲メニ費用ヲ増加セシノ狀アルヲ免レス當時租稅ノ増加ヲ見シハ西曆千七百九十六年即チ戰爭開始後三年ノ後ニアリ而シテ其増加ノ割合戰爭前ノ租稅ニ比シテ僅ニ五分ニ止マリ西曆千七百九十八年ニ至ルマテハ漸ク増加ヲ示スモノ僅ニ一割八分ニ過キ然レトモ是レ政府ニ於テ増稅ヲ力メシノ結果ニアラスシテ大陸ノ諸國ニ於テハ戰爭ノ爲メ百般ノ事業隆盛ナルヲ得ス英國ノ事業此處ニ乘シ大ニ發達シ且有益ナル發明此間ニ起リシニ由ルモノ多キニ居ル西曆千七百九十九年以降ハ租稅大ニ増加セリ是レ實ニ租稅ノ減少ヲ息リシモノト云ハサルヲ得ス賦稅ニ西曆千七百九十三年ノ英國政府歲入ト同千八百十六年ノ歲入トヲ比較スルニ其初期ノ者ハ凡一億九千四百萬圓後期ノ者ハ凡七億二千四百萬圓尤モ

此二十四年間ノ英國ノ進歩ハワット、ヘヤグレイフ、アークライト等ノ新發明アリ殊ニ大陸諸國ハ戰爭ノ街トナリ泰平ノ事業ニ從事スル能ハス英國ハ幸ニ佛軍ノ蹂躪ヲ免レ大陸ニ對シ供給者トナリ戰爭ノ爲メ却テ事業ノ擴張ヲ來シ且ツ人口ト租稅トノ比例ヲ以テ之ヲ論スレハ西曆千七百九十三年ニハ英國愛蘭ハ未タ英國ト同一ノ制度ニ歸セス附屬王國ナリシニ由リ之ヲ加ヘスノ人口八百萬乃至九百萬コシテ歲入ハ九千七百萬圓ナリシヲ以テ假ニ人口チ八百五十萬ト見レハ一人ニ付キ二十三圓八錢餘ニ相當セリ是レ既ニ輕稅ニアラサルナリ而シテ西曆千八百十六年ノ人口ハ凡一千萬愛蘭ヲ込メ元來愛蘭ハ非常ノ貧國ナルヲ以テ英蘇人民ノ負擔高ハ遙ニ平均高ヨリ超過スルモノナリ)コシテ歲入ハ七億三千萬圓ナリ實ニ是レ一人ニ付キ七十二圓四十一錢ノ割合ニシテ非常ノ重稅ト云ハサルヲ得ス輒近英國ノ人口ハ凡三千五百二十四萬千四百八十二人西曆千八百八十七年ノ關政府ノ歲入ハ凡九億七千七百七十二萬七千五百八十圓西曆千八百八十七年ノ實收高ナルニ由リ一人ノ割合ハ二十五圓七十四錢餘ナリ而シテ佛國ハ文明國中租稅最モ重キモノナリト雖モ兩三年以來一人ノ負擔高凡三十二圓八十錢餘ナリ加フルニ英國ノ西

曆千八百十六年ノ富ハ遠ク方今ノ英佛ノ富ニ及バサルハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ前陳ノ如キ重稅ヲ課スルハ實ニ是レ非常ノコトニシテ斯ノ如キノ重稅ハ決シテ之ヲ課スヘキニアラサルナリ故ニ單ニ西曆千七百九十三年ノ歲入ト同千八百十六年ノ歲入トニ著シキ差違アルヲ以テ戰爭ノ初期ニ大ニ租稅ヲ增加シ以テ公債ノ募集ヲ避クヘント論スルハ頗ル倉卒ノ說ナリト雖モ幾分カ所得稅及間稅ヲ增加シ得シヤ敢テ疑ヲ容レズ然ルニ戰爭ノ初期五六年間ハ增稅ヲ力メス專ラ費用ヲ公債ニ取り其末期ニ至リ非常ニ重稅ヲ課セシハ財政ノ順序其宜シキヲ得シモノニアラサルナリ而シテ初期ノ失政公債ノ額ヲ増加シ末期ノ租額隨テ増加セサルヲ得サリシハ又以テ數ノ免ル、能ハサル所ノモノナリ而シテ公債ノ増加ハ費用ヲ後世ニ遺シ次回ノ非常費支辨ノ爲メ多少ノ不便ヲ與フルヲキテ得ス財政ノ順序ヲ過マルノ結果凡斯ノ如シ豈ニ之ヲ忽ニスルヲ得ンヤ

英國ノ非常費支辨ノ景況ハ既ニ之ヲ略陳セリ今佛國ノ景況ヲ見ルニ大半ハ英國ト異ナルモノアリ佛國ニ於テハ軍費ハ殆ト盡ク之ヲ公債ニ取レリ往古ノ事ハ措キテ問ハス請フ西曆千八百五十三年ヨリ同千八百七十年マテノ景況ヲ陳述セシ佛國政府ハクリミヤノ役中公債ヲ起スコト前後三回第一ハ西

曆千八百五十四年ニ第二第三ハ同千八百五十五年ニ於テ之ヲ起セリ其總額八億八千六百萬圓餘利子二千八百六十八萬三千七百六十圓實收高六億一千五百二十九萬七千五百七十八圓餘ナリ斯ノ如キ巨大ノ金額ハ固ヨリ僅々一兩年ノ租稅ヲ以テ徵收スル能ハスト雖モ戰爭ノ初メ稅率ヲ增加シ新稅ヲ起シ以テ公債ノ募集ヲ減スルハ敢テ爲シ能ハサルノ業ニアラザリシカ如何トナレハ當時佛國ノ財政大ニ進步シ租稅ノ減少廢止少カラザリシヨ由レハナリ然ルニ佛國政府ハ西曆千八百五十四年五月却テ之ヲ減少シ郵便稅ヲ五錢ヨリ四錢ニ減少シ爲メニ暫時ハ其收入高二百八十萬乃至三百二十萬圓ヲ減少セリ此減少タル固ヨリ泰平無事ノ時ニ於テハ大ニ好ミスヘキモノナレトモ當時大戰未タ其局ヲ結ハス國費多端ナルニ際シ故ラニ之ヲ減セシハ策ノ得タルモノニアラザルナリ西曆千八百五十五年ニ至リ稍シ僅々タル增稅ヲ議決シ同年五月株式及受取證書ノ記録稅ヲ再徵シ二百八十萬圓ノ收入ヲ得同年清酒ニ消費稅ヲ課シ五百八十四萬三千二百圓ノ收入ヲ増シ鐵道運送ニ十分一稅ヲ課シ旅行稅ヲ改正シテ五百萬八千圓ノ收入ヲ得其他西曆千八百十六年ノ法令ニ據リテ定メタル十分一ノ間稅ヲ負擔スル物品ニ暫時ナ期ニテ更ニ十分一稅ヲ重課シ二千四百十九萬八千八百圓ヲ得タリ由是觀之佛

國政府ハクソミヤ戰爭ノ初マリシヨリ一週年ヲ經過シタル後ニ租稅ヲ增加セシコト三千七百八十餘萬圓ナリ然レトモ其間郵便稅ノ減少アレハ純増加ハ凡三千四百六十萬圓ナリ然レトモ此増加ニ付キテハ二三ノ論難ヲ試ミサルヲ得サルモノアリ請フ之ヲ論ゼン

第一租稅ノ増加ハ戰爭ノ初マリシヨリ十五箇月乃至十八箇月ノ後ニ施行セラレ此間ノ費用ハ全ク公債ニテ仕拂ハレ利子ノ爲メ徒ニ費用ヲ増加セリ元來シリミヤ戰爭ハ突然ニ起リシモノニアラス其前兆アルヤ久シ故ニ戰爭前ヨリ租稅ヲ起シ之カ準備ヲ爲スノ猶豫アリシト雖モ戰爭既ニ起ルモ尙ホ之ヲ増加セス右ノ如キ遲延ヲ來スハ財政ノ不注意ト云ハサルヲ得ス

第二其増加ハ僅ニ歲入ノ六分ヨリ七分ノ間ニシテ未タ十分ナリト云フ能ハス

第三此増加ヲ保存セン時期短キニ過キタリ

元來戰爭ノ爲メニ起ル所ノ費用ハ其終ルニ及ヒテ直ニ消滅スルモノニアラス其間信用ヲ以テ買入レ又ハ注文ヲ爲シタル物件ノ代價ヲ戰爭終ルノ後ニ支拂ハサルヲ得ス又其間ニ起セシ公債ノ利子モ支拂ハサルヲ得スシテ兩三年ノ間ハ必ス非常費ノ支出ヲ免レス若シ戰爭後直ニ費用ノ減少スルヲ得ハ

勿論軍費ノ爲メ起シタル租税ハ之ヲ廢止スヘント雖モ此間ニ起セシ公債
 ハ之ヲ償却セサルヲ得ス又佛國當時ノ景況ノ如ク其後尙ホ公債ヲ増加スル
 ノ要アルニ於テハ其税ニシテ有害措ク能ハサルモノニアラサル以上ハ暫ク
 之ヲ存スト雖モ何ノ妨ケカ之アラザン然ルニ西曆千八百五十七年六月佛國政
 府ハ既ニ一千八十萬圓ヲ生スル第二ノ十分一税及四十萬圓ヲ生スル商業廣
 告税ヲ廢棄セリ然レトモ同時ニ動産即チ公債證書諸株券ノ受授ニ證印税ヲ
 課シ凡二百七十六萬圓ノ増税ヲ得シテ以テ純減少ハ凡八百四十四萬圓ナリ
 實ニ佛國カクリミヤ戰爭ノ爲メニ費セシ金高ハ重ニ公債ニ據リ其増税ヨリ
 生セシモノハ僅々四千萬圓内外ニシテ公債ヲ以テ支拂ヒシモノハ六億一千
 五百二十萬圓ノ巨額ニ達ス而シテ當時ノ増税ハ減税シタルモノヲ差引キ凡
 二千四百萬圓ナルニ由リ僅ニ戰爭ノ爲メニ起セシ公債ノ利子及之ニ關スル
 費用ヲ支辨スルニ足ルノ小額ニ止マルモノナリ當時佛國ノ財政ニシテ増税
 ナシ施行シ能ハサルモノヲラシメハ余輩亦何チカ云ハソ然ルニ實況決シテ然
 ラズ増税ノ事非常ニ困難ナラサルモノアリ若シ佛國政府ヲシテ西曆千八百
 五十四年ノ初メニ於テ同千八百五十五年ニ於テ施セシ所ノモノヲ爲サシメ
 郵便税ノ減少ヲ將來財政ノ寬裕ナル時ニ讓ラシメハ此等ハ財源ヨリ一箇年

凡六千萬圓ヲ得ルコト難カラス而シテ西曆千八百四十八年以來廢止セシ所
 ノ諸税ハ非常費ノ爲メ之ヲ回復スルコトヲ得ヘシ何トナレハ往日負擔セシ
 所ノ租税ハ之ヲ當時ニ負擔スルニ難カラサレハナリ(外ノ情況ハ變動セスト
 スレハ)即チ西曆千八百四十八年ニ廢止シタル鹽ノ十二分税ヲ復セハ二千四
 百四十萬圓ヲ得ヘシ地租ノ十七サンタームノ副税ヲ復セハ一千二百二十八萬
 圓ヲ得ヘシ西曆千八百五十二年三月ニ廢止シタル入市税ノ國庫收入ニ係ル
 者ヲ復セハ五百十九萬五千二百圓ヲ得ヘシ之ニ加フルニ西曆千八百五十七
 年ニ於テ設立シタル動産受授ノ税ヲ同千八百五十四年ニ設立セハ戰爭ノ初
 メヨリシテ二百七十六萬圓ヲ得ヘシ今此等ノ増税ヲ合算シ郵便税ヲ減少セ
 サレハ凡八千三百六十餘萬圓ヲ得之ヲ西曆千八百五十八年ノ歲尾迄保存ス
 レハ二億三千四百四十餘萬圓ヲ得ヘシ而シテ戰爭後ニ其増税ノ幾分ヲ廢止
 シ其幾分ヲ保存シ以テ戰爭費ノ未拂金ヲ支辨セハ額面八億八千餘萬圓ノ公
 債實收高六億一千四百餘萬圓ヲ起シ爲メニ二千八百四十餘萬圓ノ利付支拂
 ナ要セス只凡二億八千萬圓餘ノ實額ヲ借入レ毎年利子ノ爲メニ二千八百四
 十八萬圓ヲ拂フヲ要セス只一千六百萬乃至一千八百萬圓ニテ足レリ而シテ
 其増税ヲ爲ス固ヨリ名義ノ爭フヘカラサルモノアリ加フルニ既廢ノ者ヲ起

シ後ニ起セシ者ヲ前ニ起スノミニテ決シテ困難ト云フヲ得ス余輩ノ當時軍費ノ爲メニ回復セシト云ヒシ租税中有害ノモノナキニシモ非スト雖是初メクリミヤ戦争ノ數年前迄佛國人民ノ負擔セシ所ノモノニシテ全ク新稅ヲ起スモノニアラス非常ノ困難ヲ惹起スルノ恐キヤ敢テ疑テ容レサルナリ

クリミヤノ役佛國政府其財政ヲ誤ル斯ノ如シ今一步ヲ進メテ伊太利戰役中ノ佛國財政ヲ見ルニ更ニ一層ノ不齊ヲ見ル抑佛國政府ハ此役ニ於テ實額二億六百六十六萬七千五百五十圓餘ヲ借入レ公債ノ額面三億四千二百二十五萬四千二百餘圓ヲ増加シ利子支拂ノ爲メニ一千三百萬九千三百四十八圓ヲ増加セリ彼等ハ此實額ノ全額ヲ該戰爭ノ爲メニ使用セヌ土木ノ爲メニ費セシモノ擲カラスト雖伊太利戰爭ノ如キハ成ルヘキ丈ケハ租稅ヲ以テ其費用ヲ償フヲ要スルモノナリ何トナレハ該戰爭ヲ佛國後世ノ爲メニ利スル所甚ク少ケレハナリ元來非常ノ費用ヲ全ク租稅ニ徵スルハ固ヨリ爲シ能サル所ニシテ其幾分ハ之ヲ公債ニ取ラサルヘカラスト雖公債ヲ起スノ要アレハ之ニ先テ非常ニ不良ノ稅ニアラサル以上ハ增稅ヲ計ラサルヲ得ス然ルニ佛國政府ハ此役ニ於テ銳意增稅ヲ計ルノ舉アルヲ見ス却テ之ヲ減少セリ減稅ノコトタル固ヨリ美舉ナリト雖國費多端公債ヲ起サ、ルヲ得サルノ急アルニ當

リテ之ヲ行フハ策ノ得タルモノニアラサルナリ(減稅ノ爲メニ大ニ營業振起シ公債ノ元利ヲ數年ノ後ニ拂フハ舊稅ヲ保存シ又ハ其增率ヲ拂フヨリ容易ナルノ見込アレハ格別ナリ)抑佛國政府ハ當時西曆千八百五十九年六月價格付ノ郵便物ノ遞送稅ヲ課シテ二十萬圓ヲ得タリト雖モ同千八百六十年間稅ヲ減セシコト五千二百四十萬圓其二千三百六十萬圓ハ砂糖ニ減シ其八百二十四萬圓ハ珈琲ニ減シ(此二品ハ非常ノ費用ヲ支フルニハ最モ適當ナル稅ナリ何トナレハ此等ノ稅ハ他ニ影響スルコト多カラサレハナリ)同時ニ酒精稅ヲ増加シ九百十二萬圓ヲ得(酒精ハ諸製造品ノ原質トナリ又ハ學術上ノ使用多クシテ適當ノ被稅品ニアラス)煙草ニ一千三百二十萬圓ノ增稅アリシト雖モ未ダ前記ノ減少ヲ償フニ足ラス然リト雖モ是等ノ減少ハ西曆千八百六十年ノ英佛貿易條約ニ由ルモノニシテ已ムヲ得サルモノナルニ由リ暫ク不問ニ付セサルヲ得スト雖モ他ニ增稅ノ道ナキニアラサルナリ即チ戰爭ノ初メ西曆千八百五十七年ニ於テ廢止シタル記錄稅ノ第二ノ十分ノ一稅ヲ再興セハ一千八十萬圓ヲ得ヘシ同時ニ酒精稅及ヒ煙草稅ヲ増加セハ二千二百三十二萬圓西曆千八百五十年ニ廢止シタル地租ノ十七サナチムノ副稅ヲ復スレハ一千二百二十八萬圓ヲ得ヘシテ通計一箇年凡四千四百四十萬圓ヲ得ヘ

シ而シテ記録税ノ第二ノ十分一税及ヒ十七サノチームノ地租ノ副税ヲ兩三年モ保存セハ伊太利ノ役ニ於テモ凡實收高八千萬圓ノ公債ヲ起シ其費用ヲ辨償スルヲ得シナルヘシ加フルニ難コシリミヤノ役ニ於テ初メヨリ増税ヲ決行スレハ二千八百四十餘萬圓ノ利子支拂ヲ要セス之ヲ一千六百萬圓乃至一千八百萬圓ニ減少シ得タルノ實アレハ若シ彼ノ役ニ於テ財政其順序ヲ過マルコトナカリセハ此役ニ於テハ初メヨリ凡一千萬圓乃至一千二百萬圓ノ非常費ニ充ツヘキモアリ此役ニ公債ヲ慎マサルモ後世ニ之ト等シキ餘殃ヲ殘スヤ敢テ疑テ容レス公債募集ノ事豈ニ慎マサルヘケンヤ

佛國政府ハ非常ノ費用ヲ所辨スルカ爲メニ租税ト公債トノ併用スルノ方法ヲ採ラス伊太利戰爭ノ後ト雖モ屢々公債ヲ募集シ非常費ノ爲メ租税ノ増加ヲ計ラス西曆千八百六十二年以降普佛戰爭ニ至ルマテ前後三回其借入ノ實額凡五億三千三百萬圓額面凡六億千二百二十萬圓ニ達シ爲メノ利子支拂ヲ増加スルコト一千八百三十四萬二千四百六十八圓餘西曆千八百七十年以降同千八百八十六年ニ至ルマテ確定公債ヲ起セシコト前後五回其額二十八億九千六百八十餘萬圓利子六億七千六百萬圓ニ増加セリ右ノ外向ハ巨大ノ公債ヲ起セシト雖モ多シハ流動公債ノ塊集預金ノ支拂舊公債ノ借換事業ノ補助等

ニ係ルモノコシテ必スシモ費用ヲ増加スルモノニアラサレハ之ヲ省略スル實ニ是レ巨大ノ公債ニシテ佛國富強ナリト雖モ豈ニ之ヲ瑣少ノ數トスルヲ得ンヤ彼ノ普佛戰爭後ノ公債ノ如キハ西曆千八百八十六年ノ三億四千餘萬圓ノモノヲ除キ皆戰爭ノ爲メニ起ルモノコシテ當時租税負擔高モ一人ニ付キ三十六圓以上ニ昇リシヲ以テ實ニ止ムヲ得サルモノナリト雖モ戰爭前ノモノハ西曆千八百六十二年ノ一億千二百二十萬圓實收額ノ公債ヲ除クノ外大ニ負擔ヲ後世ニ殘セシモノト云フヘシ何トナレハ右ノ一億一千餘萬圓ノ公債ハ三十年期ノ公債ヲ永遠ノモノニ借換ヘシモノコシテ敢テ之カ爲メニ利子ノ負擔ヲ増加セシモノニアラサト雖モ他ノモノハ新ニ起セシモノコシテ當時ハ未ダ戰爭後ノ如ク租税ノ負擔極度ニ達セサレハ少シク之ヲ増加シテ借入額ヲ減少スルコトノ敢テ爲シ難キノ業ニアラサレハナリ

今顧ミテ當時ノ租税増減ノ景況ヲ見ルコ前年非常ノ減少ヲ決行セシニ拘ハラス西曆千八百六十一年更ニ問税三百四十一萬七千六百圓ヲ減少シ之ニ對スルノ増加ハ禁制品ノ輸入免許ヨリ生セシ所ノ百九十五萬二千圓ニシテ之ヲ以テ彼ノ減少ヲ償フコト能ハス西曆千八百六十二年同千八百六十三年ニ於テ公債元利仕拂ノ爲メ國帑急テ告ク記録税第二ノ十分一税ヲ復シテ一

千八十萬圓砂糖稅ヲ增加シテ一千八百八十九萬三千六百圓印紙稅ヨリ七百十七萬三千六百圓ヲ得シカ爲メ種々ノ計畫ヲ爲シ又車馬稅ヲ課シテ一百八萬圓ヲ得ント試ミタリ然レトモ同時營業稅ニ二十三萬一千二百圓營業ノ爲メニ使用スル鹽稅ニ於テ三百二十萬圓關稅並ニ郵便稅ハ八十萬圓ヲ減少シ差引純増加凡二千七百萬圓ヲ得タリ然ルニ西曆千八百六十四年佛國政府再ヒ減少ヲ行ヒ馬稅ハ之ヲ縣稅トシ記錄稅第二ノ十分一稅ヲ廢シ公文ノ郵便稅ヲ減シ加フルニ伊太利トノ貿易條約ニ由リテ關稅若干ヲ減少シ總減少七百十萬圓ニ達シ增加ハ該年中印紙稅ヲ以テ最トシ總增加額二百萬圓ヲ得タリ然リト雖モ未ダ減少ノ三分ノ一ヲモ償フコト能ハサルナリ

由是觀之佛國政府ハ非常費支辨ノ爲メニ重ニ公債ヲ募集シ未ダ曾テ之カ爲メ租稅ヲ增加シ後世ノ負擔ヲ輕クスルノ策ヲ取ラサルモノト云フヘシ抑減稅ノ事タル財政ノ一大美舉ナリト雖モ一方ニ公債ヲ起スノ急アラハ苟モ其稅ニシテ有害措クヘカヲサレモノヲラサル以上ハ暫ク之ヲ保存シ後世ノ爲メ公債元利支拂ノ義務ヲ減少セサレハ後世ノ財政大ニ害ヲ受クルハ數ノ免レサル所ノモノナリ豈ニ慎マサルヘケンヤ

公債ノ募集ヲ慎マサルヲ得サル夫レ斯ノ如シ然リト雖モ非常ノ費用ハ到底

租稅ノミナ以テ之ヲ辨スル能ハス公債ヲ起サ、ルヲ得サルハ既ニ說ク所ノ如シ然ルニ一國非常ノ困難ニ陥リ外國ニ非常ノ巨額ヲ拂ハサル可ラサル等ノ事アレハ一時非常稅ヲ徵シ之ニ應セサルヘカラストノ論ヲ主唱スルモノ少カラス即チ佛國ノ西曆千八百七十年ノ敗後當時ノ國會議員ナルラツウー及ヒフヒリボトーノ二氏ノ如キハ大ニ此說ヲ主唱シ偶與論ノ贊成スル所トナリテ一時頗ル勢力ヲ得タリ彼等ノ說ニ曰ク佛國人民ハ普國ニ二十億圓ヲ拂ハサルヲ得ス而シテ佛國人民ノ財產ハ四百億圓ニ下ラサルヘシ故ニ舊發シテ一時ニ其二十分ノ一ヲ拂ヘハ公債ヲ起シ此債金ヲ支拂ヒ其元利支拂ノ爲メ種々ノ租稅ヲ起シ永ク營業ヲ苦ムルヨリ造ニ上策ナルヘシ而シテ非常稅ヲ施行セハ人々大ニ節儉心ヲ起シ其初メ失フ所ノモノハ速ニ之ヲ回復スルコトヲ得ヘシト此類ノ說ハ人民ノ財產ハ皆現金ニテアルモノト妄想セシモノニシテ決シテ實際行ハレサル所ノモノナリ元來世ニ至難ナルノ業甚ク多シト雖モ完全無缺ノ稅法ヲ設クルカ如キハ實ニ至難中ノ至難ナルモノニシテ實際上租稅ニ不公平アルハ決シテ免ル、能ハサル所ノモノナリ幸ニシテ賦歛重カラサレハ一種ノ稅ノ不當ニ輕キハ他種ノ稅ノ不當ニ輕キニ由リテ償ハレ多少ノ不公平アルモ尙ホ或ハ忍ブヘシト雖モ佛國當時ノ場合ノ

如ク二十億圓ノ巨額ヲ要シ之ヲ單稅トシテ資本若クハ所得ニ徵集スルニ於テハ殊ニ非常ノ不便且ツ不公平アルヲ免レヌ(ボリユー)氏財政論中租稅論ノ篇單稅ノ部ヲ見ルヘシ)抑人民各箇ノ財政調査ハ多少假定ノ方法ニ據ラサルヲ得ズ而シテ人民ノ財產ハ意外ニ種類多ク且ツ大小アルモノナレハ調査上遺漏誤謬隱蔽等ナキ能ハス或ハ檢稅ノ方法嚴シク失シ苛征ノ弊ナキヲ保セテ或ハ寬シク失シ財產ノ一部租稅ヲ免ル、モノナシトセス良シ想像ヲ以テ人民各箇ノ財產ヲ細密ニ査定スルヲ得テ非常ニ實際ト齟齬スルコトナシトスルモ租稅ヲ以テ巨額ノ金額ヲ徵收スルハ收入甚ク遲鈍ナルモノニシテ急速ノ間ニ合フコト能ハサルノ恐ナキヲ得サルナリ

然リ而シテ人民ノ財產タル貨幣ニテ積立アルモノニアラス多クハ他ノ動産不動産ヨリ成立シ唯貨幣ノ名稱ヲ借りテ之ヲ計算スルニ過キス殊ニ不動産ノ如キハ急ニ之ヲ貨幣ニ變換スルコト難シ唯想像ヲ以テ其價格ヲ計算シ直ニ其五分ヲ租稅トシテ支拂フヘシト命スレハ被稅者ハ之ニ從フヲ欲セサルハ勿論假令之ニ從フント欲スルモ之ヲ爲スコト能ハス強ヒテ之ニ從ハシメント欲セハ人民ハ租稅ヲ以テ公債ノ利子ヲ支拂フヨリ却テ高キ割合ニテ他ヨリ金員ヲ借入レサルヲ得サルヘシ果シテ然ラハ方今佛國ノ景況ヲ以テ之

ヲ論スレハ人民ノ三分ノ二ハ負債ノ爲メニ大ニ苦ミ百般事業ノ發達ヲ障害スヘシ斯ノ如ク強ヒテ非常ノ費用ヲ租稅ニ徵セハ緩急ヲ區別スル能ハス急ナル者ヲシテ急ニ告ケ緩ナル者ハ急ナル者ノ膏血ヲ絞リ益緩ナルヲ得ルノ效驗ナキヲ保セス之ニ反シテ若シ其幾分ヲ公債ニ取レハ一時緩ナル者ヨリ出ツル者多シ經濟ノ順序ヲ紊亂スルコト少カルヘシ而シテ方今歐米各國ノ際ニハ資本ノ流通甚ク容易ナレハ外國ノ資本ヲ借リテ一時ノ急ヲ辨スルハ又容易ノ業ナルニ由リ強ヒテ巨大ノ租稅ヲ徵シ國民ヲシテ此極ニ陥ラシムルハ決シテ策ノ得タルモノニアラサルナリ若シ又事非常ニ急ナレハ銀行ノ組合ヲ立テ急ニ其資本ヲ借入レ暫時之ヲシテ不換紙幣ヲ發行セシムルモ其方法ノ宜シキヲ得ハ未ダ以テ國家ノ經濟ヲ混亂スルニ至ラサルヘシ固ヨリ斯ノ如キハ所謂非常手段ナルモノニシテ決シテ容易ニ之ヲ用フヘキモノニアラスト雖モ特ニ或ハ之ヲ爲スノ要ナシトセス公債ノ募集ハ元利ノ支拂ニ由リ幾分カ租稅増加シ營業上ノ障礙ヲ來タスノ傾向アリト雖モ之ヲ一時佛國ノ西曆千八百七十年ノ敗後ノ如ク二十億圓ノ巨額ヲ要スルカ如キ場合ニ於テ國民一般ノ資本ニ五分ノ稅ヲ課スルカ如キ方法ト比較セハ其害タル實ニ僅々タルモノナレヘシ

以上説ク所ノモノハ重ニ戰爭其他非常費ノ支辨ニ付キ之ヲ論セリト雖モ土木等ノ爲メニ要スル費用ノ支辨モ亦之ト異ナルコトナシ元來政府ニ於テ有益ナル土木ニ著手シ時ニ或ハ國庫ヲ開キテ之ヲ助クルハ決シテ無益ノ業ニアラサルナリ唯不急或ハ過當ノ弊ニ陷ラサルヲ力ムルノ要アルノミ有益ノ土木ハ一國生産ノ發達ヲ促シ其利益ハ公債ノ一時流動資本ヲ減少スルノ害ヨリ多シ殊ニ外債ヲ以テ之ヲ爲セハ此不便アルコトナシ濠洲殖民地ノ公債ノ如キハ皆土木ノ爲メニ起セシモノナリ歐洲諸國ト雖モ土木ノ爲メニ公債ヲ起スコト甚々多シ若シ海陸運送等ノ便ヲ開カント欲シ其費用ヲ租稅ニミ徵セハ其進歩甚々遅ク富ノ發達隨テ遲延スヘシ國家ノ進歩ヲ促スノ事業ハ其業ニシテ苟モ時勢ニ適スルニ於テハ公債ヲ起シ其費用ヲ内外人民ノ遊金ヨリ取ルヲ良シトス果シテ然ラハ資本家ハ其資本ノ用途ヲ得人民ノ被稅力ハ此業ヨリ増加シ後年ニ至リ敢テ元利支拂ノ爲メニ痛痒ヲ感セス之ヲ拂ヒ盡スノ後ハ夫ヨリ出ツル所ノ利益ハ之ヲ全收スルヲ得ヘシ其事ニシテ其當ヲ得ハ公債ヲ募集シテ之ヲ起ス何ノ不可カ之レアララシト雖其業ニシテ其當ヲ得サレハ之カ爲メニ起セシ眞實ノ資本即チ勞力者ノ就業中衣食住ノ爲メニ消費セシ者其事ノ爲メニ消費セシ材料等ハ徒ニ消費ニ歸シ他ノ有

益ナル事ノ爲メニ其程ノ資本勞力ヲ減少シ其程物價ノ騰貴ヲ來スヘシ又或ハ資本勞力減少ノ割合ヨリ一層物價ヲ高クスルコトナキヲ得ス何トナレハ此公債ニ由テ貨幣流通高チ増加スルナキヲ保セサレハナリ加フルニ此公債元利支拂ノ爲メニ費用ヲ要シ租稅増加スルノ傾向アリ果シテ然ラハ人民ハ一方ニ於テ物價ノ騰貴ニ苦ミ一方ニ於テハ租稅ノ増加ニ遭遇シ一ノ活路ヲ得ル能ハス進退茲ニ谷リ狼狽措ク能ハス國富ノ發達得テ望ムヘカラサルナリ願テ債主ノ地位ヲ見ルニ彼等ハ其業ノ成否ニ關係セズ元利ノ支拂ヲ受クヘキニ由リ其成贖如何ハ敢テ彼等ノ利害ニ關係セサルモノ、如シト雖モ公債其目的ヲ達セス徒ニ物價ヲ騰貴シ租稅ヲ増加スルニ於テハ外國債主ニアラサル以上ハ消費者及ヒ被稅者トシテ應分ノ損失ヲ被ラサルヲ得ス甚シキニ至テハ元利共ニ失フノ恐ナキニアラサナリ現ニ土耳其埃及ニ貸付ケタル者ノ實蹟其他之ヲ表スルノ例實ニ甚カラス若シ不幸コシテ斯ノ如キ事アラハ債主ハ其財ヲ失ヒ政府即チ負債主ハ財ハ勿論名譽マテモ之ヲ亡ヒ其禍實ニ止マル所ヲ知ラス勿論事ニ大小ノ別アリ幸ニ事小ナレハ禍亦隨テ大ナラズト雖モ大小ニ拘ラス禍害ハ即チ禍害損失ハ即チ損失ナレハ決シテ忽ニスヘカラサルナリ若シ租稅ヲ以テ事ヲ誤ラハ一時ノ禍害ニ止マルヘシト雖モ公債

ナ以テ事ヲ誤ルニ於テハ禍ヲ後世ニ傳フル斯ノ如シ豈ニ慎マサルヘケンヤ
 然リト雖モ是レ唯公債其目的ヲ誤リシモノ、結果ナリ公債必スシモ目的ヲ
 過マルモノニアラサルナリ然ルニ世上漫ニ英國ノ例ヲ引キ直接間接ニ政府
 カ一國土木ノ事ニ關スルヲ批難スル者尠カラス勿論彼等ノ論スルカ如ク政
 府大ニ土木ヲ起シ民業ト競争シ或ハ政府過當ニ之ヲ起シ民業ノ創立ヲ妨ク
 ルカ如キハ固ヨリ爲スヘキノ事ニアラスト雖モ英國ノ例ヲ以テ未タ遂ニ之
 ナ他國ニ推スコト能ハス英國ハ四海ノ富國其人民ノ活潑ニシテ進取ノ氣象
 ニ富ムハ大ニ他國ノ羨望スル所ナリ而シテ英國島嶼ニ位シ歐洲大陸諸國ノ
 如ク兵備ヲ厚クスルノ要多カラス隨テ賦歛重カラス民力餘裕アリ故ニ土木
 ノ業ト雖モ全ク之ヲ民業ニ放任スルヲ得ルノ便アリ他國ニ於テハ即チ然ラ
 ス其富英國ニ及ハス(北米合衆國ヲ除キ)其人民「アングロ、サクソン」種族即チ
 英國人民ノ如ク進取ノ氣象ニ富マス故ニ直接若クハ間接ニ政府之ヲ誘導ス
 ル所ナキヲ得ス彼ノ英人ト雖モ決シテ土木等ノ爲メニ負債ヲ起サ、ルニア
 ラス其中央政府ニ於テハ之ナシト雖モ地方政府ニ於テハ土木等文事ノ爲メ
 ニ負債ヲ起サ、ルモノ殆ト稀ナリ即チ西曆千八百六十七年同千八百六十八年
 ニ掛ケテハ凡一億萬圓ノ負債ヲ有シ西曆千八百七十一年同千八百七十二

ニ跨リテハ少シク減少シテ凡六千萬圓トナリシト雖モ西曆千八百七十二
 年同千八百七十三年ニ亘リ増シテ六千八百餘萬圓トナリ西曆千八百七十三年
 同千八百七十四年ニ亘リ更ニ増加シテ八千二百餘萬圓トナレリ此等ノ負債
 ハ多ク之ヲ土木ノ爲メニ起セシモノナリ而シテ英國ニ於テハ中央政府ヨリ
 地方政府ニ貸付ヲ爲スコトアリ此内又土木等ノ爲メニ使用セララル、モノ少
 シトセヌ由是觀之英國ト雖モ土木等有益ノ事業ノ爲メ公債ヲ起サスト云フ
 ナ得ス北米合衆國、印度、濠斯地利、加奈多、喜望峯殖民地ノ如キハ英國ト同種族
 ナル「アングロ、サクソン」種族相集リテ國ヲ爲スト雖モ國ニ新舊ノ別アレ
 ハ資本勢力其景況ヲ異ニシ隨テ經濟ノ情況ナニセス是等ノ國ニ於テハ土
 木ノ爲メニ公債ヲ起シ或ハ其他ノ方法ニ據リテ其發達ヲ助ケシ例少カラズ
 即チ米國政府カ「パシフィック」鐵道線路ニ當ル官有地ヲ無代價ニテ會社ニ與
 ヘシカ如キハ(線路ノ左右十英里ヲ與フ)毫モ金員ノ補助ト異ナルコトナシ印
 度ノ公債ハ西曆千八百七十三年ニハ凡十二億七百萬圓ニ達セリ是レ重ニ土
 木ノ爲メニ起スモノナリ同年濠斯地利ノ公債ハ凡四億二千六百萬圓ニ達シ
 皆土木等文事ノ爲メニ起セシモノナリ而シテ印度、濠洲ノ發達ハ此公債ニ成
 ルモノナルハ皆世人ノ知ル所ナリ

由是觀之公債ヲ起シテ土木等文事ニ從事スルモ其業時ト所トニ適當スルニ於テハ決シテ不可ナルコトナク租稅ノミヲ以テ爲シ得サル事ヲモ之ヲ爲スヲ得テ大ニ後世ニ餘惠ヲ遺スモノナキコアラズ然レトモ茲ニ最モ注意ヲ促スハ一國モ一箇人ノ如ク驕奢ニ流ル、ノ弊ヲ免レス或ハ一國ハ一箇人ヨリモ之ニ陷リ易キノ實アルコト是ナリ何トナレハ一箇人ハ驕奢ノ效驗ヲ感スルコト甚ク適切ナリト雖モ政府ニ於テハ然ラス其痛痒ヲ感スルコト一箇人ノ如ク甚クカラサレハナリ而シテ公債ハ現在ニ負擔ヲ増加スルコト租稅ノ如ク多カラス政府或ハ大工事ヲ起シテ其當時ヲ修飾スルカ如キコトナキヲ保シ難シナガレオン第三世ノ爲ス所或ハ之ニ近キコトナシト云ヒ難シ且ツ租稅ヲ以テ之ヲ爲スモ公債ヲ以テ之ヲ爲スモ一時ニ大事業ヲ起スコトアレハ忽チ不動資本ト流動資本トノ關係ヲ亂シ貨幣市場ノ激動ヲ惹起スコトナキヲ保セサレハ有益ノ事業ニシテ差措キ難キモノト雖モ劇ニ巨大ノ工事等ヲ起スハ決シテ策ノ得タルモノニアラス徐々トシテ其歩ヲ進ムルヲ良シトス(兵事政畧等ニ係ルモノハ格別ナリ)之ヲ經營スルハ宜シク半ハ資ヲ租稅ニ取り半ハ之ヲ公債ニ取ルヘキナリ果シテ然ラハ財政調和シテ利益ヲ後世ニ遺ス蓋シ僅少ニアラサルヘシ

以上説ク所ノモノヲ以テ之ヲ觀レハ文武ノ事業ニ就キ公債ヲ起スハ財政上ノ一策ニシテ時ニ由リ所ニ由リ之ヲ施行スルハ決シテ失當ノ策ニアラサルナリ然レトモ公債募集ノ事タル其濫用最モ容易ニシテ後世子孫ニ煩ヲ遺スコト既ニ陳述ノ如クナレハ最モ慎ムヘク租稅ノ増加ノ如キモ前陳ノ困難ニレハ決シテ之ヲ忽諸ニ付スヘカラス凡文武ノ事件ニシテ非常ノ費用ヲ要スルモノアレハ其費用ヲ租稅公債ノ二者ニ取ラサルヲ得ス其之ヲ租稅ニノミ取り或ハ之ヲ公債ニノミ取ルヘシト云フカ如キハ皆偏見僻說固ヨリ取ルニ足ラサルナリ故ニ苟モ非常ノ事件アルニ際セハ須ラク此二者ヲ以テ財政ヲ調理セサルヲ得サルナリ豈ニ他ニ奇策妙計ノ存スルモノアラソヤ

第六章 公債ノ區分並ニ各種公債ノ得失

第一款 公債ノ區分

公債ノ區分ニ性質上ノ區分アリ形容上ノ區分アリ今性質ヲ以テ區分スレハ強募法、任意法、契約法ノ三種トス任意法ハ之ヲ分チテ二種トス曰ク愛國公債曰ク普通公債契約法ハ之ヲ分チテ二種トス曰ク支給若クハ支拂約束曰ク特別借入又形容ヲ以テ之ヲ區分スレハ確定公債、流動公債及年金ノ三種トス而シテ確定公債中永遠公債、有期隨時支拂法、有期定期支拂法及有期一時支拂法ヲ含有シ流動公債中短期公債、預金等アリ年金中一生年金、有期年金アリ請フ詳ニ其區分ノアル所ヲ陳述セン

強募法トハ國家非常ノ費用ヲ要スルニ際シ政府ノ威力ヲ用ヒ強テ人民ニ貸付ヲ命スルモノコソナク恰モ昔日ノ御用金ヲ政府ノ借入ト爲スカ如キモノナレハ到底此方法ヲ以テ政府必要ノ金額ヲ徵スル能ハサルナリ任意法ハ敢テ強迫ヲ用ヒスト雖モ愛國公債ノ如キハ人民ノ愛國心ニ訴ヘ幾分カ低利ヲ以

テ負債ヲ起サント欲スルモノナリ是レ類ミ難キノ情誼ヲ類ミ據ルヘキノ根據ヲ得サルモノナレハ決シテ此方法ヲ以テ巨額ヲ得ル能ハサルナリ獨リ普通公債ニ至リテハ強迫ヲ用ヒス情誼ニ訴ヘス只内外人民ノ利益ニ訴ヘ利子歩合ハ此ノ如シ元金償還ノ方法ハ此ノ如シ依リテ之ヲ利トスル者ハ募リニ應スヘシト天下ニ公言スルモノナレハ苟モ政府ニシテ普通ノ信用ヲ保チ利子歩合ニシテ市場ノ歩合ヨリ低カラス募集價格不當ニ高カラス償還ノ方法其宜シキヲ失セザレハ内外ノ人民之ニ應セサルノ理ナシ是レ專ラ諸國ニ於テ普通公債ノ行ハル、所以ニシテ前陳ニ方法即チ強募法及愛國公債ノ如キハ方今開明國ニ於テ其跡ヲ滅シ復タ其用アルヲ見サルナリ

契約法トハ政府カ定期中又ハ無定期ニ支拂若クハ支給ヲ約束スルモノコソナク政府發行ノ紙幣會社又ハ一箇人ニ若干年間ヲ約シ又ハ事情ヲ限リ與フル所ノ補給金又ハ恩給年金ノ如キモノナリ是等ノ費用ハ其形ニ於テハ公債ノ如クナラス又之ヲ公債費トセハ所轄廳ノ費用ニ編入スルコトヲ得ヘシト雖モ契約一度成リ若干年間若クハ生涯補給金又ハ恩給金ヲ支給スルコトヲ定ムレハ即チ受給者ハ政府ニ對シ約束ノ高チ請求スルヲ得ヘク是レ政府ノ爲メニハ負債タルヲ免レス支拂約束ハ政府發行ノ兌換若クハ不換紙幣ナリ元

來紙幣ハ發行者ノ約束手形ニシテ兌換質ノモノナレハ請求次第不換ナレハ或未來ノ時ニ於テ之ヲ支拂ハサルヲ得ス故ニ政府紙幣ハ負債ノ一部分タルヲ免レサルナリ特別借入トハ政府公然公債證書ヲ發行セス特ニ銀行其他ノ資本家ト契約ヲ爲シ利子歩合償還年限等ヲ定メテ借入ル、モノナリ故ニ此類ノ借入ハ隱密公債ノ名アリ然レトモ故ラニ之ヲ秘スルニアラス只天下ニ廣告シ廣シ公衆ヨリ資金ヲ募集セサルノミ立法部ノ承諾ヲ受クヘキハ勿論ノコトナリ

確定公債トハ法律ヲ以テ其募集額ヲ定メ或ハ其償却ヲ永遠ニ期シ或ハ法律ヲ以テ其償還期限ヲ定メ其元金額ノ確定スルモノヲ云フ此類ノ公債中永遠公債トハ豫メ元金償還ノ年月ヲ定メス政府財政ノ寬裕ナルヲ待テ隨時償還ヲ行フモノナリ例ヘハ募集ノ年ヨリ五年間ハ之ヲ償還セス六年目ヨリ隨時財政ノ都合ニ依リ之ヲ償還スルト定ムルカ如シ是レ英佛等ノ如キ信用ノ厚キ國ニ於テ最モ多ク行ハル、所ノモノナリ元來公債證書ハ買賣自由ノ購取ナルヲ以テ債主ニ於テ資金ヲ要スルトキハ何時ニテモ之ヲ賣却スルヲ得ヘク又公債證書ハ貯蓄ノ爲メニ之ヲ有スル者多キカ故ニ屢償還セラル、ハ却テ不便ナルニ由リ開明國ニ於テ此類ノ公債ノ行ハル、ハ又以テ怪ムニ足フ

ナルナリ

有期隨時支拂法トハ豫メ償還末期ヲ定ムト雖モ償還年額ヲ定メス末期マノニ何時ニテモ財政ノ緩急ヲ計リ元金ヲ償却シ末期コハ必ス金額ヲ償還スヘシト約スルモノナリ例ヘハ整理公債ノ償還期限ヲ同條例第九條ニテ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置其翌年ヨリ向フ五十箇年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノト定メタルカ如キハ則チ此法ノ適例トス其他我國ノ公債ハ概ス此法ニ據ルモノトス北米合衆國ノ諸公債モ亦概ス此法ニ據ル

有期定期支拂法ハ募集ノ時償還年限ハ勿論償還ノ年額ヲ定メ通例元利成崩法即チ前年ニ若干額ヲ償還セシヨリ生スル利子ノ餘裕金ヲ其年ノ償還金ニ加ヘ漸次ニ元金償還ノ額ヲ増加シ年限中ニ償還ヲ了スルモノナリ即チ此法ニ據レハ募集ノ時償還表ヲ調製シ嚴ニ之ヲ執行スルモノナリ故ニ償還ハ年額ヨリ多キコト能ハス又少キコト能ハス頗ル變通ノ便ヲ缺クモノトス土耳古埃及等ノ如ク信用薄キ國ヘ貸付シルトキハ重ニ此方法ヲ用フ

有期一時支拂法ハ豫メ償還年限ヲ定メ其期限ニ至リ一時ニ之ヲ償還スルモノナリ故ニ巨額ノ公債ハ到底此法ニ據ルヲ得ス唯至極小額ノ公債ニ適用スルヲ得ルノミ

流動公債トハ其額確定セス外面ノ情況ニ據リ變動スルモノナリ大藏省證券大藏省預金局ノ預リ金返信省郵便局ノ爲換貯金ノ如キ即チ是ナリ大藏省證券ノ歳入ニ先チ歳出ヲ要スルトキ未來ノ收入ヲ以テ償還ヲ豫期セ一時歳入不足ヲ補フモノニシテ短期ノ公債ニ外ナラス而シテ其素質此ノ如キモノナレハ歳出歳入ニ伴ヒ一時ノ不足少ケレハ之ヲ發行スルノ要亦少ク之ニ反シテ歳入其時ヲ失ヒ或ハ歳出ヲ要スルコト付テ豫期セヨリ速ナル等ノコトアレハ勢其高チ増加セサルヲ得ス其増減ハ外物ノ變動ニ從フモノニシテ政府自ラ其額ヲ定ムルコト能ハサル所ノモノナリ各種ノ預金ニ於テモ亦然リ其増減ハ利子歩合チ増減セテ少シク之ヲ左右スルヲ得ヘシト雖モ政府カ安ニ預金ノ利子チ増減シテ民立ノ貯藏銀行ト競争スルカ如キ結果ヲ生スルハ固ヨリ策ノ得タルモノニアラス其増減ハ到底市場ノ景況ニ從ヒ預ケ人ノ意ト其經濟上ノ情況ニ任セサルヲ得ス政府ノ意チ以テ之ヲ左右スル能ハサルナリ即チ商業沈滞細民職ヲ失ヒ租税ノ收入隨テ減少シ政府融通チ預金ニ取ラシトスルニ際シテハ却テ引出ノ請求多ク百業活潑租税ノ收入増加シ政府融通ニ苦マサルニ際シテハ却テ其高チ増加ス是レ流動公債特殊ノ性質ニシテ世ノ認メテ以テ之ヲ危險トスル所以ナリ然レトモ流動公債ハ財政ノ要具

ニシテ決シテ之ヲ廢止スルヲ得ス其效用及ヒ取扱方法ヲ如キハ大ニ論究スヘキモノナリ
 年金トハ政府若干ノ金額ヲ借入レ債主ニ對シ利子ト元金トチ區別シテ支拂ハス元利ヲ込メタル金高チ年賦コト支拂フコトチ約束スルモノナリ例ハ三十年ノ年金ナレハ第一年ニハ元金ノ三十分一ト元金全額ニ係ル利子チ合セタル金額チ支拂ヒ第二年ニハ元金ノ三十分一ト既ニ前年ニ於テ一年分ノ元金チ償還セシチ以テ其元金全額ヨリ其高チ差引キタル殘高ニ係ル利子チ合セタル金員第三年ニハ年金三十分一ト其全額ヨリ二年間ノ償還高チ差引キタルモノニ係ル利子チ合セテ支拂ヒ漸次此順序ニテ年限マテ元利チ支拂フモノナリ然レトモ實際ハ年額ニ差違アリテハ債主ニ不便ナルヲ以テ右ノ如ク年々支拂フヘキ高チ算出シ之ヲ合シ其總高チ年金ノ年數コト除シ毎年同額チ債主ヘ支拂フモノトス或ハ五圓若シハ十圓ト云フカ如キ計算ニ容易ナル高チ年賦金ノ高トシ利子歩合年限チ計算シ之ニ應スルノ元金チ拂込マシムルモノアリ方今諸國ニ於テ年金チ算スルニ多ク此第二ノ方法チ用フ一生年金ハ請求者ノ年齢ニ從ヒ生命保險會社ノ生命調ニ據リ例ハ三十歳ノ者ナレハ三十年四十歳ノ者ナレハ二十年生存スヘシト豫定シ年金ノ額チ

定ム故ニ長命ハ政府ノ支出ヲ増シ短命ハ之ヲ減ス是レ已ムヲ得ナルノ數ナリ年金ノ方法斯ノ如キモノナレハ小額ノ資本ヲ以テ定數年限中最大ノ收入ヲ得ント欲スル者又ハ老後餘年ノ逸樂ヲ求メント欲スル者ノ爲メ甚ク便利ニ且ツ財政上ニ於テモ大ニ利用スヘキ所ノモノアリ其效用ノ如キハ後詳一之ヲ論究スル所アルヘシ有期年金ハ其年限中其所持人ニ年金ヲ支拂フモノナレハ年限中所持人死亡スレハ其相續人ニ於テ年金ヲ受取ルコトヲ得ヘシ又賣買讓與スルコトヲ得ヘキモノナリ

第二款 各種公債ノ得失

公債ノ區分ニ付キテハ前款ニ於テ之ヲ詳悉セリ請フ今一步ヲ進メテ其得失ヲ論究セン抑政府ハ國中ニ於テ最大ノ勢力ヲ有シ特ニ人民ノ財産ニ付キ未ダ以テ十分ト云ヒ難シト雖モ租據ルヘキノ記録ヲ有スルモノナレハ之ヲ濫用シテ強募法ヲ試ミシコト少カラズ(方今ハ斯カル無法ノ事ナケレトモ往時ハ隨分行ハレタリ)斯ノ如キ公債ハ之ヲ非常強迫稅ト云フト雖モ或ハ不可ノルコトナカランカ何トナレハ此二者ハ甘シテ之ニ應スル者ナシ其之ニ應

スルハ勢抗拒スル能ハサルニ出ツレハナリ然リト雖モ此二者ノ間自ラ差異ナキニアラス強迫借入ニ於テハ通例利子ハ市場相當ノモノヨリ低シト雖モ尙ホ多少ハ之ヲ得ヘシ元金ハ固ヨリ政府ニ於テ拂戻スノ義務アリ而シテ尙書ハ通常公債ト等シク付與セラル、カ故ニ債主ニ於テ之ヲ賣却スルコトヲ得ヘシ然ルニ租稅ハ一度之ヲ納ムレハ決シテ歸ルコトナシ故ニ強募公債ノ無法ハ則チ無法ナリト雖モ強迫租稅ニ比スレハ尙ホ或ハ忍フヘキモノアラソカ

元來強募法ニ二種アリ

第一 政府カ非常ノ費用ヲ要スルトキ其假定シタル國民各箇ノ財産ニ割合貨付ヲ請求スルコト

第二 人民カ政府ニ物品ヲ供給シ若クハ政府カ人民ニ損害ヲ辨償スルトキ若クハ其他ノ原因ニ依リ政府カ人民ニ支拂ヲ要スルトキ現金ニテ支拂ハス公債證書ヲ付與スルコト

強募法ハ往時屢ニ非常費ヲ得ンカ爲メ又ハ負債辨償ノ爲メニ實施セラレシ所ノモノナリ抑此等ノ方法ハ正道ヨリ論スレハ勿論便宜上ヨリ論スルモ決シテ宜シキヲ得タルモノニアラサルナリ其最モ不良トスル所ノモノハ政府公

平ニ借入高キ人民所有ノ財産ニ割付シルノ方法ナキト其收入ノ速ナクステ急速ノ需用ニ應シ難キコト是ナリ時トシテハ政府ハ先ツ各府縣ヨリ出タスヘキ高キ定メ之ヲ府縣ニ付シ府縣ハ之ヲ郡ニ付シ郡ハ之ヲ其管内市町村ニ付シ市町村ハ之ヲ各人ニ付シテ各人ノ出タス所ノ高キ定メシコトアリ時トシテハ政府直ニ各人ノ拂フ所ノ直税ノ歩合増ニテ之ヲ募集シ又時トシテハ國中最も富裕ノ閑アリテ最も巨額ノ租税ヲ拂フ地方ヲ撰拔シ其通常ノ租税ヲ免レ之ニ出金ヲ命セシコトアリ是等ノ方法ハ其共ニ不公平コシテ且ツ不便ヲ免レスト雖モ第三ノ方法ニ於テハ其最も甚シキモノト云ハサルヲ得サルナリ而シテ其不公平コシテ且ツ不便ナルモノハ此方法ニ存スルモノナレハ此方法ヲ施行スル以上ハ決シテ之ヲ免レサルナリ請フ少シシ之ヲ辯セシ今數歩ヲ譲リ政府詳ニ各人民ノ財産ヲ知ルヲ得ルト假定セヨ果シテ然ラハ公平ニ募集高キ財産ニ割付シルコトヲ得ルヤ否ナ決シテ然ラサルナリ元來財産ハ其性質千差萬別コシテ同額ノ財産ト雖モ決シテ其被稅力ヲ等クセス隨テ公債募集ニ應スルノ力ヲ同クセス此差異アルニ拘ハラス元高同額ノ財産ヨリ同額ノ金員ヲ募集セントセハ非常ノ困難ヲ免レサルナリ今國民財産ノ景況ヲ見ルニ某ハ其財産ノ大部ハ不動産ナルアリ某ハ其財産ヲ擧ケテ長

期ノ業ニ使用スルアリ然ルニ格別ニ富裕ナルニアラサレトモ其財産ハ重ニ内外公債證書又ハ銀行預ケ金等ヨリ成立スルモノ掛カラス然ラハ同額ノ財産ニ同比例ヲ以テ金員ヲ募集スルト雖モ第一第二ノ者コハ重ク第三ノ者ハ割合ニ重カラサルヘシ第一第二ノ者ハ或ハ其業ヲ失フコ至ルモ計リ難カルヘシ實ニ是レ強募法ノ不便ナリ抑此ノ方法ハ緩急ヲ區別シテ遊金ヨリ非常ノ費用ヲ償フコト能ハス之ヲ極度ニ推ストキハ出金者多クハ之カ爲メ負債ヲ起サ、ルヲ得サルヘシ而シテ債主ハ負債主ノ必ス其金員ヲ要スルノ實アルヲ知ルヲ以テ非常ノ高利ヲ貪ルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ斯ノ如キ不公平且ツ不便アレハ此方法ハ大ニ民心ニ背戾シ入金急速ナラス其高豫期ノ願ニ違セス政府ニ於テモ共ニ不便ヲ免レサルヘシ加フルニ人民カ其方法ノ廢止ヲ望ミ種々其施行ヲ妨ケ或ハ隱蔽甚シク種々ノ不便ヲ免レサルヘシ然ラハ則チ政府人民ノ財産ヲ區別シテ各其種類ニ據リ貸付ノ比例ヲ定メソカ財産ノ總高ヲ知ルコト既ニ難シ何ソ其種類ヲ詳ニスルヲ得ソ斯ノ如キハ到底爲シ得ヘキノ業ニアラサルナリ畢竟スルニ此方法ハ害アリテ益ナキモノト云ハサルヲ得ス然リト雖モ往時諸國ニ於テ此方法ニ據リテ非常ノ費用ヲ辨セントセシ例少カラス請フ之ヲ左ニ陳述セン

往時佛國ニ於テ強募法ヲ以テ金員ヲ募集セシ例少カラズ澳地利及西班牙ニ於テモ亦屢此方法ヲ用ヒタリ佛國ニ於テハ西曆千七百九十三年此方法ニ據リ四億圓ヲ募集セントセシニ人民大ニ之ニ抗シ數月ヲ閱ミスルノ後稍クニシテ四千萬圓ヲ募集スルヲ得タリ當時人民ノ財產ヲ定ムルヤ或ハ單ニ官ノ假定ニ據ルモノアリ或ハ出金者ノ同意ヲ得テ之ヲ定ムルモノアリ而シテ此強迫借入ニハ利子ヲ附與セズ「アツシニヤ」紙幣ヲ以テ之ヲ拂込マシメ世治マシムルノ後二年ニシテ之ヲ償還スルモノトセリ指令官政府ノ時ニ於テ強募法ヲ試ミントセシコト前後二回共ニ審察官ヲシテ各出金者ノ負擔スル直稅及ヒ其他ノ標準ニ據リ出金高ヲ配當セシメントシタリト雖モ終ニ果サズ直稅ニ二十五「ナノチーム」ノ副稅ヲ課シテ之ニ代用セリ次ノ強募債ハ西曆千八百十五年王政回復後ルイ公ノ宰相タリシ時ニ行ハレシモノナリ當時政府ハ四千萬圓ノ非常費ヲ國民ヨリ請求シ各府縣ヲシテ其高ヲ分擔セシメ而シテ其高ハ各地方ノ委員ノ定ムル所ニ依リ地方ノ豪商及財產家ヨリ之ヲ徵收セントセリ然レトモ其後國會ニ於テ各府縣ノ出金高ヲ定メタリ而シテ此借入ハ全額ヲ償却セス只其大部分ノミヲ償却セシニ依リ純然タル強迫借入ニアラズシテ幾分カ租稅ノ性質ヲ含蓄セリ幸ニ當時ノ政府ハ信チ人民ニ得人民モ亦

亂ニ飽キテ秩序ノ貴フヘキヲ覺知シ且ツ其需要高ノ巨額ナラサル等ニテ此強募債ハ好結果ヲ得テ豫期ノ如ク西曆千八百十五年九月十五日全ク四千萬圓ノ全額ヲ實收スルヲ得タリ澳地利ニ於テハ強募法ヲ試ミシコト最モ多シ前後六回ニ及ヘリ即チ西曆千七百五十年同千七百六十年同千七百九十四年同千八百六年同千八百五十年同千八百五十九年ノモノ是ナリ其募集方法ハ或ハ直稅ヲ基礎トシ或ハ地方ヲ區劃シ是ニ據リテ之ヲ徵セリ而シテ募債ノ目的ハ之ヲ達スル能ハス僅々ノ金額ヲ得ルニ止マレリ其他ハデソ州ニ於テモ強募法ヲ試ミタリ西班牙ニ於テモ屢之ヲ試ミ就中其著名ナルモノハ西曆千八百三十八年ノモノナリトス

右ノ外貧國ノ政府カ物品供給者又ハ其他ノ債主ニ代金ヲ拂ハス公債證書ニテ之ヲ支拂フコトアリ此公債發行ニシテ政府ト債主トノ約束上ヨリ生スルモノナレハ敢テ強迫ト云フコト能ハスト雖モ元來公債ノ增加ハ賦稅ヲ增加スルノ傾向アルヲ以テ公然法律ヲ以テ之ヲ許可スヘキハ勿論ノ事ニシテ斯ノ如ク行政官ノ方寸ヲ以テ公債ヲ增加スルカ如キハ決シテ許スヘキコトニアラサルナリ又法律ヲ以テ此ノ如キ發行ヲ許スモ決シテ策ハ得タルモノニアラス何トナレハ此事タル冥々ノ中ニ起リ其高幾何ニ達スルヤ豫メ計リ

知ルヲ得ス最モ濫用ノ恐アレハナリ而シテ一度濫用セラル、ニ於テハ物品供給者ハ重ニ商人ナレハ決シテ猶豫アル資本金ヲ有スルモノニアラス公債證書ハ決シテ其永遠ニ所持セント欲スルモノニアラス必スヤ之ヲ賣却シ金員ヲ收得セサルヲ得ス然ルコ公債證書ノ賣買固ヨリ勞働ト時間トヲ要スレハ此供給者ハ勞ト時トヲ償補スル丈ケノ價格ニテ物品ヲ賣却セサルヲ得ス果シテ然ラハ政府ハ徒ラニ物品ヲ高價ニ買入レ費用ヲ増加セサルヲ得サルヘシ經費ノ不足ハ到底不足ニシテ之カ補充ハ早晚免ル、能ハサルノ數ナルニ由リ其不足ヲ生セサラシムル様注意スルハ勿論ナリト雖モ不幸ニシテ之ヲ生スルニ至レハ初メヨリ公然大藏省證券ヲ發行シ又ハ普通ノ公債ヲ起スヲ好シトス何ヲ苦ミテ不法ノ濫用多ク且ツ費用ヲ増加スルノ法ヲ採ルヲ要センヤ

斯ノ如ク政府カ物品供給者又ハ其他ノ債主ニ公債證書ヲ以テ支拂ヲ爲スニ兩様アリ

第一 證書ノ時價ニテ支拂フコト

第二 平價即チ額面價格ニテ支拂フコト

債主ノ同意ヲ得ス公債證書ニテ支拂ヲ爲ス固ヨリ不可ナリト雖モ之ヲ時價

ニテ算スレハ尙ホ或ハ怒スヘキノ場合ナキニアラサルヘシ然レトモ證書額面ヲ以テ之ヲ算出スルニ至リテハ實ニ是レ不公平ノ極ニシテ強迫最モ甚キモノト云ハサルヲ得ス故ニ此類ノ支拂ハ政府ノ損失ヲ贖サ、レハ債主ノ損失トナリ徹頭徹尾不便ヲ極ムルモノト云フヘシ然ルニ往時ニ於テハ其例ナキニアラス即チ佛國ニ於テナボレオン第一世ノ時公債證書ヲ以テ平價ニテ其債主ニ支拂ヒ時價ヨリ一割五分若クハ三割丈ケ高價ニテ之ヲ債主ニ押付ケテリ茲ニ於テ信用地ニ墜テ政府殆ト負擔ヲ起スコト能ハサルニ至レリ王政回復ノ時モ議院右黨中第一帝國ノ支拂殘額ハ五分利付公債證書ヲ以テ平價ニテ支拂フヘシトノ説ヲ起セシモノアリシト雖モ當時ノ宰相ルイ公及マルウエト氏大ニ之ヲ不可トシ終ニ之ヲ止メ政府ノ信用ヲ保ツヲ得シハ佛國政府ノ爲メ大ニ賀スヘキノト云フヘシ

又時トシテハ政府カ各種公債ノ元金支拂ヲ爲ス能ハス現金ヲ以テ之ヲ支拂フ代リニ新ニ公債證書ヲ發行シ之ヲ債主ニ交付スルコトアリ此方法モ法律ノ許ス所ニシテ債主ト協議ノ上之ヲ行フモノトセハ時ニ或ハ怒スヘキノナキニアラサルヘシト雖モ強迫手段ヲ用フルモノ、如キハ非常ノ不便ヲ免レス然ルニ往時ニ於テ其例ナキニアラス即チ西曆千八百四十八年七月佛國

共和政府ハ二箇ノ法令ヲ以テ大藏省證券ノ期限來リシモノ及請求拂ノ政府預金ヲ變シテ公債證書ト爲スノ議ヲ決シ滿期大藏省證券ニ對シ三分利付ノ公債證書ヲ五十五フランニテ附與セリ然ルニ當時三分利付ノ公債證書ハ實際額面百フランノモノ四十三フランナリシ故ニ政府ハ大藏省證券ノ所有者ヨリ凡二割以上ヲ剝奪セシモノナリ預金ニ對シテハ五分利付ノ公債證書ヲ八十フランニテ附與セリ然ルニ當時五分利付ノ公債證書ハ市場ニ於テ七十三フランナリシカ故ニ政府ハ預ケ人コ凡一割ノ損失ヲ與ヘタルモノナリ此損失ハ其後ニ至リ償補セラレシト雖實ニ是非常ノ專横ニシテ斯ノ如キハ斷シテ之ヲ惡意アル身代限ト云フテ妨ケナカルヘシ若シ政府コシテ市場ノ價格ニ從ヒ別ニ公債ヲ起シ其募集金ヲ以テ滿期ノ短期又ハ請求拂ノ負債ヲ支拂ヘハ前記ノ如キ害ナシト雖短期公債及預金ハ全ク長期又ハ永遠ノ公債ト其説ヲ異ニスルヲ以テ此ヲ以テ彼ニ換フルニ於テハ債主ヲシテ大ニ其目的ヲ過ラシメ政府ノ信用ヲ傷フヲ甚シク強迫ノ借換法ハ決シテ行フヘララサルモノナリ抑政府カ前陳ノ如キ強迫手段ヲ決行スルハ其財政困難ナル時ナリ財政困難ナル時ハ市場活潑ナル能ハス民其業コ安ソスルヲ得ス大藏省證券ノ支拂預金ノ拂戻ヲ望ムノ時ナリ此時ニシテ其不正ヲ行フ其害亦甚

シト云フヘキナリ今一步ヲ進メテ大藏省證券ヲ購入スルハ如何ナル階級ニ屬スル人民ナルヤヲ討尋スルニ彼等ハ其資本ヲ永遠ニ利付ノ證書ニ放下スルヲ欲スル者コアラヌ多クハ商工ニシテ證券ノ期限ニ於テハ之ヲ以テ現金ヲ得其使用ヲ期スル者ナリ故ニ一朝之ヲ長期又ハ永遠ノ公債證書ニ交換セラル、ニ於テハ其狼狽決シテ少小ナラサルヘシ假令其交換ハ時價ヲ以テ之ヲ爲スト雖モ金員ヲ得ント欲セハ之ヲ賣却セサルヲ得ス果シテ然ラハ時間ト手數トニ於テ多小ノ損失ヲ免レス其手數ノ如キハ尙ホ或ハ堪フヘキモ商買ノ時間ハ一分千金爲メニ商機ヲ過ルコトナキヲ保セス果シテ然ラハ其損失實ニ止マル所ヲ知ラサルナリ又政府ニ預金ヲ爲ス者ハ重ニ細民ニシテ些少ノ貯蓄ヲ有スル者ナレハ政治上或ハ財政上ノ困難アルニ際シテハ彼等ハ平日ノ如ク勞銀ヲ得ル能ハス其信用ヲ使用シテ他人ヨリ金員ヲ借入ル、カ如キハ平日ト雖彼等ノ難シトスル所ナリ況ヤ世亂レ商況不振ノ時ニ於テヤ斯ノ如キ機運ニ際會スレハ彼等ノ生命ハ平日ノ貯蓄ニ賴ラサルヘカラス然ルコ卒然之ヲ長期又ハ永遠ノ公債證書ニ交換セラレ、ニ於テハ彼等ハ又之ヲ如何トモスル能ハス或ハ路頭ニ迷フ、極ニ至ルヘシ論者或ハ云ハシ彼等ハ其付與セラレタル公債證書ヲ賣却シ露命ヲ繼クヲ得ヘント夫レ或ハ然シ

ソ然リト雖モ斯ノ如キ時機ニ於テハ公債證券ヲ購入スル者甚ク少ク非常ノ
 低價ニアラスンハ却テ之ヲ賣却スルコト能ハス而シテ彼等ハ素ト貧窮ノ細
 民ニシテ貨幣市場ノ景況ヲ審ニスル者ニアラス加フルニ目下燒眉ノ急アレ
 ハ決シテ其公債證券ヲ相當ノ價ニ賣却スルヲ得ス熟練ナル資本家ノ爲メニ
 踏倒サレテ勢非常ノ廉價ニアラサレハ之ヲ賣却スルヲ能ハサルヘシ果シテ
 然ラハ數年間汗水ノ勞ヲ厭ハズ漸クニシテ造リ成セシ財寶モ政府ノ都合ニ
 依リ其半ヲ消滅スルモノト云フヘシ豈ニ之ヲ不正不法ノ處分ト云ハスシ
 何ソヤ政府ニシテ此ノ如キ處分ヲ爲セハ一時或ハ其急ヲ免ルヘシト雖モ將
 來ニ爲メ於テ大藏省證券ヲ購入スルモノナク政府ニ預ケ金ヲ爲スモノナク
 政府ノ財政國家ノ經濟共ニ非常ノ不便ヲ蒙ルハ敢テ疑ヲ容レサルナリ佛
 國ニ於テ西曆千八百四十八年強迫手段ヲ決行シ後ニ證券ノ法價ト市價トノ
 差違ヲ辨償セシト雖モ其信用ヲ失ヒシハ亦掩フヘカヲサルノ實跡ナリ夫レ
 信用ハ社會ノ據テ以テ起ル所ナリ信用一度亂ルレハ何ニ據テ社會ノ安全ヲ
 計ルヲ得ンヤ斯ノ如キノ禍機ニ遭遇セハ政府ハ宜シク債主ト協議シ延期又
 ハ借換法ヲ行フヘシ若シ聽カサレハ新ニ普通ノ方法ニ據リ公債ヲ起シ舊債
 ヲ支拂フヘシ良シ少シ利子ハ高シト雖モ世治マリ亂鎮マルノ後更ニ公債

證券ヲ發シ此高利ノモノヲ償還スル亦何ノ難キコトカ之アラソ

任意法ト雖モ眞ニ財政ノ要具トシテ使用シ得ルモノハ普通公債ノミ其愛國
 公債ノ如キハ決シテ頼ムニ足ラサルナリ然レトモ佛國ノ新聞記者等ハ大ニ
 愛國公債ヲ主張スル者アリ彼等ノ説ニ曰ク例ヘハ巴里貨幣市場ニ於テ五分
 利付公債證券八十四若クハ八十五フランヲ價スルトキハ之ヲ此法ニテ平價
 即チ百フランニシテ發行スヘシ而シテ此法ハ決シテ其目的ヲ過ラサルヘシト
 然レトモ斯ノ如キハ決シテ計算ニ精妙ナル資本家ニ望ムコト能ハサルモノ
 ニシテ假令小數ノ人民ノ義捐ノ精神ヲ以テ之ニ應スルコトアルヘシト雖モ
 到底此法ヲ以テ政府ノ需要スル巨額ヲ得ルコト能ハス今試ニ數歩ヲ讓リ愛
 國公債ハ果シテ施行シ得ルモノトスルモ是決シテ策ノ得タル者ニアラサル
 ナリ抑愛國心ナルモノハ其國人ノミニ存スルモノナレハ此公債ヲ起スニ於
 テハ專ラ金員ヲ内國ニミ募集セサルヘカラス而シテ巨額ノ公債募集ハ必
 ス一國流動資本ノ缺乏ヲ來スハ既ニ論究シタル所ノモノ、如シ果シテ然ラ
 ハ是レ即チ國家經濟上ノ一大不便ニシテ力メテ避クヘキコトナリ豈ニ之ヲ財
 政ノ得策トスルヲ得ンヤ今佛國ノ實況ニ據リ之ヲ見ルニ愛國公債ハ果シテ
 其目的ヲ達スル能ハサルヲ知ルニ足レリ西曆千八百三十年及同千八百四十

八年ノ革命後佛國ノ財政甚々急ナリ茲ニ於テ政府ハ人民愛國ノ情ヲ喚起セ
 ヲト欲シ彼等ニ諭スニ國民タルモノハ斯ノ如キ時ハ宜シク私利ヲ顧ミズ政
 府ヲ助クヘシ其政府ヲ助クシハ即チ自己ヲ助クルナリ何トナレハ之ニ據リ
 テ公信ヲ復シ凡百ノ事業隨テ活潑ナルヲ得ヘキノ意ヲ以テセリ當時革命ノ
 後ニシテ民情尙ホ平ナラス幾分カ平日ヨリハ眞ニ愛國心ヲ惹起シ居ルノ時
 ナリシト雖モ募々シク之ニ應スル者ナク兩度共政府ハ其目的ヲ達スルコト
 能ハザリキ又西曆千八百三十一年ニ於テハ平價ヲ以テ五分利付ニテ公債證
 書ヲ發行セシニ僅ニ八百七十五萬五千六百六十圓ヲ得タリ當時政府ハ資本家
 中ニハ頗ル人望ヲ有セシト雖モ尙ホ僅ニ此小額ヲ募集シ得ルニ止マレリ西
 曆千八百四十八年ニモ五分利付ニテ平價ヲ以テ四千萬圓ヲ募集セントセシ
 ニ應募額僅ニ千四十三萬二千八百圓ヲ得タリ西曆千七百八十九年ニモ之ニ
 類似スル法ヲ施行シ之ニ類似スル結果ヲ得タリ伊太利ニ於テモ亦其結果ナ
 同クス由是觀之愛國公債ハ決シテ廣ク之ヲ施行スル能ハス之ニ據リテ非常
 ノ費用ヲ得ルハ得テ望ムヘカラサルナリ公債ヲ以テ國家非常ノ費用ヲ辨セ
 ント欲セハ到底通常公債ニ據ラサルヲ得サルナリ
 元來普通公債ナル者ハ強迫ノ性質ヲ含マズ情誼ニ訴フルコトナク廣ク内外

人民ニ利子歩合其支拂期日元金拂込及償還ノ方法等ヲ告ケ之ヲ利トスル者
 ニ向ヒテ募集ニ應スヘシト令スルモノニシテ全ク公衆ノ利益ニ訴ヘ其資本
 ノ放下ヲ促スモノナレハ其公平無偏且ツ有效ナル素ヨリ論ヲ俟マス故ニ方
 今開明諸國ノ公債募集ハ確定トナク流動トナク年金トナク皆此方法ニ依リ
 サルハナシ蓋シ是レ萬世不朽確乎不拔ノ法ナリ其永遠公債有期支拂方法ノ
 得失ノ如キハ後大ニ論究スル所アラントス
 又契約法ニ據リ生スル給與金ノ内社會若クハ一箇人ノ補給ニ係ルモノハ其
 金高ニハ差異アルヘシト雖モ人民ノ負擔上ニ於テハ恰モ政府カ年金ヲ起シ
 事業ヲ企圖シ之ニ對シ年賦金ヲ支拂フカ如キ效驗アリ補給費經濟上ノ事業
 ハ茲ニ之ヲ論スルヲ要セスト雖モ財政上ニ費用ヲ增加スルハ公債増募ノ效
 驗ニ異ナラス然レトモ築港運輸ノ如キ大事業ハ其經濟上ノ關係ハ勿論兵事
 上甚ク重要ナル關係ヲ有スルモノナレハ時ニ或ハ政府會社ニ補給シ又ハ公
 債ヲ起シテ其募集金ヲ會社ニ貸付ケ大ニ其事業ヲ擴張セサルヲ得サルモノ
 アリ今政府カ會社ニ補給ヲ與フルヲ見ルニ大略左ノ三方法ノ外ニ出テサル
 カ如シ

第一 政府興業ノ爲メ會社ニ資金ヲ與ヘ鐵道最後ノ部分ノ敷設ヲ助ケ其

業ヲ成就セシメ他線トノ連絡ヲ通シ其他築港、船路、道路、開鑿等ノ事業ニシテ資本不足シ最後ノ部分ヲ全クスル能ハサルモノアルトキハ之ヲ補給シテ其業ヲ全フセムルコト

第二 政府軍ニ會社ニ補給金ヲ與フルコト

第三 政府期限ヲ定メ薄利ノ會社ニ其利益若干(例ヘハ一割)ニナルマテハ補給金ヲ與フルコト

是政府カ鐵道會社等ヲ補給スルノ三方法ナリ第一ノ方法ハ其高僅少コシテ一時政府ノ支出ヲ増加スルノミナレハ必シモ公債ト云ヒ難シ然レモ巨額ニ登レハ公債ヲ起サ、ルヲ得ス第二第三ノ方法ニ據レハ數年間年々政府ハ會社ノ爲メニ支出セサルヲ得サレハ其間ハ政府カ會社ニ負債スルト同様ナリ是レ等ノ補給金ハ通例一時ニ之ヲ拂ハス期限ヲ定メテ年々之ヲ支拂フモノナリ佛國帝政ノ末ニ鐵道會社ニ向ヒ一年兩度ツ、八箇年間補給金ヲ支拂フヲ約束セシカ如キ即チ是ナリ此ノ金高ハ都合二億八千萬圓ニ達シ頗ル巨大ナル類ニシテ帝政ノ時ハ年々兩度ツ、八箇年ノ間若干圓ツ、ヲ支拂フモノトシ之ヲ臨時歳出ノ部ニ組ミ入レ純然タル公債ノ取扱ニアラサシト雖モ共和政府ニ於テ舊約ヲ改メ年々若干圓ツ、ヲ支拂ヒ八十年ニシテ右ノ二億

八千萬圓ヲ拂盡シ毎年利子ヲ支拂フコトヲ約シ全ク取扱方法ヲ變更セシコト依リ初メハ臨時歳出ノ補給金モ今ハ通常經費ヨリ支拂フ費途ト爲リ純然タル公債ト爲レリ

然レトモ其起リハ公クニ募集セシモノニアラス會社ト締結セシ約束ノ變更ニ依リ突然公債ノ起リシモノ、如キ狀ヲ示セリ鐵道會社利益ノ補給ハ一般ノ補助ト聊カ違フ所アリ然レモ其起リハ立法院ノ承諾ヲ要スルニ止マリ公債募集ノ如ク明ナラサルモノアリト雖モ隱然一種ノ公債ヲ釀成シ人民ノ負擔トナルニ於テ彼是差異アルコトナシ請フ今其性質ヲ略陳セン抑彼ノ利益補給ノ方法ハ補給ヲ受クル會社ニ政府ヨリ貸付グル姿ニテ其償却ヲ期シ一般ノ補給ノ如ク拂切リノ者ニアラス彼ノ利益補給ノ方法ハ政府カ或期限ノ間ニ之ヲ受クル會社ノ利益或歩合(例ヘハ一割)ニ至ラサレハ其缺額ノミヲ補給シ若シ會社ノ利益其比例ヨリ多キトキハ其超過高チ政府ニ領收スル者ナリ故ニ政府ニ於テ拂出セシ高ハ之ヲ回收スルノ道自ラ其間ニ存ス利益補給ノ性質此ノ如クナレハ政府ニ於テ年々會社ノ爲メニ支拂フ高ハ會社ノ利益ノ多少ニ依リ大ニ左右セラレ甚ク不同ナルモノヲラサルヲ得ス而シテ佛國ニ於テハ補給ヲ得ル所ノ會社年々其業ヲ擴張シ補給額大ニ増加スルノ勢アリ

リ然レトモ爾來補給ヲ與フルヲ慎ミ正ニ與フヘキ者ト與フヘカラサルモ
 トヲ區別シ溢給ノ弊ニ招ラサルコト於テハ政府ニ於テモ爲メニ收入ヲ増シ收
 支相償フコトヲ得ヘシ西曆千八百六十七年ニハ佛國政府鐵道會社利益補給
 ノ爲メ千二百萬圓ヲ支出シ西曆千八百七十年ニ於テハ千六百萬圓ノ收入ヲ
 得成年ニハ收入金二千二百萬圓ニ達セシコトアリキ斯ノ如ク利益補給ハ年
 ヲ政府ニ領收スル高ク増シ終ニハ全ク支出セシモノヲ回收スルコトヲ得
 シテ當初ノ豫算ニテハ西曆千八百七十四年ヨリ同千八百八十五年マテニ
 支拂殘九千三百二十萬圓ヲ拂盡シテ全ク補給ヲ止メ年々會社ノ收益中ヨリ
 補給高ク償戻セシムルノ目的ニテ西曆千八百七十三年同千八百七十四年一
 ハ收支共ニ豫定スル所ニ違ハサリシ然レトモ爾後補給ヲ受クル會社ノ數頗
 ル増加シ其支給ノ年限モ隨テ延長セリ佛國政府ハ會社ニ補給金ヲ與ヘ其事
 業ヲ助クルコト頗ル多シ或ハ政府時々公債ヲ募集シテ有益ノ事業ヲ起ス所
 ノ會社ニ其募集金ヲ貸付ルコトアリ是レ政府ハ會社ヨリ信用厚ク幾分カ低
 利ヲ以テ負債ヲ起スヲ得ヘシ事業ハ政府自ラ之ヲ營ムヨリ會社ヲシテ之ヲ
 營マシムルニ便アレハ彼是ノ長ヲ取り短ヲ捨ツルノ策ニ出ツルモノナリ果
 シテ此ノ如クナレハ會社ハ株金ヲ募リ割賦金ヲ拂フノ不便ナシ唯政府ノ起

セシ負債ノ利子ヨリ少々高キ利子ヲ政府ニ支拂ヒ又ハ政府ニ於テ徐々ト元
 利金ヲ支拂ヒ得ル丈ケノ年賦金ヲ政府ニ支拂ヘハ政府モ敢テ此負債辨償ノ
 爲メ賦款ヲ重クスルノ要ナク實ニ一舉兩全ノ策ト云フヘシ
 特別借入ハ政府カ文武ノ事業ヲ改良セントスルニ當リ其費用巨大ナラス未
 タ堂々天下ニ布告シ公債ヲ募集スルヲ要セスト雖モ只其主務省ノ豫算ニ兩
 三年若クハ四五年間費用ヲ支給シ徐々トシテ之ヲ施行セシメハ或ハ時期ニ
 後レ却テ費用ヲ増加スル等ノ不便アルトキ銀行若クハ資本家ト約シテ資金
 ヲ借入レ其事業ノ爲メ主務省ニ支給スヘキ定額金ヲ支給セス之ヲ以テ元利
 ヲ支拂フモノナリ是レ實ニ急行ヲ要スル小事業ノ爲メコトハ頗ル便利ノ方法
 ナリ只其口數ヲ増加シ濫用ヲ戒ムルノミ
 確定公債トハ既ニ陳述セシカ如ク其元金ノ確定スル者コシテ諸國公債ノ大
 部分ヲ占ムル者ナリ而シテ永遠公債及有期公債ハ皆此中ニ含有セラル、モ
 ノトス抑永遠公債ハ元金支拂ノ年限ヲ豫定セス財政ノ緩急ニ應シ隨時之カ
 價還ヲ施行スルモノナレハ財政上最モ便利ナルモノナリ債主ニ於テモ元金
 ノ償却ヲ得ルハ低價ノ公債ニアラサル以上ハ強クニ之ヲ望ムモノニアラス
 其望ム所ハ毎年ノ利子ニアリ若シ又元金ヲ得ント欲セハ其證書ヲ賣却スル

ハ固ヨリ容易ノ業ナリ且ツ國家ハ固ヨリ永久ノ目的ヲ以テ設立スルモノナ
 レハ一箇人ノ如ク數十年コシテ死亡スルモノニアラサルナリ往古ハ措キシ
 問ハス方今ニ於テハ未開國ノ場合ニアラサル以上ハ國家ノ信用甚々固ク未
 來ニ於テ益其信用ヲ増加スルハ敢テ疑テ容ル、能ハス由是觀之永遠公債ハ
 政府ノ爲メ債主ノ爲メ至便ノモノニシテ其大ニ開明諸國ニ行ハレ公債ノ基
 礎ヲ爲スコト亦偶然ニアラサルナリ今試ニ公債ノ基礎ヲ有期支拂ノ基
 センカ有期公債ハ其期限ニハ必ス之ヲ支拂ハサルヲ得ス然ルニ國家ノ治亂
 商況ノ浮沈ハ豫メ年ヲ隔テ、之ヲ知ルヲ得ス公債支拂ノ期限ニ際シ兵亂兇
 慌等ノ禍アレハ政府ハ公債ヲ償還スル能ハス之ヲ償還セザレハ信用忽チ地
 ニ墜テ益世上ノ狂瀾ヲ高クスルノ恐アルニ由リ此不利ノ時ニ當リ政府ハ高
 利若シハ低價ヲ以テ新ニ公債ヲ起ササルヲ得サルノ不幸ヲ免レサルヘシ斯
 ノ如キノ不便アルニ依リ公債ノ大部分ハ必ス之ヲ永遠公債ト爲サ、ルヲ得
 ス而シテ公債ノ償還ハ成ルヘシ之ヲ後世ニ讓ルヘシト云フコアラズ之ニ反
 シテ其償還ハ成ルヘシ之ヲ後世ニ於テ爲サ、ルヲ得サルハ勿論ナリト雖モ
 後世ハ今世ノ發明發見其他學藝上進歩ノ餘榮ヲ受ケ其富ヲ増スヤ疑テ容
 ス貨幣ノ供給信用ノ發達益其度ヲ進メ貨幣ノ價格ハ假令カリフオルニヤ及

ヒ濠洲金抗發見ヨリ方今マテノ程度ニ及ハサルヘシト雖モ尙ホ少シク之ヲ
 減スヘシ公債ハ必ス二十年若クハ三十年ニ於テ之ヲ償還スルモノト爲スヨ
 リ其償還ヲ永遠ニ期スルハ頗ル便利ナルヘク又富ノ發達ニ從ヒ利子歩合ヲ
 減少スルハ數ノ然ラシムル所ニシテ今世ノ公債ハ後世ニ於テ大ニ高利ノモ
 ノトナリ低利ヲ以テ之ヲ借換ヘ國家ノ費用ヲ減少スルコト又容易ノ業ナル
 ヘシ果シテ然ラハ公債募集ニ際シ法ヲ他ニ求メス永遠公債ノ方法ニ據ルヘ
 キハ殆ト論ヲ俟タサルモノ、如シト雖モ財政ノ經營未タ此ノ如ク單純ナル
 ナ得ス公債ヲシテ盡ク永遠公債タラシムル能ハサル所ノモノアリ元來永遠
 公債ハ財政ノ都合ヲ計リ其元金ヲ償還スルモノニシテ政府ニ償還ノ義務ヲ
 強ヒス政府或ハ力ヲ公債ノ償還ニ盡サス事ヲ等閑ニ附スルノ恐ナキヲ得ス
 然ルニ公債ハ累積ノ傾向ヲ有シ一公債ノ償還ヲ終ヘサルニ既ニ他公債ノ起
 ルハ勢ノ已ムヲ得サルモノアリ不幸ニシテ償還ヲ等閑ニ附スルコトアレハ
 公債累積シテ後世ノ負擔大ニ加ハリ或ハ其發達進歩ヲ妨クルノ恐ナキヲ保
 セサルナリ故ニ永遠公債既ニ巨額ニ達スルニ於テハ募集ニ際シ少シク有期
 ノ公債ヲ起シ以テ此公債累積ノ禍ヲ避ケサルヲ得ス只其高多キニ失シ爲メ
 ニ財政ノ變通ヲ妨ケ不便ヲ惹起スルコトナキヲ力ムルノ要アルノミ

有期隨時支拂法ハ證書發行ノ年ヨリ何箇年据置何箇年目ヨリ向フ何箇年目
 マテニ支拂フヘシト定ムルモノナリ佛國ノ「五ヨリ十」北米合衆國ノ「五ヨリ十」
 「六ヨリ二十」等ト號スル公債ハ皆此類ニシテ即チ證書發行ノ年ヨリ四箇年据
 置キ五箇年目ヨリ向フ十箇年目マテ又ハ五箇年据置キ六箇年目ヨリ二十箇
 年目マテノ間ニ財政ノ都合ヲ謀リテ支拂フヘシ然レトモ滿期ノ節即チ十箇
 年目若シハ二十箇年目ニハ必ス支拂フヘシト約束スル所ノモノナリ故ニ此
 方法ニ據レハ元金ハ財政ノ緩急ニ拘ハラズ毎年必スシモ之ヲ支拂フヲ要セ
 ス又永遠公債ノ如ク負債ヲ後世ニ殘スコト多カラス大ニ便利ナルモノ、如
 シ然リト雖モ又其不便ナキヲ得ス請フ今其不便ヲ論究セン
 此方法ニ據レハ期限中ノ各年度ニハ必スシモ支拂ヲ要スルニアラサルヲ以
 テ政府ニ於テ年々ノ豫算ニ必ス其償却ヲ見込マヤ否ヤ未タ遽ニ之ヲ保證フ
 ルコト能ハス若シ立法部又ハ行政部ニ於テ只其年ノ經費ヲ減少スルヲ策ト
 シ未來ヲ顧ミサルカ如キコトアレハ滿期ノ年ニ當リテ非常ニ歳出ヲ増サ、
 ルヲ得ス果シテ然ラハ財政ノ不便是ヨリ甚シキハナシ而シテ滿期ノ年ニ於
 テ政治上或ハ經濟上ノ困難ナキヲ保セス然レトモ之ヲ支拂ハサレハ大ニ信
 用ヲ傷ヒ益其困難ヲ増加スルハ敢テ疑ヲ容ル、能ハス若シ此ノ如キ不幸ニ

遭遇スレハ高利ノ公債ヲ起シ之ヲ辨償セサルヲ得サルコトナキヲ保セス是
 レ此類ノ公債ノ最モ不便ナル所以ナリ又償還ノ期限短キニ過シレハ五六年
 間財政困難ノ連續スルハ珍シカラサルコトナレハ此間ニ公債ヲ償却スルハ
 甚々困難ナルヘシ現ニ佛國ノ西曆千八百七十年後五六年ノ景況其他歐米各
 國ノ商業沈滞ハ實ニ五六年ニ渉ルノ例少カラス然レトモ若シ償還年限ヲ四
 五十年トシ政府ニ於テ償却ヲ決行シ成崩ノ法ニ從ヒテ其償還ヲ怠ルコトナ
 シ若シ又幸ニシテ歳入殘餘アレハ之ヲ其償却ニ宛テ平年ニ於テ之カ償還ヲ
 怠ラサレハ滿期ニ至リ敢テ困難ヲ生スルコトナク又此法ハ据置年限ヲ過シ
 レハ何時ニテモ償還ヲ行フコトヲ得ルヲ以テ市場ノ景況低利ノ公債ヲ起ス
 ヲ得ルニ至レハ直ニ借換ヲ行フヲ得ヘク實ニ此方法ハ政治上經濟上ノ原因
 ヨリ財政ノ裕ナラサル時ニハ強テ償却ヲ爲スヲ要セス又永遠公債ノ如ク償
 還ヲ永遠ニ期セサルヲ以テ自然償還ニ注意スルノ勢アリ只滿期ニ至リ或ハ
 困難ナキヲ保セスト雖モ平常右ノ如ク銳意償還ヲ決行セハ假令滿期ニ際シ
 多少ノ困難ナキヲ保セスト雖モ大ニ之ヲ減少スルヲ得ヘシ而シテ滿期ノ年
 ニ困難アルハ期限中ノ年ニ之アルヨリ少キハ數ノ然ラシムル所ナリ然レト
 モ期限中ニ時々償還ヲ爲サ、レハ滿期ニ至リテ困難アルハ是レ又數ノ然ラ

サルヲ得サルモノナレハ平日其償還ヲ怠ラズ假令法律ハ毎年ノ償還ヲ強ヒ
 スト雖モ政府ニ於テハ毎年若干額ヲ償還シ滿期マテニ償還ヲ盡スノ胸算ナ
 カルヘカラス苟モ注意ヲ怠ラスンハ此方法ハ大ニ用フヘキモノアリ我國ノ
 諸公債ハ多シハ法ニ據ルモノナリ北米合衆國ハ新開ノ國ニシテ未ダ歐洲諸
 國ノ如ク古國ノ體裁ヲ爲サ、ルニ由リ永遠公債ノ發達未ダ盛ナラス其公債
 中此類ニ屬スルモノ甚々多シ又是レ自然ノ勢ナリト云フヘシ
 有期定期支拂ハ豫メ償還年額ヲ定ムルモノナレハ政府ヲシテ明ニ支拂ノ義
 務ヲ負擔セシメ其支拂高ハ年ニ著シキ差違アルコトナク又非常ノ巨額ニ登
 ラス容易ニ年々ノ豫算ニ之ヲ組込ムコトヲ得ヘク一見甚々便利ナルモノ
 如シト雖モ少シク其關係ノ及フ所ヲ見ルコト大ニ然ラサルモノアリ今如何ニ
 此法ヲ實施スルヤヲ見ルニ先ツ第一ニ十五年二十年三十年五十年若クハ九
 十九年(九十九年ヲ以テ通例最モ長キモノトス)ト云フカ如ク償還ノ期限ヲ定
 メ支拂表ヲ制スルヲ通例トス其支拂方法ハ通例成崩ノ方法ニ據リ初年ノ償
 還ハ最少額ニシテ第二年ヨリハ前年ノ償還ニ由リテ減少シタル利子ノ金高
 ヲ元金ノ償却ニ加算シ累年此法ヲ用フルコトアリ故ニ年々之カ爲メニ別ニ増
 額ヲ要スルコトナク自然ニ償却高ヲ増加スルヲ得ルモノトス是ヲ以テ國家

幸ニ平穩無事ナルヲ得毎年巨額ノ歳入殘餘ヲ有シ償還ヲ豫期スルヲ得ヘキ
 彼ノ北米合衆國ノ如キ國ニ於テハ此方法ハ最モ適當ノ法ナリトス然リト雖
 モ國ニ盛衰治亂アルハ數ノ免レサル所ニシテ三四十年若クハ四五十年ノ間
 太平無事ナルハ決シテ期シ得ル所ニアラス其間政治上經濟上ノ波瀾起ルニ
 際スレハ大ニ其年ノ支拂ニ苦ムヘシ然リト雖モ斯ノ如キトキハ政府ノ信用
 大ニ動搖スルモノナレハ之ヲ支拂ハサレハ益以テ其信用ヲ害スヘシ故ニ方
 メテ之ヲ支拂ハサルヲ得ス斯ノ如キ時運ニ際シ政府前約ヲ履行セントスレ
 ハ高利ニテ更ニ公債ヲ起サ、ルヲ得サルヘシ是レ此方法ノ一大不便ナリ而
 シテ又此方法ハ永遠公債若クハ有限隨時支拂法ノ如ク低利ニ借換ユルノ便
 利ナク市場ノ景況借換ヲ爲シ得ルニ至ルモ之ヲ施行スル能ハサルナリ實ニ
 有期定期支拂ハ財產整頓セス信用薄キ國ニ貸付シルニ當リテ用フルノ方法
 ニシテ負債主ヲ攻ムルコト嚴ニ過キ財政ノ變通ヲ妨クルモノト云フヘシ由
 是觀之有期定期支拂方法ハ政府ヲシテ其支拂ヲ力メシムルノ便アリト雖モ
 歳計ノ緩急ヲ問ハス必ス其支拂ヲ強フルモノナルニ由リ前約ヲ履行スルカ
 爲メニ新ニ高利ヲ以テ公債ヲ起サ、ルヲ得サルノ場合ナキヲ保セス且ツ市
 場ノ景況ニ據リ借換ヲ爲シテ國費ヲ減スルノ便利ヲ缺ク故ニ公債ヲ起スニ

專ラ此方法ニ據レハ活潑ノ財政得テ行フ能ハス殊ニ期限五六十ノ長キ
渉ルモノハ甚ダシキ不便ヲ感スヘシ現ニ獨逸諸州ノ如キハ此方法ニ由リ公
債ヲ起シタルカ爲メ假令市場ノ歩合ハ三分半トナリシ時ト雖モ尙ホ五分ノ
利付公債ヲ借換ユルコト能ハスシテ今コ五分利ヲ支拂ハサルヲ得サルモノ
アリ

有期一時支拂法ハ償還ヲ一時ニ期スルモノナレハ其年期中財政甚ダ緩裕ニ
シテ大ニ償還ヲ施行スルノ好果ヲ得ルト雖モ進ミテ之ヲ償却スルヲ得ス其
期限ニ至リ財政甚ダ困難ナリト雖モ必ス之ヲ償還セサルヲ得ス又期限中利
子大ニ低落スト雖モ低利ノ公債ヲ起シテ償還ヲ行フコトヲ得ス頗ル不便ノ
方法ナリ而シテ其額巨大ナルニ於テハ困難益加ハリ假令政府ハ之ヲ償還シ
得ルト爲スト雖モ債主ニシテ一時ニ償却ヲ受ケルニ於テハ其償還金ヲ以テ
他ノ動産ヲ買入ル、者大ニ増加シ動産ノ價格爲メニ騰貴シ投機ヲ誘導スル
コトナキヲ保セス又内國市場ニ於テ動産ヲ購買スレハ其價格ヲ増加スルニ
由リ巨額ノ資金ヲ輸出シ外國市場ニ於テ動産ヲ買入レ爲メニ外國爲換ノ逆
戻ヲ來タシ市場ノ混亂ヲ惹起スコトナキヲ保セス又償還金ヲ以テ他ノ動産
ヲ購買スレハ其價格ヲ増加シ所得ヲ減スルヲ以テ償還ヲ受ケケル者ハ之ヲ

不便トシ事ノ緩急需要ノ景況如何ヲ顧ミス各種ノ事業ヲ試ミ或ハ投機者流
ノ爲メニ欺カレ或ハ未熟ノ爲メニ資金ヲ盡盡スルノ恐ナシトセス由是觀之
有期一時支拂法ハ巨額ノ公債募集ニ之ヲ用フルヲ得ス只僅々少額ノ公債ニ
之ヲ用フルヲ得ルアルノミ

流動公債ハ國庫一時ノ不足ヲ補ヒ又ハ一年度ノ不足ヲ補フカ爲メ後年度ノ
收入ヲ以テ償還ヲ期シ又ハ政府カ人民ノ貯蓄ヲ獎勵保護センカ爲メ預リ金
ヲ爲ス等ヨリ起ルモノニシテ是レ亦財政上施政上避クヘカラサル所ノモノ
ナリ請フ逐一其起ラサルヲ得サル所以及其效用ヲ論セン

流動公債中短期公債ハ大藏省證券ニシテ其效用ハ歲計上一時ノ歳入不足ヲ
補ヒ或ハ歳入ノ減少又ハ臨時意外ノ歳出等ノ爲メ一年度ノ收支相償ハス償
還ヲ後來ノ三四年度ニ期シ其年度ノ歲計ヲ結了スルモノナリ元來政府カ歲
計豫算ヲ立ツルヤ其年度收支ノ景況ヲ審査シ丁寧反覆非常ノ注意ヲ以テ之
ヲ定ムル者ナルニ由リ非常ノ事件アルニアラサレハ年度ノ終結ニ至リ著シ
キ過不足ナキヲ得ヘシト雖モ歳出ハ歳入ヲ待テテ之ヲ支辨シ得ヘキモノニ
アラズ公債利子俸給、廳費等各、支出ノ期アリ而シテ警察、兵事等ノ爲メ不慮ノ
費用ヲ要スルモノアリ又天變、地殃、疫病等不測ノ變ナキヲ得ス此等ノ事アレ

ハ假令幸ニシテ其事大ナラス結局其年度ノ收入ヲ以テ其費用ヲ支辨シ得ヘ
 シトスルモ收入未ダ納マラサルニ支出ヲ要スルコトナキヲ得ス殊ニ我國ノ
 如ク政府ノ歳入ヲシテ多クハ收入期節アルモノヨリ生スルモノヲラシメハ
 大藏省證券發行ノ要多キハ實ニ數ノ免レサル所ノモノナリ又不幸ニシテ天
 變地殃等ノ爲メ歳入ヲ減スルカ或ハ費用ヲ増加スルカ又ハ歳入ノ減少歳出
 ノ増加交至リテ事未ダ大ナラス確定公債ヲ募集シテ之ニ應スルヲ要セスト
 雖モ到底其年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スル能ハス歲計ノ不足ヲ生スルトキ
 ハ兩三年若クハ四五年ヲ以テ償却シ得ル所ノ大藏省證券我國ニハ年度ヲ越
 スモノナシテ發行シテ其費用ヲ支辨スルヲ可トス又彼ノ特別借入ヲ爲スニ
 當リ債主ニ此類ノ大藏省證券ヲ與フルコトアリ元來大藏省證券ハ賣買ノ自
 由ナルモノナルニ由リ普通貸金證文ヨリモ債主ノ爲メニ便利ナルモノナル
 ヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

右陳述スルカ如キ原因ヨリ借入ヲ要スルニ際シ確定公債ヲ起スハ所謂是レ
 鶏ヲ割クニ牛刀ヲ用フルモノナリ世上ノ事固ヨリ大小緩急ノ別アリ事ニ據
 リ之ニ應スルノ術ナキヲ得ス流動公債ノ起ル亦已ムヲ得サルモノアリ
 短期公債ハ前陳二様ノ使用ニ充ツルモノニシテ佛國ニ於テハ其使用頗ル多

シ元來流動公債中短期公債ノ存在スルハ歳入歳出其順序ヲ得サルカ或ハ信
 用甚ク薄ク尋常ノ公債ヲ起ス能ハス又ハ民力乾涸シ豫定ノ租稅ヲ徵收スル
 能ハサル等ヨリ生スルモノニシテ財政上不幸ノ現象タルヲ免レサルナリ革
 命前ノ佛國方今ノ土耳其埃及等ハ公ケニ尋常ノ公債ヲ起ス能ハス密ニ銀行
 等ヨリ或ハ非常ノ高利ヲ約シ或ハ或地方ノ租稅金ヲ抵當トシ或ハ債主ニ或
 特典ヲ與ヘ或ハ負債ノ償却セラレサル時ハ他人ニ賣渡シ得ル所ノ證書ヲ與
 ヘ或ハ其他ノ方法ニテ流動公債ヲ起スコト實ニ甚カラス西班牙土耳其埃及
 ノ財政史ニ於テハ是等ノ借入最モ多ク資本家ノ高利ヲ貪ルコト實ニ甚クシ
 數ヶ月ニ渉ル短期借入ニシテ年利一割五分一割八分二割若クハ二割五分ノ
 高利ニ達スルノ例少カラズ此等ノ借入ハ只利子ノ高キノミナラス其期限甚
 ク短ク多クハ期限ニ至リ之ヲ償還スルヲ得ス借繼ヲ爲スノ必要ヲ生セリ加
 之其筋道明了ナラス其高ヲ確知スルコト甚ク難シ西曆千八百七十四年諸國
 ノ銀行家委員ヲ命シ土耳其ノ流動公債ヲ調査セシメントセシニ終ニ其高ヲ
 確知スルコト能ハス又英佛等埃及ノ流動公債ヲ調査セント欲セシニ等シク
 其高ヲ知ルコト能ハサリシト云フ然レトモ此類ノ借入ハ信用厚キ國ニ於テ
 ハ年ヲ經テ退縮スルノ勢アリ英國ノ如キハ其最モ著シキモノナリ即チ該國

西曆千六百九十一年ヨリ同千八百六十一年マテノ流動公債ノ増減ヲ見ルニ
 此時間ノ初期即チ西曆千六百九十一年ヨリ同千七百十一年マテハ流動公債
 ノ現金常ニ確定公債ノ高チ超過セリ其内最モ好結果ヲ得シハ西曆千七百九
 年トス該年ノ流動公債ノ額ハ一億一千六百九十四萬圓ニシテ確定公債ノ額
 ハ七千二百三十九萬圓其他ノ年ニ於テハ流動公債ノ額ハ尋常公債ノ二倍若
 クハ三倍ニ達セリ

西曆千七百十二年以來ハ大ニ面目ヲ改メ流動公債ノ額ハ常ニ確定公債ノ額
 ニ及ハス然レトモ其高尙ハ頗ル大ナリシ西曆千七百五十四年ヨリ同千八百
 七十三年マテハ其高巨額ニ登ラス西曆千七百五十五年ニハ僅ニ七百三十六
 萬五千圓トナリ此時期コハ彼ノ有名ナル七年ノ戰亂起リシニ由リ増加ヲ示
 セシト雖モ其高五千三十萬圓ニ止マレリ元來戰爭其他政治商業上ノ混雜ハ
 收入ヲシテ其時ヲ失ハシメ支出大ニ増加スルヲ以テ流動公債ノ高ニ増加チ
 來スハ勢ノ免ル、能ハサル所ノモノアリ實ニ英國ノ如キハ其土地兵燹ヲ蒙
 リ收入時ヲ失ヒシト云フニアラスト雖モ西曆千八百七年ヨリ同千八百十九
 年ノ間ニハ流動公債大ニ増加シ四億圓ニ達セサルコト甚ク稀ニシテ西曆千
 八百四年ニハ凡六億六百萬圓ニ達シ西曆千八百十七年ニハ六億二千六百萬

圓ニ達セリ(此高ニハ愛蘭ノ流動公債ヲモ含蓋ス)西曆千八百十九年ヨリ同千
 八百四十年ニ至ルマテハ大ニ減少セシト雖モ其高尙ホ二億圓ヲ下ラス未ダ
 以テ満足スヘキノ結果ト云フヲ得ス西曆千八百四十年ヨリ同千八百六十二
 年マテハ少クリミヤ戰爭ノ時ヲ除キ一億六千萬乃至二億圓ノ間ヲ昇降セリ而
 シテ該戰爭中ハ一時二億八千萬圓ニ達セリ西曆千八百六十二年ヨリ同千八
 百六十九年マテハ斷ヘス之ヲ減少シ此時期ノ後ハ八千萬圓ヲ超過セザリシ
 是レ實ニ永遠公債ニ比スレハ凡一分半ノ高ニシテ亦以テ巨額ト云フ能ハサ
 ルナリ西曆千六百六十九年ヨリ同千八百七十四年マテハ漸次之ヲ減少シ西
 曆千八百七十四年ニハ凡四千四百八十萬圓トナレリ是レ永遠公債ノ凡千分
 ノ五ニシテ英國公債中僅々タル數ト云フヘシ然レトモ西曆千八百七十五年
 以來流動公債復々増加シ同千八百七十七年中ニハ凡一億四千萬圓ニ達セリ
 是レ從前埃及ノ領主ニ屬セシスエヌ運河ノ株券四千萬圓ヲ購入セシト露土
 戰爭トニ由リ歐羅巴ノ景況穩ナラザリシカ爲メ種々ノ用意ヲ爲セシニ原因
 セルモノナリ該年以來英國屬印度亞弗利加等ニ事アリシニ由リ流動公債ハ
 益々増加セリ英國ノ流動公債ハ種々ノ性質ヲ有スルモノニシテ佛國ノモノヨ
 リ其期限永キモノ多シ英國ノ流動公債ハ之ヲ別チテ三種トス

第一 三箇月、六箇月若クハ一箇年ヲ以テ期限トスル大藏省證券

第二 一箇年ヲ超過スル大藏省證券

第三 數箇年ニ渉ル大藏省證券

西曆千八百七十七年ニ於テハ第一種ノ發行高凡一億八千四百萬圓第二種ノ發行高四千九百九十三萬八千圓第三種ノ發行高七千五百五十萬圓ナリシ第三種ハ英國ノ豫算ニテ雜種ノ證書ト名クルモノト同様ナルモノナリ今英國ノ例ヲ以テ之ヲ見ルニ流動公債ハ財政ノ整頓スル國ニ於テハ大ニ減少スヘシト雖モ固ヨリ之ヲ廢棄スルコト能ハサルナリ若シ之ヲ廢棄セント欲セハ財政ハ必ズ相應ノ準備ヲ有スルカ又ハ年々相應ノ歲入殘餘ヲ有セサルヲ得ス然ルニ準備ヲ有スルノ弊害ハ既ニ第三章ニ於テ說キシカ如ク又年々歲入殘餘ヲ見込ムモ租額ヲ高クスルカ爲メ其利害或ハ相償ハス流動公債ヲ起ス方却テ財政ノ得策タルヘシ何トナレハ事ニ當リテ之ヲ起シ其元利償却ノ爲メニ租額ヲ増スハ平常之ヲ起サ、ルカ爲メニ永ク租稅ヲ重クスルヨリモ事業ノ發達ヲ妨クルコト少クレハナリ

今眼ヲ轉シテ佛國ノ景況ヲ見ルニ該國ニ於テハ豫算ノ決定其宜シキヲ得ス歲出ノ歲入ニ超過スルコト殆ト財政ノ常勢ニシテ大藏省證券ノ發行甚タ巨額ニ達ス而シテ佛國ノ流動公債ハ其種類モ亦尠少ナラス之ヲ第一支拂フヘキ手形、第二預リ金、第三用達人ヨリノ借入ノ三級ニ分テ每級又種々ノ者ヲ含有ス

右ニ記載スル所ノ支拂フヘキ手形ハ重ニ大藏省證券ナリ此手形ハ利子付ニシテ三箇月、六箇月若クハ一箇年ニシテ滿期トナルモノ多シ(尤モ佛國ニ於テモ年度ヲ跨ル所ノ四五年期ノ大藏省證券ナキコアラズ)利子歩合ハ大藏大臣ノ定ムル所ニシテ二分、三分、四分、五分又ハ六分位ナリ尤モ手形支拂期限ノ長短政府ノ信用或ハ資本ノ多少ニ由リ利子ノ歩合ニ増減アリ輒近佛國政府ノ信用甚タ厚ク三箇月ヨリ五箇月ノ期限ノモノニハ僅々半朱、六箇月ヨリ十一箇月ノ者ハ一朱ノ四分ノ三、一箇年ノ者ニシテ稍ク一朱ナリ此手形ノ發行高ハ年々ノ豫算法ヲ以テ之ヲ決定シ其額以内ニテ大藏大臣ニ發行ノ權ヲ付與ス而シテ其期限モ立法官ニ於テ之ヲ決定シ大藏大臣ハ其高ヲ超過シテ發行スルヲ得ス此手形ハ即時ニ金員ヲ要セサル者ニシテ或未來ノ時之ヲ要スル者ノ爲メニ最モ便利ナルモノナリ又或ハ政府カ融通借入ヲ爲ストキ中央銀行ト特約ヲ結ビ低利ニテ之ヲ交付スルニ由リ斯ノ如ク市場ノ歩合ヨリ非常ニ低キ歩合ニテ之ヲ發行スルヲ得ルナリ抑大藏省證券ナルモノハ財政上一

時ノ便利ニ充ツルモノニシテ英米ノ如ク財政整頓シ且ツ其歳入ハ重ニ間稅ヨリ之ヲ得人民富裕ニシテ其所持金ノ一時ノ使用法ヲ撰ムヨリモ永久ノ貯蓄ヲ好ム國柄ニ於テハ從前ノ如ク頻リニ之カ發行ヲ要スルコトナク又人民ノ之カ爲メニ出金スルモノモ多カラサルヘシ又中央銀行ノ紙幣發行等ノ爲メ有スル所ノ特典ニ對シ國庫融通ノ爲メニハ金高ヲ限リ無利子貸付ヲ爲サシメハ或ハ其發行ヲ廢止スルヲ得ヘシ假令廢止シ得ルニ至ラサルモ大ニ之ヲ減少スルヲ得ヘシト雖モ佛國ノ如キハ之ヲ發行スルコト尙ホ巨額ニ達シ其發行亦容易ナリ當時ノ大藏大臣レナンセイ氏カ西曆千八百七十三年十二月國會ニ報道セシ所ニ據レハ該年豫算法決定高ハ一億六千萬圓ニシテ其現發行高ハ同年三月六日ニハ五千八百八十萬圓爾後漸次ニ増加シ同年十一月十日ニハ一億二千萬圓ト爲レリ此實況ニ就キテ之ヲ見レハ佛國ノ如キ財政ノ器具備ハル國ト雖モ其發行未タ以テ僅少ナリト云フヲ得ス而シテ其發行ノ容易ナル亦實ニ驚クヘキモノナリ

前章ニ於テ略陳セシカ如ク流動公債中大藏省證券ノ外向ホ諸預リ金アリ是等ハ政府カ細民ノ貯蓄ヲ保護獎勵スルノ政略ニ出ツルモノナレハ敢テ公然募集スルモノニアラズト雖モ等シク是レ公債ノ一部分ニシテ此物ナクシハ

特ニ募集ヲ試ミサルヲ得サルニ當リ暫時之ヲ使用シ以テ募集ノ費用ト手續トヲ免ル、ヲ得ルモノナレハ本款ニ於テ之ヲ論スルモ敢テ不當ニアラサルヘシ又政府カ用違人ヨリ一時借入ヲ爲シ國庫ノ融通ヲ計ルコトアリ元來大藏省預金局遞信省爲換貯金局ノ如キハ諸國ニ於テ多ク設置スルモノナリト雖モ其最モ種類多ク制度ノ整頓セルハ蓋シ佛國ノ右ニ出ツルモノナシ故ニ佛國ノ例ニ據リ是等ノ流動公債ノ買入及取扱方法等ヲ論究セシ

諸預リ金ハ佛國ニ於テ受働體ノ公債ト號クル所ノモノニシテ區積立金ヨリノ預リ金貯藏銀行ヨリノ預リ金預金局預リ金其他之ニ類似スル所ノ預リ金ヨリ成立ツモノナリ此等ノ預金ニハ各其主管者アリテ特ニ金櫃ヲ有シ種々殖益ヲ計ル者ニシテ其自ラ運轉セサル浮金アルトキハ之ヲ國庫ヘ貸付クルモノナリ

今西曆千八百七十三年ノレオンセイ氏ノ報告ニ據リ貯藏預リ金等ノ景況ヲ陳述セン

レオンセイ氏曰ク流動公債中貯藏預リ金ノ勘定ハ甚ク重要ナル部分ヲ占ム今茲ニ該金櫃ニ付キ詳細ノ點ヲ論スルヲ要セサルヘシト雖モ其組織ヲ畧陳スルハ蓋シ無用ノ業ニアラサルヘシ吾人ノ夙ニ熟知スルカ如ク公衆

ハ其貯金ヲ貯藏銀行ニ預ケ入ル、コト固ヨリ自在ナリ然ルニ貯藏銀行ハ其預金ニ對シテ利子ヲ支拂フヘキモノニシテ其預金ヲ死守スルコトヲ得ス是ヲ以テ豫メ政府ト勘定ヲ開キ自ラ運輸シ得サル高ハ之ヲ大藏省貯金局ヘ預ケ入レ該局ヨリ利子ヲ得以テ營業費ノ幾分ヲ支辨シ其餘ハ利子トシテ預ケ人ニ支拂フモノトス預金局ニ於テモ貯藏銀行ヘ利子ヲ支拂ハサルヲ得サルニ因リ是レ又其預金ノ殖益ヲ計ラサルヲ得ス該局ノ殖益ヲ計ルノ道ニアリ第一當座貸付勘定コト國庫ヘ貸付クルコト第二公債證書ヲ買入ル、コト是レナリ戰爭前ハ貯藏銀行ヨリ預リ金ハ凡二億九千萬圓ニ達シ内凡八千萬圓ハ預金局ヨリ國庫ヘ貸付ケ其餘ハ公債證書ノ買入ニ使用セラレタリ

貯藏銀行ヨリノ預金ヲ以テ買入レタル公債證書ハ預金局カ他ノ資金ノ運轉ノ爲メニ買入レタル公債證書ト區別シ置キ貯藏銀行預ケ人ノ預ケ入レ金額制限高ニ達シタルトキハ其望ニ由リテ預金ト交換スルノ用意ヲ爲スモノトス

預金局ハ其預リ金拂戻ノ請求アルトキハ國庫ヨリ當座勘定ノ高ヲ引戻シ之ニ應スルモノトス其請求額大ニシテ引戻高ノミヲ以テ之ニ應スル能ハ

ナルトキハ所有ノ公債證書ヲ賣却シテ之レニ應ス

然レトモ戰爭後ハ預金大ニ減シ方今(西曆千八百七十三年十二月)貯藏銀行ヨリノ預リ金ヨリ國庫ノ當座勘定ニ入ル者甚々多シ然リト雖モ戰亂既ニ平キ凡百ノ事業其緒ニ就クヲ得シヲ以テ數年ヲ出テスレテ戰爭前ノ景況ニ復シ曾テ千八百四十八年ノ亂ニ際シ貯藏銀行ノ預ケ金ヲ引出ス者甚々多ク預金局ヲ通シテ國庫當座勘定ニ入ルモノ大ニ減少シ其高七千四百四十二萬圓ヨリ四百萬圓ニ減少セリ然レトモ千八百五十一年ニ至リ既ニ五千四百四十萬圓ニ増加シ千八百六十八年ニハ七千二百二十萬圓トナリ千八百八十九年及千八百七十年ニハ八千萬圓ニ増加セリ由是觀之騷亂ニ際スレハ細民ハ平生ノ貯蓄ヲ引出シ預金局ノ國庫當座勘定ハ大ニ減少シ世上平和ニ歸スルニ及ヒテ漸次其高ヲ増スヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ

是レレオンゼイ氏カ國會ニ向ヒテ爲セシ所ノ預金報告ノ大略ナリ此報告ニ據レハ預金ハ自然ト公債ニ變換スルノ道アリテ頗ル奇巧ノ組織ナルヲ見ルニ足レリ元來預ケ金ハ政府ノ意ヲ以テ之ヲ増減スルヲ得ス財政困難ナルノ時ニ際シ拂戻ノ請求ニ遭遇スルモノナレハ豫メ其危險ヲ免ル、ノ策ヲ講ゼスンハアルヘカラス平生ニ於テ一人ノ預金ノ高若干圓例ヘハ五十圓ニ登レ

ハ之ニ對シ公債證書ヲ與フルノ法ヲ開クニ於テハ預ケ人ハ公債ノ利子ハ少シク預ケ金ノ利子ヨリ多キヲ以テ益貯藏心ヲ起シ政府ハ預金ヲ減少スルヲ以テ拂戻ノ需要ニ應ジ易ク又預金ヲ公債證書ニ變換セシヨリ其元金ヲ支拂フヲ要セサルヲ以テ其丈ケノ金額ハ預金局ヨリ國庫ヘ收メシメ國庫ハ之ヲ以テ他ノ公債證書ヲ償還セハ之カ爲メ決シテ公債ヲ増加スルコトナク流動公債ヲ減シテ確定公債ヲ増シ公債ノ基礎ヲシテ鞏固ナラシムルコトヲ得ヘシ

流動公債ノ第三種即チ用達人ヨリノ借入ハ政府用達人ニ相當ノ報酬ヲ與ヘ借入ヲ請求スルモノナリ

佛國ノ豫算調製法ハ頗ル其法ヲ失シ歲計ノ變動甚シク隨ヒテ流動公債ヲ要スルコト多シ其高三億二千萬圓乃至四億圓ニ達ス實ニ是レ非常ノ巨額ト云フヘシ元來流動公債ノ要ハ既ニ陳述シタルカ如ク歲計ノ不足ヲ補ヒ又ハ國庫ノ融通ヲ計ルコアリト雖モ佛國ニ於テハ茲ニ又第三ノ用アリ何ソヤ縣又ハ區ニ道路基金トシテ貸付シルカ爲メ起ス所ノ者即チ是レナリ號シテ特別勘定ト云フ此貸付ハ豫算書ニ於テ之ヲ議決セサルニ由リ其需要アルトキコハ必ス之ヲ國庫ニ求メサルヲ得ス國庫モ亦豫算ナキヲ以テ流動公債ヲ起シ

テ之ニ應セサルヲ得サルナリ抑地方府ハ中央政府ノ如ク信用厚カラサルニ由リ中央政府之ニ代リテ負債ヲ起シ資金ヲ地方ニ供給シ地方政府ヲシテ元利支拂ニ充ツル金員ヲ年々中央政府ヘ納メシメ以テ四五年ニ渉ルノ流動公債ヲ起スハ或ハ場合ニ依リ多少ノ便利ナキコアラサルヘシ佛國ニ於テ轉近此類ノ流動公債凡二千萬圓ヲ要スト云フ又僅少ノ額ニアラサルナリ流動公債ノ起因及其使用ハ既ニ之ヲ陳述セリ故ニ今一步ヲ進メテ其來歴及利害ヲ説明セン佛國ニ於テハルイフヒリツプノ治世ノ初メニ當リ流動公債ハ一億圓ナリシカ當時財政裕ナラス歲入殆ト常ニ不足ヲ告ケ數年ヲ出テスシテ二億圓乃至三億圓ニ昇リ西曆千八百四十八年一月一日ニハ二億六千萬圓ヲ超過セリ其内一億一千四百萬圓ハ大藏省證券及貯蓄銀行ヨリ預リ金ナリシ此高ハ當時ノ歲入ニ比シ甚タ大ナル者ニシテ革命假政府ハ同年二月ノ革命ニ由リ起リシ混雜ノ外之ヲ處分スルノ方法ニ苦ミ同年三月七日銀行預ケ金ノ拂戻ヲ減センカ爲メ其利子ヲ五分トセント雖未ダ之ヲ以テ拂戻ヲ止ムルニ足ラス終ニ已ムコトヲ得スシテ同月九日流動公債ヲ整聚シ或ハ之ニ對シテ公債證書ヲ與ヘ或ハ之ニ大藏省證券ヲ與ヘタリ同月十六日更ニ議ヲ決シ大藏省證券ノ期限ヲ延長セリ當時共和政府カールイフヒリツプノ政府ヨリ引

繼キシ流動公債ノ幾分ハ既ニ償却セシト雖モ其高尙ホ一億九百八十萬餘圓
 アリ其他償却ノ爲メニ買戻サレシ六百五十萬餘圓ハ未タ其償却ヲ了セス此
 巨額ノ處分ニ苦ミ右ノ延期ヲ決定セリ而シテ右ノ一億九百八十萬餘圓ハ重
 ニ資本家カ政府ヘ預ケ置キシモノニシテ直ニ之ヲ商工等ノ業ニ用フルヲ要
 セナルモノナリシニ由リ之ヲ六箇月拂ノ五分利付證書ニ組換ヘ發行價格ヲ
 廉ニシテ其發行價格ト償却價格トノ差違ヨリ生スル所ノ利益ヲ以テ公衆ヲ
 誘導シ容易ニ此組換ニ應センメント計レリ然レトモ預ケ金ヲ以テ證書ニ組
 換ヘルニ於テハ急ニ現金ヲ得ル能ハサルノ不便アルヲ以テ公衆ハ此組換ヲ
 不便トシ爲メニ狼狽セシ者甚カラス頗ル不快ノ感覺ヲ惹起セリ當時佛國政
 府ハ財産ノ困難ヲ忍ヒ力メテ之カ整理ヲ計ラス狼狽措ク所ヲ知ラス急ニ市
 場ノ割合ヨリ高キ割合ニテ其流動公債ノ處分方法ヲ定メシニ依リ困難外ニ
 顯ハレ頗ル人心ヲ動搖セリ如斯時ハ非常ノ節省ヲ行ヒ財政ノ器具ヲ整ヘ通
 常ノ公債ヲ起シテ以テ之ヲ整理スルモ亦敢テ妨ナカルヘシ徒ニ狼狽ノ色ヲ
 顯ハシ公衆ヲシテ妄想ヲ逞フセシメ一大虛ニ吠ヘテ萬大實ヲ傳フルカ如キ
 結果ナキナカハヘキナリ然リト雖モ當時ノ景況ニ付キテ最モ咎ムヘキハ共
 和政府ノ處置ニアラヌシテ寧ロ前政府ノ無謀ニ二億五千二百萬圓ノ流動公

債ヲ起セシコト是レナリルイフヒリツブノ政府ニ於テ斯ノ如キ巨額ノ流動
 公債ヲ起スコトナク時々之ヲ整聚シ以テ之ヲ半額或ハ三分ノ一ニ減少シ置
 カハ西曆千八百四十八年ニ當リ少シク佛國ノ困難ヲ減殺スルコトヲ得シヤ
 敢テ疑ヲ容ル、コト能ハサルナリ勿論流動公債ハ國家ノアラン限リハ多少
 之ナキヲ得スト雖モ稍巨額ニ達スルノ傾向アレハ速ニ之カ處分ヲ爲サ、ル
 ナ得ス何トナレハ預リ金ハ商業上、政治上ノ困難ニ當リ公衆ハ直ニ之ヲ引出
 スノ力ヲ有シ大藏省證券ハ財政困難ノ時ニ當リ延期ヲ爲ス能ハサルニ由リ
 其高巨額ニ達スルニ於テハ非常ノ不便ヲ生スヘケレハナリ第二帝國ニ於テ
 ハ屢、通常公債ノ募集アリシニモ拘ハラス流動公債モ非常ニ増加セリ即チ西
 曆千八百六十四年一月一日ニハ驚クヘキノ巨額ニ昇リ其高凡四億一千四百
 八十二萬圓ニ達セリ其ヨリ少シク減少ヲ告ケ同千八百六十八年一月一日ニ
 ハ凡三億六千四百八十萬圓同千八百七十年ニハ三億一千七百六十七萬餘圓
 ト爲リ其内一千二百八十萬圓ハ大藏省證券二千四百萬圓ハ佛國國立銀行ヘ
 振出セシ證書一億三百二十萬圓ハ區積立金及會社等ヨリノ預金七千八百萬
 圓ハ貯蓄銀行ヨリノ預リ金一千八百十萬圓ハ同銀行ヨリノ特別借入ナリト
 ス今西曆千八百七十年一月一日ノ流動公債ト同千八百四十八年一月一日ノ

モノトナ比較スルニ其高ニ於テハ第一ノモノヨリ多シト雖モ之ヲ兩時期ノ總歲入高及信用ノ厚薄等ト比スレハ第一ノモノハ却テ少キコトヲ見ルヘシ而シテ流動公債ノ内危険ナル性質ヲ有スル者モ西曆千八百七十一年一月一日ニ於テハ割合ニ少カリキ實ニ是レ財政ノ一進歩ト云ハサルヲ得サルナリ次ノ表ハ右ノ兩時期ニ於ケル流動公債ノ内譯ヲ示スモノナリ

佛蘭西流動公債	
第一 民間流通大藏省證券	西曆千八百四十八年一月一日 一・三・六〇
第二 貯藏銀行ヨリノ預リ金(預金局)	西曆千八百七十年一月一日 一・二・八〇
第三 諸種條約先ヨリ借入	二八・八八
第四 金庫支拂官長ヨリノ前借	八・四〇
第五 大藏省中央支拂官約束手形	二〇・一二
第六 諸手形	一五・一六
第七 區積立金及公立會社預ケ金(預金局)	二・一六
第八 海陸軍隊ヨリノ預ケ金	五三・二〇
第九 一箇人當座預ケ金(預金局)	九・九・二八
第十 佛蘭西銀行引受大藏省證券	二・四〇
	二・二八
	一九・〇四
	二四・〇〇

第十一 佛蘭西土地銀行ヨリノ預ケ金
第十二 軍隊扶助金

合計

二五六・一六 三二七・四八
六・九六
五・〇八

右ノ表ニ據リテ之ヲ觀レハ西曆千八百四十八年ノ流動公債ハ之ヲ西曆千八百七十年ノ流動公債ニ比シテ甚ク不穩ノ景況ヲ示スモノト云フヘシ右兩年度ニ於ケル佛國富裕ノ差異ハ暫ク措キテ問ハス唯其數ヲ以テ之ヲ論スルニ民間ニ流通スル大藏省證券ノ如キハ西曆千八百四十八年ノ方凡九倍ノ多キヲ致セリ實ニ是レ財政ノ不肅ヲ示スモノト云ハスシテ何ソヤ其他諸預リ金ノ如キハ西曆千八百七十年ノ方多數ヲ示スト雖モ是レ佛國富源ノ發達ニ由ルモノニシテ敢テ財政ノ不整頓ヲ示スモノニアラサルナリ宜ナル哉前コハ流動公債ノ爲メニ非常ノ混雜ヲ生セシト雖モ後ニハ之カ爲メ混雜ヲ見ス流動公債ノ事豈ニ之ヲ忽コスルヲ得ンヤ

西曆千八百七十年以來佛國流動公債ノ景況ハ少シク面目ヲ改メタリ今試ニ西曆千八百七十八年三月三十日ノ流動公債ヲ見ルニ二年乃至五年ノ期限ニ一億九千三百二十萬餘圓ヲ除キ三億二千五百十八萬餘圓ニシテ其内譯ノ重ナル者ヲ示セハ左ノ如シ

第一 大藏省證券流通高 百圓換
 第二 諸預ケ金(預金局) 七・二
 第三 金庫支拂官長流通勘定 五五・七二
 第四 佛蘭西土地銀行通常勘定 四五・八八
 第五 區積立金及地方公立會社預ケ金 一〇一・八四
 第六 巴里府預ケ金 三三・二〇
 第七 巴里諸會社預ケ金 七・五六
 第八 預金中一箇人當座預ケ金 四九・三六

右ハ當時佛國ノ流動公債中重要ナルモノニシテ皆政府カ利子ヲ支拂フ所ノモノナリ而シテ其高ハ凡三億九百八十八萬圓ナリ其他無利子ノモノ凡千二百二十萬圓アリ此二項ヲ合セタル金額ヲ流動公債ノ總計トス右ノ表ニ據リテ之ヲ見レハ西曆千八百七十八年ノ流動公債ノ景況ハ大ニ改良セシモノト云フヘシ大藏省證券ハ少シク増加セシト雖モ較近佛國人民大ニ其便利ナルヲ覺ヘ西曆千八百七十九年ニハ利子ハ期限ノ長短ニ由リ(三箇月六箇月一箇年)半朱ヨリ一朱マテコト自在ニ發行スルヲ得タリ故ニ政府ハ支拂官ヨリノ前借區積立金預金局ヨリノ借入ヲ止メ大藏省證券ヲ以テ國庫ノ融通ヲ爲

スチ善シトス種々ノ借入金ノ中ニハ三分半ノ利ヲ支拂フ者尠カラス故ニ大藏省證券ヲ以テ之ニ換ユレハ大ニ利子ヲ減少スヘシト雖モ巨額ノ金高ナリ時ニ大藏省證券ニテ得シト欲スレハ必ス其利子ヲ増加スルニ至ルハ敢テ疑ヲ容レサル所ナルニ由リ盡ク諸借入ヲ廢止スルコト能ハサルヘシ然リト雖モ大藏省證券ノ利子低キハ事實疑フヘカヲサルモノナレハ成ルヘキ丈ケ之ヲ以テ一時ノ融通ヲ爲シ他ノ借入ヲ減少スルハ佛國ノ爲メ頗ル便利ノ方法ナルヘシ

抑佛國ニ於テハ歲入不足アルハ殆ト財政ノ常況ニシテ流動公債ノ増加ハ殆ト免ル、コト能ハサルノ勢ナリト雖モ自今大ニ財政ニ改良ヲ施シ歲入不足ヲ避クルヲ得ハ之ヲ減少スルコト必シモ難カラサルヘシ然レトモ他ノ景況ヲ顧ミス痛ク之ニ減少ヲ加フルモ亦得策ニアラサルナリ方今佛國ノ景況ヲ見ルニ政府ニ於テ二億乃至三億圓ノ流動公債ヲ有スト雖モ非常ノ時ニ際シ之カ爲メニ財政ノ困難ヲ惹起サ、ルヘケレハ(西曆千八百七十年ノ景況能シ此事ヲ證ス)強テ之ヲ減少スルヲ要セサルヘシ然レトモ若シ強テ之ヲ減少セシト欲セハ之ヲ整聚スルカ若クハ租稅ヲ増加スルカ孰レカ其一ニ出テサルヲ得ス今普通公債ノ利子ト流動公債ノ利子トヲ比較スルニ第一ノモノハ遠

第二ノモノヨリ高シ第二ノ者ノ内大藏省證券ノ如キハ利子非常ニ低キモノニシテ亦放銀ニ便ナリ他ノ預リ金モ預ケ人ニ於テ請求次第金員ヲ得ルノ便利アレハ其利子ハ公債證券ノ利子ヨリ低シトス故ニ佛國ニ於テハ流動公債ノ高モ三億萬圓ニ止マルニ於テハ強ヒテ之ヲ減少スルヲ要セサルヘシ又永遠公債ノ高少キ國ニ於テハ之ヲ永遠公債トナスモ敢テ妨ケナカルヘシ若シ幸ニ歳入殘餘アレハ宜シク最モ有害ナル租税ノ減少又ハ廢止ヲ爲スヘシ然リト雖モ若シ流動公債ニシテ非常ノ時ニ當リ請求ニ應スル能ハサル程ノ高ニ達セハ速ニ之ヲ減少ヲ計ルヘシ天下後世ヲシテ佛國千八百四十八年ノ轍ヲ蹈マシムヘカラス而シテ其豫備平日ニアリ決シテ忽ニスヘカラスナルナリ

以上論スル所ノモノ、外政府ノ預リ金ノ内ニハ身元保證金ノ預リアリ官吏俸給差引高ノ預リ金アリ其他兵隊工場職工等ノ積立金等種々様々ノモノアリ一々之ヲ陳述スルヲ要セサルヘシ唯身元保證金ト俸給差引高トノ事ヲ陳述スルヲ以テ足レリトス身元保證金トハ金錢ノ取扱ヲ爲ス所ノ官吏カ官金ノ取扱上不都合ナキカ爲メ又ハ官吏ノ過誤失策等ニ由リ官ノ損失ヲ蒙ルセシキ之ヲ辨償センカ爲メ在職中政府ニ差出ス所ノ金員ナリ其高ハ其職ノ輕重

取扱金高ノ多少ニ由リ各異ナルアリ身元保證金ハ現金ヲ以テ預ケ入ル、トモ公債證券ノ如キ確定ナル證券ヲ以テ預ケ入ル、トモ預ケ人ノ隨意ナリ其現金コテ預ケ入ル、者ハ之ヲ預金局ニ領收シ輕少ノ利子ヲ付シ退職ノ時ハ元金ヲ返却ス又政府ノ爲メ工事物品供給ノ請負ヲ爲ス者モ多クハ身元保證金ヲ出マセリ其保證金ノ取扱ハ前記ノモノト異ナルコトナシ
官吏俸給差引高ハ官吏在職中其俸給ノ幾分佛國ニテハ通例五分ナリヲ控除シ之ヲ預金局ニ預ケシメ在職中ハ其引出ヲ許サズ退官或ハ死亡ノ時ハ之ヲ拂戻スモノトス此高ニモ輕少ノ利子ヲ付シ通例利倍増殖法ヲ以テ之ヲ預カレモノトス而シテ政府ハ國庫融通ノ爲メ之ヲ運轉シ重ニ恩給資金トシテ之ヲ使用ス此預リ金ハ拂戻ヨリ預ケ入ノ方常ニ多ク政府ノ爲メニハ急遽ノ引出ニ達フノ危険ナク預ケ人ノ爲メハ不知不識ノ間ニ貯金ヲ得ルモノニシテ頗ル便利ノ方法ナリ
年金中一生年金ハ少々ノ金ヲ有スル獨身者ニシテ子孫ニ財產ヲ殘スヲ要セズ一生ヲ安樂ニ經過セント欲スル者又ハ隱居者ノ小遣金トシテ子孫ヨリ供給スルニ甚ク便利ナルモノナリ何トナレハ年金ハ元金ニ利子ヲ加ヘ之ヲ年賦トシテ支拂フモノナレハ同額ノ資金ヲ以テ長期又ハ永遠公債ノ利子ヨリ

多額ノ年賦金ヲ得レハナリ此類ノ公債ノ往時盛ニ行ハレシト雖モ方今大ニ減少ノ傾向アリ是レ社會ノ進歩ニ從ヒ生命保險會社貯藏銀行ノ如ク他コ少々ノ貯蓄ヲ使用スルノ道開ケシニ由ルナリ然レトモ佛國政府ノ如キハ方今ニ於テモ尙ホ生命保險ノ業ヲ營ムコ依リ或ル人民ヨリ其一生ノ間金ヲ借入ル、コト少カラズ(是レ年金ト制ヲ異ニス)雖モ政府カ債主ノ一生ヲ期シテ之ヲ償却スルノ義務ヲ有スルモノナレハ有期公債中ニ一生年金ニ最モ近キモノトシテ之ヲ茲ニ記載ス(英國ニ於テモビツト以前ニハ年金ノ使用頗ル多ク中ニ就キテウイリヤム三世ハ百[ポンド]ノ拂込ニ對シ拂込人ノ生涯若クハ其名指人ノ生涯十四[ポンド]ヲ支拂フコトヲ約束シ百萬[ポンド]千萬元ノ公債ヲ起セリ然ルニ當時生命保險ノ業未ダ開ケス人民壽命ノ平均年數ヲ知ル能ハス故ニ年賦ノ多少ニ由リテ歩合ヲ定ムルコト能ハサリシニ由リ政府ハ非常ニ高キ歩合ヲ拂ヒシト云フ(生命保險會社ニテ人民壽命ノ平均年數ヲ計リ得シハ西曆第十八世紀ノ末ニアリ)

右ノ外トシテ「ト」稱スル一方法アリ是レハ同齡ノ人ヲ集メ之ヲシテ同一ノ年金ヲ有スル年金證書ヲ購買セシメ各債主ノ一生年金ヲ拂ヒ其内死亡者アリテ同級拂込人ノ中ニ缺員起ル時ハ其人ノ受取ル年金ハ生殘ル所ノ人員ヘ

其元金拂込ノ高ニ割合ヒ分配スルノ方法ナリ此方法ハ西曆第十七世紀ニ於テ伊太利ノ銀行家ローレンツト「ト」名クル老練頓智ナルモノ、發明ニ係リシモノニシテ能ク人情ヲ察シタル奇巧ノ方法ト云フヘシ何トナレハ人類ニハ慈心アルヲ以テ同齡者ノ内ニテ我レ先ツ死去スヘシト思考スル者ナク己レ假令最後ノ死者ニアラサルモ某々ヨリハ長ク生存スヘシト思惟スヘケレハ政府ハ通例ノ方法ニ依ルヨリモ幾分カ低利ニテ借入ヲ爲スコトヲ得ヘケレハナリ西曆千六百八十九年佛王ルイ第十四世ノ時「ト」ノ方法ニテ百十六萬圓ノ年金ヲ支拂フ丈ケノ元金ヲ募集セリ當時出金者ノ年賦一歳ヨリ七十歳迄トシ之ヲ十四級ニ分テ二百圓ノ元金ニ對シ二十圓ノ年金ヲ付セリ然レトモ其成功充分ナラス政府ハ毎級ヨリ四萬圓ノ年金ヲ支拂フ丈ケノ元金ヲ得ルコトヲ期セシコ稍クニシテ實際ノ應募高ハ其四分ノ一ニ達セサリシ西曆千六百九十六年第二「ト」ヲ試ミタリ其方法ハ第一ノモノト違フコトナク唯一級ヲ加ヘ第十五級即チ七十歳ヨリ七十五歳迄ノモノヲ以テ一級トセシノミ西曆千七百二十六年ニ至リ「ト」ノ應募者殆ト死絶ヘテ唯一婦人ヲ存セリ而シテ該婦人ハ九十六歳ノ高齡ニ達シ第一第二「ト」ノ「ト」ニ各百二十圓ヲ拂込ミ晩年ニ至リ二萬九千四百圓ノ年金ヲ受取リシ

ト云フ
 英國ニ於テモ「トナン」ノ方法ヲ用ヒテ公債ヲ募集セシコト前後三回アリ第一ノモノハ西曆千六百九十二年ウイリヤム三世ノ時ニ起セシモノニシテ千萬圓ノ金員ヲ募集セントシ初メ七年間ハ拂込元金ニ對シ一割ノ年金ヲ支拂ヒ七年ノ後ハ之ヲ七分トシ債主七人ニナル迄ハ死亡者ニ屬スル年金ハ之ヲ生存者ニ配當スルモノトセリ此募集ニハ應募者甚ク少ク政府僅ニ百八十萬圓ヲ得タルノミ而シテ七年ノ後ハ年金ノ高七萬五千六百七十圓トナレリ當時「トナン」ハ甚ク危粗ナルモノニシテ年齢ニ依リ階級ヲ分ツコトナカリシヲ以テ幼年者ノ數甚ク多カリシハ亦已ムヲ得サルノ勢ナリトス今實際ノ年齢ヲ見ルニ其區別左ノ如シ

西曆千六百九十二年「トナン」法公債ニ出金セシ人員年齢表

年 齡	男	女	合 計
六年未滿ノ者	一七八	一一三	二九一
六年ヨリ十年迄ノ者	一一八	一一八	二三六
十一年ヨリ十五年迄ノ者	一一九	九六	二一五

十六年ヨリ二十年迄ノ者	四九	三九	八八
廿一年ヨリ廿五年迄ノ者	三五	一九	五四
廿六年ヨリ三十年迄ノ者	一六	一四	三〇
卅一年ヨリ四十年迄ノ者	一六	六	二二
四十一年ヨリ五十二年迄ノ者	三	三	六
通 計	五九四	四〇八	一〇〇二

當時應募者中男子ノ最高齡ハ四十一ニシテ女子ハ五十一ナリ以テ女子ノ最高齡ヲ期スルヲ證スルコ足レリ此「トナン」ハ西曆千七百八十三年七月五日ヲ以テ滿期トナレリ其後ノ年金受取人ハ一婦人ニシテ九十八ノ最高齡ヲ得タ

第二「トナン」ハ西曆千七百六十六年ニ於テ施行セシ所ノモノコシテ千五百萬圓ヲ募集セント試ミタリ當時ノ方法最モ其當ヲ得ス之ヲ以テ先ツ三分ノ利子ヲ約シ別ニ當籤一本ヲ置キ之ニ當リシ者ニ九萬圓ノ金額ヲ與フルモノトシ以テ債主ヲ誘導シ各級得ル所ノ年金ヲ一萬五千圓トセリ然レトモ之ニ應スル者甚ク少ク僅ニ五千四百圓ノ年金ヲ得ル丈ケノ元金ヲ得其拂込人員百三十九人ナリシカ西曆千八百二十八年一月ニ至リ七人ノ生存者ヲ殘シ

同千八百四十九年ニ至リ全ク消滅セリ第三ノ「トナン」ハ西曆千七百八十九年ニ施行セシモノナリ當時「トナン」ノ法ヲ以テ千二萬五千圓ヲ借入レシ債主ヲ其年齢ニ從ヒ六級ニ分テ各級中生行者ノ受取ルヘキ年金一萬圓トナル迄ハ先死者ノ受取ルヘキ分ヲ生存者ニ配當スルモノトセリ年齢ニ從ヒ年金ノ歩合ヲ定ムル次ノ如シ

年	年
十年未満ノ者	拂込元金千二圓五十錢ニ對スル年金
二十年ヨリ二十九迄ノ者	四一五〇〇
三十年ヨリ三十九迄ノ者	四二七四〇
四十年ヨリ四十九迄ノ者	四六二四〇
五十年ヨリ五十九迄ノ者	四六七四〇
六十年以上ノ者	五〇七四〇
	五六〇〇〇

此トナンニ於テ英國政府ハ千二萬千四百圓ノ應募申込ヲ得タリト雖モ債主中應募ノ約束ヲ履行スルコト能ハサルモノ多ク實際一億八萬八千四十一圓ノ年金ヲ生スル丈ケノ拂込ニ止マリ西曆千八百六十九年迄ハ六萬七千二

百十圓ノ年金ヲ支拂ヘリ由是觀之英佛ニ於テ「トナン」ノ法ハ功ヲ奏スルコト能ハサリシ其他愛蘭ニ於テモ西曆千七百七十三年同七十五年同七十八年ニ「トナン」ノ法ヲ施行シタリシガ同國ニ於テハ隨分成功ヲ告ケタリ「トナン」ノ法タル奇巧ハ即チ奇巧ナリト雖モ取扱上稍「繞密」ニ涉ルヲ以テ廣ク其方法ヲ内外ニ用ヒテ巨額ノ公債ヲ起スコト能ハス唯一地方ニ係ル小額ノ公債ニ適用スルヲ得ヘキナリ

有期年金ハ英國ニ於テ最モ盛ニ行ハレシ者ナリ同國ニ於テハ其期限九十九年ヲ超過セシコトナシ然リト雖モ理ニ於テ是ヨリ長ク期限ヲ定メ能ハサルコトナカルヘシ元來年金ハ元利ヲ區別シテ支拂ハス之ヲ年賦ニ割合ヒ支拂フ者ナレハ其歩合ハ通例ノ公債ノ利子ヨリ多カラサルヲ得ス而シテ期限ノ長短ニ依リ同一ノ元金ニシテ年賦金ニ差異アルハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然レトモ此類ノ年金ハ往時英國ニ於テハ單特ニ用ヒラレス故ラコ永遠公債ノ利子ヲ低クシ其低利ヲ價補スルカ爲メニ若干年間又ハ債主一生ノ間永遠公債元金ノ拂込高ニ對シ年金ヲ與ヘタルコトアリ此場合ニ於テハ年賦金ノ歩合高カラズ有期年金ハ初メ之ヲ得シモノ、存亡ニ拘ラス其年期ヲ定ムル者ナレハ賣買受授ハ固ヨリ自由ナリ而シテ期滿ツルニ至ルト雖モ元金ノ償却

ナ得ス年々受取ル所ノ年賦金中ニ元金ヲ含有セルモノトス而シテ此年金ハ
 往時英國ニ於テ盛ニ行ハレシヲ以テ西曆千七百年ニ於テ永遠公債ノ利子ハ
 僅ニ二百六十萬圓ナリシト雖モ長期年金一生年金ヲ含有ス支拂高ハ一千二
 百八萬四千七十圓ニ達セリ西曆千七百十一年ニハ永遠公債ノ利子六百七十
 八萬二千四十圓トナリ長期年金支拂高ハ九百十二萬二千五百九十六圓ニ増
 加セリ該年以降永遠公債ノ募集大ニ増加シ長期年金モ共ニ行ハレタリト雖
 モ其増加遙ニ永遠公債ニ及ハス即チ西曆千八百六十九年ニ於テハ長期年金
 支拂高ハ四千十萬八千六百六十圓ニシテ永遠公債ノ利子ハ二億二千八百二十
 五萬六千四百十圓ナリ由是觀之英國ノ公債中長期年金ハ之ヲ永遠公債ノ高
 ニ比シ減少スト雖モ其員額頗ル巨大ナルモノト云フヘシ
 佛國ニ於テモ有期年金ノ制アリ而シテ其額決シテ尠少ニアラサルナリ西曆
 千八百七十六年ノ年金支拂豫算高六千八百八十萬圓同千八百八十一年ノ豫算
 高一億四千三百二十萬圓ニ達セリ然レトモ此年以降ハ年々減少スルノ方法
 ナリ佛國ニ於テ年金ト稱スル者ハ英國ノ年金ト大ニ異ナルモノアリ其内ニ
 ハ政府カ國立銀行鐵道會社市邑商務局ヘ支拂フヘキ年金有期定期支拂ノ公
 債大藏省證券ノ仕拂ヲ含有ス實ニ是レ一種特別ノモノナリレオンセイ氏ハ

是等ノ負債ヲ永遠ノ公債ニ整聚スルノ計畫ヲ抱ケリ若シ他ノ巨額ノ永遠公
 債ヲ有セザレハ整聚法ハ公債取扱ヲ簡易ニスルノ利アレハ之ヲ行フモ可
 リト雖モ佛國ノ如キ既ニ巨額ノ永遠公債ヲ有スル國ニ於テハ之ヲ増加スル
 ハ決シテ策ノ得タルモノニアラス如キ雜種ノ公債ハ之ヲ英國流ノ年金
 ニ組換ユル方却テ便利ナルヘシ
 有期年金ハ一種ノ放銀方法ニシテ若干年間其資金ニ對シテ最大ノ歳入ヲ得
 ノト欲スル者ニハ最モ便利ノ方法ナリ何トナレハ之ヲ普通ノ公債ニ放下ス
 レハ年々受取ル所ノモノハ利子ノミニシテ元金ハ毫モ之ヲ受取ルコト能ハ
 ス偶元金ノ償還ヲ受クルコトアルヘシト雖モ元金ノ償還ハ通例抽籤法ニ據
 ルモノナレハ豫メ之ヲ期スルヲ得ス又假令償還ヲ受クルト雖モ償還ハ利子
 ヨリ生スル歳入ヲ減少スルニ由リ其償還金ヲ以テ他ニ放銀方法ヲ求メサル
 ナ得サルノ不便アリ年金ハ之ト異ナリ其期限中ハ利子ト元金ノ幾分トヲ合
 セタル高ヲ受取ルコトヲ得ヘシ加フルニ年金ハ期限中毎年同額ノ歳入ヲ期
 スルコトヲ得故ニ小額ノ資金ヲ以テ數年ノ生計ヲ計畫スルハ年金ニ若クモ
 ノナシ例ヘハ茲ニ一學生アリ十圓ノ學資ヲ得成業ヲ十年ノ後ニ期スル者ア
 リトセン彼レ若シ此千圓ヲ以テ平價ニテ五分利付ノ公債證書ヲ購買スルト

セハ之カ爲メニ得ル所ノ歳入僅ニ五十圓ナリ彼レ如何ニ節儉ナリト雖モ此小額ヲ以テ能ク一年ヲ支フルコトヲ得サルニ然ルニ等シク五分利コト十年ノ年金ヲ購買スルニ於テハ百二十七圓五十錢ノ歳入ヲ得(計算法ハ初年ノ初メコ千圓ヲ拂込メハ政府ハ初年ノ終リニ於テ千圓ノ利子五十圓元金百圓ヲ支拂フモノトシ)第二年ノ終ニ於テハ元金殘九百圓ノ利子四十五圓ト元金百圓ヲ支拂フモノトシ)第三年ノ終ニハ元金ノ殘八百圓ノ利子四十圓ト元金百圓ヲ得ヘク順次十年ノ間此法ニテ年々元利ヲ支拂ヘハ十年ノ後ニハ政府ハ彼ニ對シ都合千二百七十五圓ヲ支拂フコトトナルヲ以テ之ヲ十年ニ平均シ百二十七圓五十錢ヲ支拂フナリ)一學生ニシテ歳々此額ヲ得ハ決シテ不足アルコトナク疾病等ノ準備ヲ爲ス亦難カラサルナリ勿論普通ノ公債ナレハ後ニ元金ノ支拂ヲ受クヘク年金ナレハ滿期後ニハ更ニ受取ルヘキモノナシト雖モ苦學功成リ有爲ノ氣象ヲ養成シタルノ後ハ敢テ資金ヲ要セス大ニ其伎倆ヲ天下ニ顯ハスコトヲ得ヘシ

又事業ニ就キテ之ヲ論スルモ年金ハ頗ル便利ナルモノアリ例ヘハ茲ニ先輩ヨリ若干ノ金額ヲ分與セラレ一工場ヲ起サント欲スル者アリトセシ凡ソ事業ハ創立ノ際諸事未ダ全ク其緒ニ就クヲ得ス利益ヲ收ムルハ四五年ノ後ニ

アルヲ通例トス果シテ然ラハ右起業者ニシテ別ニ實力ヲ有セサル者トセハ四五年ノ間ハ分與セラレタル資金ニ依リ生計ヲ營マサルヲ得ス斯ノ如キ場合ニ於テ彼レ若シ資金ヲ普通ノ公債ニ放下セハ唯利子ノミヲ受取ルニ止マリ隨ヒテ營業ノ資金ヲ減少スルコト多カラサルヲ得ス年金ハ之ト異ナリテ其元利ヲ合セテ受クルコトヲ得ルヲ以テ資金ヲ減少スルコト隨ヒテ少ナシ勿論年金法ニ據レハ滿期後ハ更ニ受取ルヘキモノナシト雖モ四五年ノ後ハ基礎既ニ鞏固トナリ事業既ニ發達シ其所得ヲ以テ寬裕ナル生計ヲ營ムコトヲ得ヘシ豈ニ公債元利ノ支拂ヲ受クルヲ要センヤ其生計ノ資金ヲ普通公債ニ投スルト之ヲ年金ニ放下スルトニ於テ營業ノ資金ニ消長ヲ生スルコト斯ノ如シ年金ノ效用亦大ナリト云フヘシ

年金ノ效用夫レ斯ノ如シ故ニ政府ニ於テモ其公債中年金ヲ混用シ廣ク公衆ノ便ニ備フコト於テハ聊割合善ク公債ヲ起スノ便ナシトセス而シテ彼ノ定期一時拂公債ノ如ク平年ニ於テハ利子ノミヲ支拂ヒ元金支拂ニ於テ巨額ヲ支拂フノ不便ナク毎年元金ノ幾分ヲ支拂ヒ不知不識ノ間ニ元金ヲ減少スルノ便アリ然リト雖モ數十年ニ涉レル長期ノ年金ハ其間利子低落スト雖モ永遠公債若クハ有期隨時支拂公債ノ如ク低利ノモノニ借換ユルノ便ナキヲ以テ

公債ノ大部ヲ年金トスルカ如キハ固ヨリ策ノ得タルモノニアラス又其期限
ヲ延長シテ五六十年ノ久シキニ涉ラシムルカ如キハ理財上得策ニアラサル
ナリ唯數年若クハ永クモ二三年ニ涉ルモノヲ起シ確定公債ノ幾分ヲ償還シ
償還ノ爲メ一時ニ巨額ノ支出ヲ避ケ其償還ヲ數年ニ分擔シ以テ財政ノ整理
ヲ爲スカ如キ目的ヲ以テ之ヲ用フレハ其效力益シ尠少ニアラサルヘシ

第七章 公債募集

第一款 平價募集、呼價募集

公債ニ種々ノ區別アリテ其各種ニ一得一失アルハ既ニ前章ニ於テ之ヲ詳悉
セリ今前章論究スル所ノモノヲ以テ之ヲ觀レハ公債募集ノ目的ニ據リ各其
種類ヲ異ニセサルヲ得サルハ亦多辯ヲ要セサルナリ請フ一步ヲ進メテ公
債募集ノ方法ヲ論究セン

公債ノ募集ニ平價募集、呼價募集ノ別アリ平價募集トハ募集ニ際シ其價格ヲ
證書額面ト同一ニ定ムルモノナリ即チ百圓ノ證書ヲ百圓ニテ發行スルモノ
是レナリ呼價募集トハ其價格ヲ證書額面以內トシ發行ヲ爲スモノナリ即チ
百圓ノ證書ニ對シ例ヘハ八十圓ヲ徵スルモノ是レナリ故ニ平價募集ハ政府
實際ノ借入高ト償還高ニ於テ異ナルコトナシト雖モ呼價募集ニ於テハ政府
ハ實際ノ借入高ヨリ多額ヲ償還セサルヲ得サルノ不便アリ然レトモ呼價募
集ノ方法ハ古來諸國ニ於テ屢用ヒラル、所ノモノニシテ一國ノ公債中其利
子歩合ニ著シキ差違アルハ此方法ノ用ヒラル、ニ由ルモノ蓋シ尠少トセズ

佛國ノ如キハ等シク永遠若クハ長期ノ公債ニシテ三分利付四分利付四分半利付五分利付六分利付等ノ公債アリ勿論募集ノ都合貨幣市場ノ景況均一ナルコト能ハスシテ少々ノ差違アルハ勢ノ免ル、能ハサルモノアリト雖モ同額ノ資本ヲ投シテ或ハ三分或ハ四分或ハ四分半或ハ五分或ハ六分ト云フ如ク非常ノ差違アルハ其公債證書ノ發行價格ニ於テ著シキ差違アルニ由ルナリ又英國ノ經歷ヲ以テ之ヲ見ルニ該國ニ於テハ西曆第十七世紀ヨリ同第十八世紀ノ末マテハ力メテ平價ニテ公債ヲ起セリ而シテ其利子ハ一年四分或ハ五分若クハ六分ニ達セリ然レトモ北米合衆國獨立戰爭以後殊ニウイリヤム、ピットノ在職中英國政府ハ實際六分以下ニテ公債ヲ募集スルコトノ難キヲ察シ百ポンドノ公債證書ヲ平價ニテ發行シ之ニ六分ノ利子ヲ附セス實收高百ポンドニ對シ三分利付ノ百八十ポンド或ハ百九十ポンドノ公債證書ヲ發行シ陽ニ三分利付ト爲セント雖モ實際ハ六分ニ近キ利子ヲ拂ヘリ今何故ニ英國政府ハ此ノ如キ繞密ナル方法コテ公債ヲ起セシヤヲ討尋スルニ其理由ニツアリ

- 第一 利子制限法ヲ避ケンカ爲メナリ
- 第二 此方法ニ依リ聊利子ヲ減少セント欲スルナリ

政府巨額ノ公債ヲ起スノ時ハ國事多端ニシテ利子歩合ノ高キ時ナルヲ通例トス故ニ政府ハ法律ノ制限スル所ノ歩合ヲ以テ公債ヲ起スコト能ハス然レトモ進ミテ高利ヲ以テ之ヲ借入ル、ニ於テハ自ラ法律ニ背クノ嫌アルヲ以テ一箇人ノ貸借ノ間ニ負債主カ利子制限法ヲ避ケント欲シ實際ノ高ヨリ多ク借入レシカ如ク取計ヒ外面ヲ蔽フカ如ク政府モ公債ニ呼價ヲ付シ平價以下ニテ公債ヲ募集スルコトアリ佛國ノ近例ヲ以テ之ヲ論スルモ政府ノ定ムル處ニ據レハ利子ノ制限ハ五分ナリ然ルニ彼ノ二十億圓ノ公債ハ決シテ其歩合ヲ以テ募集スルコト能ハス西曆千八百七十一年ニハ實收高七十九フランニ對シ五分利付ノ百フランノ公債證書ヲ交付セリ故ニ實際ハ六分三以上ノ歩合ニ當レリ此方法ニ據レハ陽ニ法律ノ制限ヲ超過セサルニ依リ彼等ハ人民相互ノ貸借ハ尙ホ檢束スルニ足レリト信セリ

第二ノ理由由即チ呼價ヲ付シ平價以下ニテ公債ヲ募集スレハ實際ノ拂込高ト債却高トノ間ニ差違ヲ生スルヲ以テ債主ニ於テモ此差違ニ付キテ利益スル所アレハ其拂込高ト債却高トヲ等シスルモノヨリハ聊實際ノ利子ヲ低減シ得ヘシト云フハ決シテ其實ナキニアラサルナリ請フ詳カニ之ヲ論セン

元來呼價ヲ付シ平價以下ニ公債ヲ發行スレハ政府ハ債主ニ二様ノ利益ヲ與

第一 利子

第二 拂込高ト償却高トノ差違

元來公債證書ノ價格ハ多少ノ變動ナキコト能ハス而シテ巨額ノ公債募集ノ時ハ其價格減少スルモノナルニ由リ永遠公債ト雖モ市場ノ景況ニ因リ價格騰貴スレハ其賣却價格ト發行ノ時拂込ミシ高トノ差違ニテ利子外ノ收益ナキコアラスト雖モ平價ニテ募集セシ公債ニシテ平價以上トナルニ於テハ政府ハ進テ借換ヲ行ヒ其價格ノ變動ヲ防クヘキニ由リ平價以下例ヘハ八十圓ノ拂込ニ對シ百圓ノ證書ヲ交附セシモノ、如ク變動ノ區域大ナルコトヲ得ス又平價發行ノ公債證書所有者ノ利子ハ高シト雖モ其拂込價格ト賣却價格トノ差違ニ依リ得ル所ハ平價以下發行ノ公債證書所有者カ拂込價格ト償還價格トノ差違ニ據リ得ル所ノ利益ノ如ク大ナルヲ得ス殊ニ財政上ノ習慣トシテ毎年償還ノ抽籤ヲ行フ場合又ハ有期定期支拂法ノ如ク必ス毎年抽籤ヲ行フ公債ノ如キハ債主ニ於テ我レ假令第一ノ抽籤者ニアラサルモ最後ノ當籤者ニアラサルヘシトノ人間ニ免レ難キ慾望ノ働キアルニ由リ平價發行ノ方法ハ少シク平價發行ヨリ實際ノ利子歩合低キヲ得ルノ傾向アリ故ニ諸國

ニ於テ屢平價募集ノ單純ナル法ヲ採ラス繞密ナル平價募集ノ法ヲ採ルコトアリ然レトモ平價募集ハ決シテ其弊害ナキニアラス假令暫時ハ聊公債ノ費用ヲ減少シ得ヘト雖モ其償却ニ至リテハ實際ノ借入高ヨリ多クノ額ヲ支拂ハサルヲ得ス又市場ノ景況ニ據リ借換ヲ爲スコト能ハス此方法ハ結局未來ニ義務ヲ殘スコト平價募集法ヨリ重シト云ハサルヲ得ス歐洲各國ノ公債ノ巨額ニ達セシト其久シク償却ニ至ラサルハ太ニ此借入法ヲ用ヒシニ原因ス請フ今英國ノ實例ヲ引キテ之ヲ論セン

英國ニ於テハピットノ宰相タリシ時ハ平價以下三分利付ニテ公債ヲ募集シ平價ヲ以テ五分若クハ六分ニテ發行セシヨリハ實際一分ノ四分ノ一位利子ヲ低減スルコトヲ得タリト雖モ是レ一時ノ利益ニシテ決シテ永遠ニ恃ムヘキコアラステ却テ此小利ノ爲メニ大利ヲ忘却セシモノナリ元來英國ハ西曆千七百八十年頃迄ハ重ニ平價借入ノ法ヲ施行セリ今ハミルトン氏ノ英國公債史ニ就キテ英國ハ西曆千七百五十五年ヨリナポレオンノ戰爭ノ終リマテ如何ナル方法ニ據リテ公債ヲ起セシヤヲ見ルニ其西曆千七百五十五年ヨリ同千七百六十三年マテノ間ニ公債ヲ起セシコト前後九回實收額五億三千萬圓ニシテ平價即チ證書額面五億四千二百三十萬圓ニ達セリ是レ必スシモ募集

價格ト償却價格ト等クスルモノニアラスト雖モ兩價格ノ相距ルコト遠カ
 ラス此九回ノ公債ノ内實收高ト額面高ト異ニスルモノニアリ即チ西曆千
 七百五十九年ニハ百[ポンド]ノ實收高ニ對シ百十五[ポンド]ノ公債證書ヲ與ヘ
 三分ノ利子ヲ交付シ同千七百六十年ノモノハ四分利付ニシテ百[ポンド]ノ拂
 込高ニ對シテ百三[ポンド]ノ公債證書ヲ交付セリ其他ノ者ハ年價ニテ四分三
 厘半利付又ハ三分利付ニテ年金付若クハ籤札ヲ付スルモノナシ(年金及ヒ籤
 札付公債ノ事ハ後ニ説ク所アルヘシ)

西曆千七百七十六年ヨリ同千七百八十年マテニ英國政府ハ公債ヲ起セシコ
 ト五回平價以下ノ募集ハ第一回ノモノ、ミニシテ其他ハ皆平價ニテ之ヲ募
 集セリ此五回ノ公債ノ實收高三億二千萬圓ニシテ額面高ハ三億三千五十萬
 圓ナリ今此兩額ヲ比較スルニ殆ト同一ノ高ナリ其差違アルハ五回ノ公債
 中最少額ナル第一ノモノハ三分利付ニシテ實收高百[ポンド]ニ對シ百七[ポ
 ド]十[シリング]ノ證書ヲ交付シ其他四回ノモノハ四分或ハ三分利付ニシテ平
 價ニテ發行シ有期年金ヲ付セシコト是レナリ
 西曆千七百八十一年ヨリ同千七百八十五年マテハ新ニ公債ヲ起シ又ハ短期
 ノ公債ヲ整聚セシコト前後六回此度ハ盡シ三分又ハ四分ニテ平價以下ニテ

募集シ其實收高ハ五億九千七百六十二萬四百二十圓ニシテ額面高ハ八億三
 千百十七萬九千九百三十圓ニ上レリ故ニ英國政府ハ實收高ヨリ二億三千三
 百五十四萬一千五百十圓餘ノ高ヲ償却スルノ義務ヲ作爲セシモノト云フヘ
 シ
 西曆千七百九十三年ヨリ同千八百十六年マテニ起セシ公債ハ皆平價以下ニ
 テ募集シ其實收額四十九億八千六百九十五萬八千六百二十圓ニシテ其額面
 高ハ實ニ七十七億三千六百八十五萬八千三百八十圓ノ巨額ニ達セリ其實收
 高ト額面高トノ差違ハ二十七億四千九百八十九萬九千七百六十圓ニ達セリ
 實ニ非常ノ巨額ト云ハサルヲ得ス即チ英國政府ハ此巨額ノ金員ヲ實際ノ借
 入高外ニ償却セサルヲ得ス是レ空ニ此公債ヲ起シテ後世ヲ苦マシムルモノ
 ト云フヘシ此巨額ノ公債中三分利付アリ四分利付アリ五分利付アリ利子ノ
 歩合同一ナラス之ヲ實收高ニ割リ當レハ凡五分利ニ當ルモノナリ而シテ低
 下ナルカ爲メニ利子ノ外ニ年金ヲ付ス其高八百七十九萬八千九百七十圓ナ
 リ今此高ヲ利子ニ加フレハ英國政府カ此公債ニ對シ支拂フ所ノ利子ハ實際
 五分以上ニ當ルモノト知ルヘシ
 右ニ説ク所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ當時英國政府此巨額ノ公債ヲ平價ニテ

募集セハ債主ニ於テハ公債證書騰貴ノ望少キニ由リ假令少々ハ高利ヲ要ス
 ヘント雖モ五分四分ノ一若クハ五分半ニテ借入ル、ヲ得タリシヤ敢テ疑ナ
 容ル、コト能ハサルナリ若シ彼等ヲシテ五分半ニ募集セシメントスルモ其
 利子ノ増加ハ實際二千四百九十三萬四千七百九十二圓餘ナルヘシ然リト雖
 モ此増加ハ決シテ永ク英國人民ノ負擔ト爲スヲ要セス世治マシムルノ後ハ漸次
 五分半ヲ四分ニ四分ヲ三分半ニ三分半ハ三分四分ノ一或ハ三分ニ借換ユル
 コト亦難キコアララス果シテ然ラハ元金ニ於テ二十七億四千八百餘萬圓ヲ減
 少シ得ルノミナラス利子ニ於テモ凡五分ノ二ヲ減少スルヲ得ルナルヘシ策
 茲ニ出テス後世ニ巨額ノ公債ヲ殘シ借換ヲシテ殆ト行フ能ハサラシメ西曆
 千八百八十八年ノ今日ニ至リ僅ニ之ヲ行フヲ得ルニ至ラシメシモノハ英國
 財政ノ爲メニ最モ惜マサルヲ得サルナリ論者或ハ云ハシ英國政府ヲシ
 テ當時平價發行法ニ據リ公債ヲ起サシメハ一時割合ニ高利ヲ拂ハサルヲ得
 ス果シテ然ラハ其利子支拂ノ爲メ幾分カ公債ノ實收高ヲ増加セサルヲ得サ
 リシヤ敢テ疑ナ容ル、能ハサルナリト論者ノ言實ニ然リ故ニ今數歩ヲ讓リ
 之カ爲メニ英國ハ更ニ二億八千萬圓即チ凡實收高ノ五分五厘ニ相當スル金
 額ヲ増募セントスルモ平價發行ノ方法ハ尙ホ英國ノ爲メ甚タ有益ナルモノ

ナリシ請フ之ヲ辯セン

今前陳ノ如ク英國カ高利ヲ支拂フカ爲メ前記實收高ノ外更ニ二億八千萬圓
 ナ借入レントセハ借入高ハ四十九億八千六百餘萬圓ニ止マラス五十二億六
 千六百餘萬圓トナリシニ五分半ノ利子ヲ拂フトスレハ一時利子トシテ二億
 八千九百六十二萬餘圓ヲ支拂ハサルヲ得スト雖モ五分半ノ利子ハ永ク之ヲ
 支拂フヲ要セス數年ノ後ハ之ヲ三分半ニ借換ユルコトヲ得ヘシ果シテ然ラ
 ハ利子ハ減シテ一億八千四百三十萬餘圓ナルヲ得ヘシ之ヲ永ク額面高七十
 七億三千六百餘萬圓ニ額面ノ五分利即チ三億八千六百八十四萬餘圓ノ巨額
 ナ支拂ヒ利ヘ八百七十八萬餘圓ノ年金ヲ支拂フニ比スレハ其得失固ヨリ同
 日ノ論ニアラサルナリ況ンヤ元金ヲ減少シ償却ヲ便利ニスルノ利益アルコ
 於テチヤ當時英國政府ヲシテ平價以下ノ募集ヲ止メ平價募集ノ方法ヲ採ラ
 レメハ久シク後世ヲ苦ムルコトナリ速ニ國庫ノ負擔ヲ輕クシ財政寬裕ナル
 ナ得シヤ敢テ疑ナ容レサルナリ論者又或ハ云ハシ平價發行ノ法タル美ハ即
 チ美ナリト雖モ實際之ヲ行フコト甚タ難シト然リト雖モ是レ決シテ然ラス
 之ニ相當ノ利子ヲ附シ五年若クハ十年ノ間ハ償還ヲ爲サ、ルヘシト定ムレ
 ハ是レ決シテ爲シ難キノ業ニアラサルナリ彼ノ利子制限法ノ如キハ政府法

律ノ歩合ヲ以テ借入ヲ爲シ能ハサル時ハ民間ノ貸借亦此歩合ヲ以テ行ハレ
 サル時ナレハ唯政府借入ノ爲メノミナラス民間融通ノ爲メ斷然之ヲ廢止ス
 ルモ可ナリ若シ又廢止スル能ハサルノ事情アレハ一時又ハ永久ニ其歩合ヲ
 高クスルモ可ナリ況ンヤ又平價募集ハ諸國ニ於テ實例甚ク多キニ於テオヤ
 焉ソ陽ニ法ヲ存シ隱ニ之ヲ犯スヲ要センヤ
 然ルニ世ノ皮相論者ハ類リニ低利付呼價募集ノ方法ヲ主張シテ已マス而シ
 テ此論ヲ主張スルモノハ所謂動産賣買者流ニ最モ多シ四海ノ廣キ人民ノ多
 キ此等論者ノ爲メニ誤ラレ、者又少シトセス爲メニ一言ヲ費スモ敢テ無益
 ノ業ニアラサルヘシ抑動産賣買者ハ巨額ノ資本ヲ有シ公債證書ノ價格利子
 歩合ノ變動ニ依リテ巨利ヲ博セント欲スル者ナリ加フルニ彼等ハ國事多端
 政府ニ於テ巨萬ノ公債ヲ起スニ際シ屢一時巨額ノ公債證書ヲ購入シ漸次市
 場ノ景況ニ依リ再賣ヲ試ミル者ナリ故ニ利子ハ彼等ノ目的トスル所ニアラ
 ス購買價格ト賣却價格トノ差異コソ彼等ノ目的トスル處ナレハ其最モ價格
 ノ變動スルモ之ヲ好ムハ又決シテ怪ムニ足ラサルナリ彼等ハ其性質トシテ
 其所有公債證書ノ速ニ騰貴センコトヲ冀望スルモノナリ何ソ廣ク一般財政
 上經濟上ノ關係ヲ顧ミルニ暇アラシヤ彼等ノ論ニ曰ク六十六ヲ以テ三分利

付ノ公債證書ヲ發行スルハ平價ヲ以テ五分ニテ發行スルヨリモ利子ノ歩合
 低シト是レ實ニ彼等ノ常ニ發スルノ言ナリ然リト雖モ是レ苟モ財政ヲ以テ
 自ラ任スル者ノ發スル言ニアラサルナリ彼等ハ投機ノ器具トナルモノヲ欲
 スル者ナリ彼等ハ決シテ吾人ハ投機ノ器具ヲ欲スル者ナリトハ云ハス平價
 以上ノ發行法ハ利子ヲ低減スルノ利アリトシ類リニ此方法ノ利益ヲ説ク其
 論ヤ全ク理ナキニアラス其論境ノ遠スル所迄ハ過失ナシト雖モ之ヲ以テ論
 旨ノ真境ニ達センモノト云ヒ難シ何トナレハ低利付呼價募集方法ハ徒ラニ
 元金ヲ増加シ低利ノモノト借換ユルノ便ヲ缺キ永ク國費ヲ減スルヲ得サレ
 ハナリ其一時利子支拂ノ爲メニ費用ヲ減少スルカ如キハ決シテ頼ムニ足ラ
 サルナリ

由是觀之高利付平價募集若クハ平價接近ノ募集ハ低利付呼價募集ニ優ルヤ
 敢テ疑ヲ容レサルナリ然レトモ平價募集中彼ノ年金附屬法ノ如キハ實際低
 利付呼價募集ノ方法ト異ナルコトナク實ニ一兒戲タルニ過キサルナリ然ル
 ニ此方法タル英國ニ於テ大ニ行ハレタルモノニシテ之カ爲メ英國政府ハ少
 カラサル損失ヲ被リタルモノト云フヘシ今ハミルトン氏ノ英國公債論ニ就
 キテ西曆千七百五十五年ヨリ同千七百八十五年ニ至ルマテノ英國公債募集

手續ノ歴史ヲ陳述セン

西曆千七百五十七年ノ千五百萬圓ノ公債ハ三分利付トシ平價ヲ以テ證書ヲ賣出シ應募者ニハ利子ノ外生涯五百圓ノ拂込ニ對シ五圓六十二錢ノ年金ヲ與フルモノトセリ

西曆千七百六十一年ノ五千七百萬圓ノ公債ハ三分利付トシ平價ニテ賣出シ九十九年ノ間五百圓ノ拂込ニ對シ五圓六十二錢ノ年金ヲ約セリ

西曆千七百六十二年ノ六千萬圓ノ公債ハ四分利付トシ平價ヲ以テ賣出シ十年ノ間ハ買戻ヲ爲サス其以後ハ三分ニ減少シ九十八年ノ間五百圓ノ拂込ニ對シ五圓ノ年金ヲ約セリ

西曆千七百七十七年ノ三千萬圓ノ公債ハ四分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集シ十年ノ間百ポンドニ付二圓七十五錢ノ年金ヲ約セリ

西曆千七百七十八年ノ三千萬圓ノ公債ハ三分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集シ五百圓ノ拂込ニ對シ債主ノ望ニ依リ三十年若クハ一生年金三圓二十錢ノ年金ヲ約セリ

西曆千八百八十年ノ六十萬圓ノ公債ハ四分利付トシ平價ヲ以テ之ヲ募集シ八十年ノ間五百圓ノ拂込ニ對シテ五圓四十四錢ノ年金ヲ約セリ

53

其他右ニ類似スル方法ヲ以テ公債ヲ募集セシコト擧ケテ數フルニ暇アラズ實ニ是レ抱腹絶倒ノ至リト云フヘシ然ルニ英國政府ハ以爲ヘラク此方法タル平價ヲ以テ公債ヲ起シ後世ニ高利ノ永遠公債ヲ殘サス且ツ利子制限法ヲ避クルヲ得ヘシト是レ所謂耳ヲ掩フテ鈴ヲ盜ムノ類ニシテ且ツ借換ノ便利法アルヲ知ラサルノ致ス所ナリ元來此方法タル利子ト年金トヲ合シタル高チ利子トシ平價ニテ公債ヲ募集スル代リニ故ラニ利子ノ歩合ヲ低クシ其歩合ト實際ノ歩合トノ差違ヲ補償スル丈ケノ高チ年金トシテ平價發行ノ證書ニ附加スルモノナレハ當初證書發行ノ際ニハ同一ノ債主ニ對シ公債證書ト年金證書トヲ交付セサルヲ得ス(利札ニ若干圓ノ年金付ト附記スレハ或ハ此券ヲ免ルヘシト雖モ本體ハ別々ニ證書ヲ發行セサルヲ得ス)募集後ニハ同一ノ債主ニ利子ト年金トヲ支拂フヲ得ス賣買中公債證書ハ既ニ他人ニ賣渡シ年金證書ハ元來ノ應募者ノ手ニ留マルコトアルヘク普通平價募集ノ方法ニ於テハ一人ニ利子ヲ支拂フヲ以テ足レリトスルモ此方法ニ於テハ甲ニ公債利子ヲ支拂ヒ乙ニ年金ヲ支拂フノ場合ヲ生スヘク其借換ノ便ヲ缺クハ勿論取扱上ニ於テ頗ル煩冗ノ手續ヲ要ス然ルニ英國ニ於テハ此兒戲盛ニ行ハレ往時ノ事ハ暫ク之ヲ恕スルモ近年ニ至リ尙ホ之ヲ行フコトアルハ非常ノ迷

夢ト云フヘシ英國ハ西曆千八百五十五年彼ノクリミヤ戰爭ノ爲メ起セシ一億六十萬圓ノ公債ニ二分ノ利子ヲ付シ平價コレ之ヲ募集シ千圓ノ拂込ニ對シ三十年間七圓二十四錢ノ年金ヲ約セリ元來一國ニ於テ往時行ハレシモノハ其事ノ當否ニ拘ハラズ深ク人民ノ腦裏ニ沈ミ容易ニ之ヲ洗除スル能ハサルハ勢ノ常ナリ英國財政上ノ進歩著シキニモ拘ハラズ尙ホ此舉アルハ蓋シ亦々常勢ノ致ス所ナラン其初メニ於テ慎マシムルハ餘殃ヲ後世ニ殘スコト實ニ甚シト云フヘシ豈ニ恐レサルヘカシヤ當時英國政府チンテ三分半ニテ募集セシモノハ平價ニテ證書ヲ賣出スコトヲ得シナルヘシ而シテ後市場ノ景況ニ因リ低利ニ借換ユルコト又行ヒ難キニアラサルナリ然レトモ勢ヲ察シ變ニ應シ一箇ノ方法ニ固著セサルハ財政上最モ力ムヘキコトナレハ若シ年金付ノ法ハ借換ヨリ速ニ公債ノ利子ヲ減少シ得ルノ確證アラハ之ヲ行フモ亦何チカ妨ケン然レトモ通例年金付セハ短期ノ年金ト雖モ借入ノ後四五年ニシテ市場ノ歩合減少スルニ乘シ借換ヲ爲スチ得ス長期ノ者モ期限中終ニ借換ヲ爲ス能ハサルヘシ故ニ高利付平價募集ノ方法ハ低利付年金添付法ニ勝サルコト遠シト云フヘシ而シテ第一ノモノハ取扱方法ニ於テモ第二ノモノヨリ遙ニ簡便ニシテ實收額ト額面高ト均一ナルノ利アリトス

呼價發行ノ方法ハ永遠公債及有期隨時支拂法ニ於テノミ行ハル、モノニアラス有期定期支拂法ニ於テモ亦之ヲ行フチ得ヘシ此類ノ公債ニ於テハ呼價募集ノ方法時ニ或ハ利ナキニアラサルノミ元來有期定期支拂ナルモノハ永遠公債ノ如ク其償却ヲ永遠ニ期スルモノニアラス何年ニハ幾分何年ニハ幾分ト額ヲ定メテ償却シ若干年中ニ悉皆拂ヒ盡スコトヲ期スルモノナレハ債主ハ僥倖ニモ己レ第一或ハ第二ニ當籤シ募集價格ト償却價格トノ差違ニ由リテ大ニ利スル所アラント欲シ募集者カ期スルカ如ク幾分カ低利ニテ出金スルコトアルヘシ元來人類ノ事業ヲ計畫スルヤ半ハ實際ノ情況ニ據リ半ハ想像ノ働キニ據リテ其方向範圍ヲ決スルモノニシテ公債ニ放銀シ利益ヲ計ルモ亦兩者ニ據リテ之ヲ決ス而シテ利子ノ外應募若シハ購買價格ト償還價格トノ差違ヲ僥倖セント欲スルノ情ハ有期定期支拂ノ公債ニ於テ最モ強シ故ニ此類ノ公債ハ大ニ公衆ノ需要或ニ適合スルノ勢アリ而シテ政府ニ於テハ此ノ人情ヲ利用シ聊低利ヲ以テ公債ヲ募集シ得ルノ實アリ故ニ有期定期支拂ノ方法ヲ用フルコトアルハ時ニ或ハ呼價募集ノ方法ヲ用フルト便トス今試ニ巴里貨幣市場ノ景況ヲ以テ之ヲ論センニ有期定期支拂ノ公債ハ之ヲ永遠公債ニ比シ實際低利ナルハ掩フヘカラサルノ事蹟ナリ即チ西曆千八百七十

七年一月三日巴里貨幣市場ニ於テ佛國五分利付公債證書ハ五百フラン八十五[サンナーム]但シ利落ト掲載セラレタリ故ニ實際ノ利子歩合ハ凡ソ四分五厘五毛トナリシ然レトモ同時同所ニ於テ四分利付三十年満期ノ有期定期支拂五百フランノ公債證書ノ千八百九十年ニ皆濟トナル者ハ利落ニテ四百九十一(フラン)十[サンナーム]ニシテ實際ノ利子ハ四分六毛餘ナリ而シテ其價格モ一ヶ年五フランヲ得ルカ爲メ百五フランヲ投スレハ一箇年四フランヲ得ルカ爲メハ八十四フラン即チ一箇年二十フランヲ得ルカ爲メハ四百二十フランヲ投スルノ割合ナルニ實際四百九十二フラン[餘ヲ投セシハ是レ利子ノ外賣買價格ト償還價格トノ差違ヲ僥倖セント欲スルニ外ナラス其他尙ホ種々ノ實例ナキニアラスト雖モ一々枚舉ニ暇アラサルナリ由是觀之償却價格ト賣買價格トノ差違ヨリ生スル所ノ利益ヲ見込ミ得ル所ノ公債ハ實際利子歩合輕キモノト云フヘシ而シテ買入レシ年ヨリ二三年ヲ經テ或ハ當籤セントスルノ望ミアレハ其歩合ハ更ニ低キヲ得ヘシ又歩合ノ度合ハ民心ノ僥倖ヲ頼ムノ強弱ニ由リ自ラ差異アルヲ免レサルナリ

第二款 特別募集

特別募集トハ政府カ道路開鑿築港ノ事業ヲ起サントスルニ際シ國中一般ニ公債ヲ募集セス殊ニ其ノ事業ノ爲メニ利益ヲ得ル所ノ人民ヨリ普通ノ歩合ヨリ少シク低利ニテ公債ヲ募集スルモノナリ例ヘハ東京築港ヲ爲セハ特ニ其利益ヲ蒙ル者ハ東京及ヒ品川ノ人民ナルヘキニ由リ特ニ低利ヲ以テ右兩所ノ人民ヨリ公債ヲ募集スルカ如キモノナリ此方法ハ頗ル事業ノ啓發ヲ促シ事業者並ニ債主ニ於テモ非常ノ利益アルモノナリ何トナレハ例ヘハ東京ノ人民築港ヲ爲サント欲スト雖モ事業廣大費用莫大且其成功ノ如何ヲ顧ミ容易ニ斷行スル能ハスト雖モ政府ニ於テ之ニ著手スレハ其成功シタル後ニハ府民ハ莫大ノ利益ヲ得ヘシ萬一成功セサルノ不幸ニ遭遇スト雖モ府民ハ自ラ資本ヲ出タシ其資本ヲ盡盡セシ場合ト大ニ異ナリ假令少々利子ハ低シト雖モ其元金ノ金額ハ償還ニ由リ之ヲ復スルコトヲ得ルノ望アリトス故ニ佛國ニ於テハ其方法ノ行ハル、コト最モ盛ナリ請フ該國ノ經歷ヲ陳述セ

佛國ニ於テハ特別貸付トシテ地方ノ商法會議所カ其地方ニ工業ヲ起サソカ爲メ政府ニ貸付クルモノ多シ西曆千八百六十五年ハ一ツルノ商法會議所ハ一ツル港改良ノ爲メ政府ニ巨額ノ金員ヲ貸付ケタリ西曆千八百七十年該地